

平成17年度 新規採択一覧(1/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171111001	3	1111	都市域の微地形・地下街空間を考慮した防災対策と防災施設の機能維持計画に関する研究	水交会	会長	山口 甲	北海道	都市域の避難体制は地域町内会単位で実施するので、微地形、地下街空間を考慮した被災実態の把握、対策を講ずることが重要である。またフルード数0.9、流速8m/sを越す豊平川の防災施設の機能維持に係る施設設計、工法を検討し、溢流洪水に対し安全性対策に資する。
171111002	2	1111	道路適合格子を用いた都市域の実態的複合氾濫数値モデルの開発	東北大学大学院工学研究科	教授	真野 明	宮城県	ハザードマップ作成や防災教育などの支援を目的として、実態的都市氾濫解析モデルを開発する。数値地図と電子下水道台帳から、道路や街区を単位とし下水道網を結合した道路適合格子を自動作成し、道路を走る氾濫流や、下水からの溢水などの局所的挙動を再現し、内・外水氾濫を複合的に表現できる数値モデルを開発する。
171111003	3	1111	人と環境にやさしいインテリジェント・ビデオセンサー・ネットワークの構築	長岡技術科学大学	助教授	岩橋 政宏	新潟県	独創的なセンシング・アルゴリズムを研究し、低コストかつ電力自立型のビデオセンサー・ネットワークを開発。個人設置や無電源地域への設置を可能とする。平常時は個人ユースとして水田の用水路や地下道排水溝の水位を観測して記録・分析。災害時には警報メールを発信。地域の水位分布から適切な情報を得て水防団に伝達。
171111004	3	1111	豪雨による河川橋梁災害に関する現地調査、被災原因解明、対策工立案の研究	金沢大学	教授	玉井 信行	石川県	2003年北海道水害、2004年北陸水害等では、様々な流況下で様々な形式の河川橋梁が様々な形態で被災した。本研究では、被災状況を現地調査し、解析・検証実験により被災原因・外力を解明するとともに被災に対する対策工を検討する。さらに今後予想される流況下で橋梁形式毎に対策工を学官民の研究チームで続ける。
171111005	1	1111	洪水ハザードマップを用いた地域防災力向上に関する研究	名古屋大学	教授	岡本 耕平	愛知県	豪雨災害に対する地域防災力の向上を図るために、洪水ハザードマップの活用に関点を果たした災害・防災学習カリキュラムの開発を行う。市民団体や地元自治体と連携し、読図実験、災害図上訓練、ワークショップや河川に関わる地形・歴史・治水の勉強会開催、フィールド学習等を通じて、洪水ハザードマップを活用した地域総合防災力のボトムアップを実現する手法を開発提案する。
171211001	1	1211	窒素同位体比とGISを利用した北上川における硝酸性窒素の汚染起源調査	明治大学農学部	助教授	登尾 浩助	神奈川県	前年度の調査から、北上川の支川には大きな汚染源は無いと推定されたが、本川において特に冬期間にし尿や堆肥起源または河川の自浄作用による高い窒素安定同位体自然存在比($\delta 15N$)が観察された。GISを使って硝酸性窒素の汚染起源とその場所を特定するために、流域の土地利用状態と $\delta 15N$ を河川沿いに調査する。
171211002	1	1211	宍道湖底層における酸素消費過程の解明	独立行政法人産業技術総合研究所	主任研究	山室 真澄	茨城県	貧酸素水塊形成直前の宍道湖湖盆部から堆積物を採取し、堆積物と底層水、及び底層水だけの系から、堆積物と底層水の個別の酸素消費速度を求める。また現場で密栓した底層水の酸素消費速度測定と、メモリー式酸素濃度計による現場測定も行う。さらにCODとTOC濃度と酸素消費速度との関係を年4回ほど測って検討する。
171211003	1	1211	地域共生の水循環技術パッケージの開発	東洋大学	講師	小瀬 博之	埼玉県	戸建住宅に雨水浸透と雨水貯水槽を併用したシステムを導入して、雨水の有効利用並びに流域への雨水流出削減量を把握するとともに、高機能循環資材を用いた簡易雨水浄化の性能比較を行う。さらにこれらの技術パッケージの地域における導入適性を明らかにし、雨水浸透と貯留による地域の良好な水循環の構築の一助とする。
171211004	1	1211	医薬品の河川と下水道における存在実態とその水生生物影響に関する研究	横浜国立大学	教授	益永 茂樹	神奈川県	人や家畜用医薬品の使用と排出が河川環境に与えるリスク評価を目的として、わが国で使用量の多い複数の医薬品を選択し、河川と下水道における存在の実態を調査する。得られたデータに基づき、下水処理場における除去効率を明らかにすると共に、河川水での残留濃度が水生生物に与える生態リスクの大きさについて評価する。

平成17年度 新規採択一覧(2/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171211005	1	1211	砂防堰堤等のスリット化に伴う土砂動態変化と生態環境に関する調査解析	山梨大学大学院	教授	砂田 憲吾	山梨県	治水機能を満たしながら流砂系と環境の保全を進めるために、砂防堰堤等のスリット化が試みられているが、流出土砂の調節効果と生態環境改善が確かめられる必要がある。富士川水系支川での事例を対象に、土砂動態評価のための詳細な河床変動モデルの開発と水理条件・生物生息実態に関する系統的な調査と解析を行う。
171211006	1	1211	堀川流域における環境導水および雨水流出抑制が水質に及ぼす効果	名古屋工業大学大学院	教授	富永 晃宏	愛知県	名古屋市の堀川の水質改善対策として考えられる環境導水の流量が水質改善に及ぼす効果を流域の汚濁負荷と潮汐流動および導入水流量との関係から検討するとともに、流域の雨水流出抑制対策が合流式下水道の雨天時越流量の削減によって水質悪化防止に寄与する効果を水質観測資料とGISを用いた流出モデルによって検討する。
171211007	1	1211	農業用水の節水が河川水質に及ぼす影響把握	滋賀県琵琶湖研究所	専門研究	大久保 卓也	滋賀県	琵琶湖周辺では農業系汚濁負荷削減のため、農業用水の節水を図るための様々な対策がパイロット事業として各地で実施されている。本研究ではその中で「自動給水栓」が設置されている草津市志那中町の河川を対象として水量と水質を調査し、農業用水の節水が河川に及ぼす影響を定量的に把握する。
171211008	1	1211	琵琶湖淀川水系における臭化物イオンの起源と規制可能量の推定	京都大学大学院工学研究科	講師	越後 信哉	京都府	有害かつ除去が困難な臭素系消毒副生成物の前駆体である臭化物イオンの流域における発生構造を実地調査と統計解析により解明し、臭化物イオンの発生源を特定、さらに排出源における規制の可能性とその効果について評価する。本研究は有害物質の前駆体を流域レベルで管理するという新しい水源水質管理のあり方を提示する。
171211009	1	1211	水道水源河川における都市排水由来の医薬品の収支に関する研究	京都大学大学院	教授	田中 宏明	京都府	環境ホルモンに類似した作用を持ち、水に溶けやすく、難分解な新たな環境汚染物質である、医薬品(PPCP)をモデルに、上流の都市排水が下流の水道水源に流達する機構を、淀川水系での実態を元に明らかにし、河川の流達機構と河川管理者、排水側、水利用側が協働する水質管理方策を検討するための情報提供を行う。
171211010	1	1211	琵琶湖集水域における減農薬減化学肥料農業が循環灌漑用水の水質改善に与える影響調査	医療法人南労会	分析・研究	川岸 悦子	大阪府	現在滋賀県が推進している農業排水循環利用は、琵琶湖水の濁り削減と用水節水を目的としているが、用水中の栄養塩や農薬濃度の上昇および稲や水生生物への障害が懸念される。この改善策として別途推進している減農薬減化学肥料農業の実践が有効であるか調査し、その結果をもって環境保全型農業推進の一助とする。
171211011	1	1211	種々の流況下における河川水と地下水の相互作用のモデル化	岡山大学大学院	助教授	大久保 賢治	岡山県	豪雨時の地すべり、洪水時の破堤氾濫あるいは低水時の河川水質形成において河道の流水と堤内の地下水の間には直接的な流出入の他、土砂氾濫や水質汚染を引起す機構がある。本研究はこれらの素過程を流域全体の水・熱・土砂及び物質収支モデルに結合する。
171212001	1	1212	中小河川の河口閉塞が感潮域干潟塩分環境に及ぼす影響の定量的評価	東北大学大学院	教授	田中 仁	宮城県	中小河川においては、河口閉塞が塩分環境に大きな変動を与える。そこで、二級河川七北田川を研究対象とし、河口閉塞と河口干潟域での塩分との関係を明らかにする。その成果をもとに、感潮域干潟での塩分環境維持の観点から許容出来る砂州規模を定め、治水・環境の両面で調和が取れた河川環境を維持するための指針を示す。
171212002	1	1212	衛星データを用いた霞ヶ浦のリアルタイムモニタリングと白濁現象の解明	筑波大学大学院システム情報工学研究科	助教授	武若 聡	茨城県	霞ヶ浦を毎日観測する衛星MODISデータを用い、白濁水の発生をモニタリングするシステムを構築する。白濁水発生を検出し、その後迅速に観測を実施して、白濁水の性状、組成、発生領域などを調べ、その発生プロセス、発生条件などの解明を行う。

平成17年度 新規採択一覧(3/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171212003	1	1212	現地観測と数値解析を併用した河川流量・土砂輸送量推定法の開発	東京理科大学理工学部土木工学科	助教授	二瓶 泰雄	千葉県	現地観測と数値解析を併用して大河川における流量・土砂輸送量の高精度推定法を開発する。ここでは、①ADCP等により流速・土砂濃度の鉛直・横断分布を計測し、②その観測値を合理的に取り込むことが可能な新しいデータ同化手法に基づく流動・土砂輸送モデルにより、力学条件を満たした形で流量・土砂輸送量を算定する。
171212004	1	1212	北上川汽水域におけるマルチスケール・リアルタイム流動シミュレータの開発	東京工業大学大学院理工学研究科	講師	中村 恭志	神奈川県	河川汽水域から内湾に至る水域は、流量変化等を通じ河川部に強い影響を受ける水域であるが、空間スケールの著しい違いのため河川・内湾部を同時に解析し得るシミュレーションモデルの開発は遅れている。本研究では、河川・内湾部を同時に解析可能なモデルを計算手法の工夫と並列化技法を用いて実現することを目指す。
171212005	1	1212	中小河川流域監視に適用可能な水平高解像降水量分布の作成	長岡技術科学大学	助教授	熊倉 俊郎	新潟県	気象庁では、レーダー計測結果を地上観測値で補正する手法で、より正確な降水分布を導出しているが、昨年の新潟洪水の流域規模に適用できる水平分解能ではない。そこで国土交通省や新潟県の地上観測データも含めて同様の解析をしたところ良好な結果を得たので、さらに問題点を検討し、定常的に利用可能な監視システムの構築を行なう。
171212013	1	1212	阿賀野川河口砂州の生成と消失に関する素過程の把握とモニタリングシステムの構築	長岡技術科学大学	助教授	細山田 得三	新潟県	河口砂州は一般に河川の洪水流下能力を阻害するが、洪水時に流量が増えることによってフラッシュされる。一方、日本海側では冬季の風浪によって砂州が発達する。本研究では阿賀野川の河口砂州を対象として現地計測、画像モニタリング、数値モデルを駆使することによってその生成と消失の力学的な素過程を明らかにするものである。
171212006	1	1212	樹木年輪を利用した洪水頻度分析の精度向上に関する研究	名古屋工業大学工学研究科	助手	庄 建治朗	愛知県	琵琶湖岸の樹木の年輪データから歴史時代の琵琶湖洪水のピーク水位を再現し、それらのデータを確立洪水評価に導入しその信頼性向上への効果を評価する。
171212007	1	1212	計画降雨のIDF関係策定の新手法開発に関する研究	三重大学	教授	葛葉 泰久	三重県	河川整備基本方針策定に際し「計画降雨」の決定、特に、降水強度・降水継続時間、頻度(降水規模)の関係、海外でIDFカーブと呼ばれているものを決定することが非常に重要である。これに関し、実際に実務で使われている手法を調査した後、現在よりもさらに理論的で妥当な手法を開発し、効率的な治水計画策定に資する。
171212008	1	1212	平成16年洪水による洪水流出予測モデルの予測精度検証に関する研究	京都大学防災研究所	助教授	立川 康人	京都府	平成16年に発生した計画規模を超える、またはそれに迫る大洪水(新潟・福島、福井豪雨および台風23号による円山川、由良川洪水)を対象とし、物理分布モデルを含めて現在、用いられている洪水流出予測モデルの予測精度を検証する。その際、流出予測の不確かさを考慮した新たな予測精度検証手法を用いる。
171212009	1	1212	土壌の撥水性に着目した林地斜面における表面流発生機構の解明	京都大学大学院農学研究科	助手	小杉 賢一郎	京都府	土壌の撥水性に着目して林地斜面におけるホートン型表面流の発生機構を解明し、森林植生や森林管理手法と表面流量の関係について明らかにする。さらに、表面流の発生に伴う土砂・有機物の流出や表面流の水質について調査し、表面流の発生が山地河川の洪水波形、水質、掃流砂・浮遊砂の流出に及ぼす影響を明らかにする。
171212010	1	1212	IC技術を応用した砂礫移動に関するトレーサ調査手法の開発	京都大学	助教授	角 哲也	京都府	流砂系総合土砂管理の一環として、ダム下流への河川土砂還元が実施されているが、還元土砂(砂礫など)の動態把握技術が未開発である。そこで、ICタグを埋め込んだ小礫を小型アンテナにより追跡する技術について、室内実験及び現地実験を通じてその可能性を調査し、先端電子技術の河川工学への適用について検討する。

平成17年度 新規採択一覧(4/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171212011	1	1212	捨石粗朶材料を用いた堤防護岸工の流水制御・環境機能の研究	神戸大学工学部	教授	道奥 康治	兵庫県	捨石・粗朶など自然材料を用いた護岸や構造物は経験的技術に基づき施工・供用されてきたが、水理学的知見に基づく設計基準は確立されていない。本事業では、捨石・粗朶・枠など透過型材料で構築された護岸・水制の流水制御機能を明らかにし、伝統的河川工物の環境水理設計手法を確立することを目的とする。
171212012	1	1212	底泥の巻上げによる直上水質への影響と評価	佐賀大学低平地研究センター	助教授	山西 博幸	佐賀県	河川流送物により形成された河口干潟堆積物再懸濁、沈降及び流動による直上水への水質学的影響について、自動昇降型水質測定装置を用いた現地調査とこれら現地データをもとにした底泥・懸濁物輸送の数値解析・評価を行う。
171213001	1	1213	植生域氾濫流の基礎的検討―基礎式の誘導と樹冠部相似則の考案―	秋田大学	助教授	松富 英夫	秋田県	長波近似が可能な洪水や津波の氾濫流を対象として、植生域氾濫流の基礎式の誘導と樹冠部相似則の考案を行い(樹幹部については誘導済み)、実験を通して植生域氾濫現象の基礎的な検討を行う。基礎式については市街や住宅域にも適用できる一般的なものに拡張する。
171213002	1	1213	河川水位を考慮した内水排除対策と貯留施設の効果的運用に関する研究	中部大学工学部	教授	松尾 直規	愛知県	近年、外水氾濫のみではなく、降雨排除不良に伴う内水氾濫をも視野に入れた水災対策の検討が望まれているが、その明確な手法論は未だ確立していない。本研究では、河川水位(流量)を考慮して可能なポンプ排水量を求め、その条件下での効果的な貯留施設の配置および運用法について数値解析的な検討を行う。
171213003	1	1213	「流域治水」遺構の発掘・復元とその現代における活用に関する研究	佐賀大学低平地研究センター	研究員	岸原 信義	佐賀県	平成12年河川審議会は「流域治水」の必要性に関する中間答申を行った。然し、その具体的なイメージは必ずしも明らかでない。これは「流域治水」の具体例が乏しいためである。財団からの助成を受けて佐賀平野の「流域治水」の全体像が明らかになりつつある。典型的な例である耳取川流域で構造を解明し、治水計画の参考とする。
171213004	1	1213	河川を遡上する津波の数値予測モデルの構築	大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻	講師	森 信人	大阪府	今世紀中に発生する確率が高いとされる南海・東南海地震津波は、沿岸部に甚大な被害を与えることが予想されている。本研究では河川を遡上する津波を対象に、流体力学的に矛盾のない数値シミュレーションの構築し、水理実験によりその妥当性の検証を行う。これより河川へ遡上する津波の遡上範囲や水位の推定を行うことが可能となり、河口部における津波対策へ適用可能となる。
171213005	1	1213	河川への流出量抑制を目的とした溜池群の管理運用方式の検討	香川大学	助教授	角道 弘文	香川県	一般に、溜池は水供給を行うための水源であるが、減反等によって水需要量が減少している場合も見られる。本研究では、洪水調節として活用しうる溜池の空き容量を具体的に算定し、利水目的および洪水調節のための放流操作を両立しうる溜池群の統合管理方式を検討することで、河川への流出量抑制の効果について測定する。
171214001	1	1214	微生物を利用した窒素・リン同時除去に関する高度排水処理プロセス技術調査	財団法人造水促進センター	理事長	藤村 宏幸	東京都	水域の富栄養化現象の原因となっている排水中の窒素およびリンを、特殊な代謝機能を有する脱窒性リン蓄積細菌等を用いて同時に除去する生物学的処理技術の現状と動向について調査する
171214002	1	1214	間伐材と木炭を混合した土壌浸透法による硝酸汚染湧水、農業排水路の浄化	金沢大学大学院自然科学研究科	助教授	池本 良子	石川県	畑地への過剰施肥が地下水や河川・湖沼の窒素汚染を引き起こしていることから、硝酸で汚染された湧水や農業排水路の浄化方法として、間伐材と木炭を混合した土壌浄化法を提案し、土壌カラムを用いて実験的検討を行うことにより、その性能を評価するとともに、土壌カラム内微生物の群集解析によりその処理機構を解明する。

平成17年度 新規採択一覧(5/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171214003	1	1214	特定酵素基質法による河川の糞便汚染の測定と評価	大阪教育大学	助教授	広谷 博史	大阪府	河川環境の評価の際には重要視されていない大腸菌群に代わり、特定酵素基質法を用いた大腸菌の計数値による河川水の糞便汚染評価の可能性を探る。重要な水資源である河川水を有効に活用するために、環境基準の糞便汚染項目を見直すこととともに、河川管理の新たな目標として糞便汚染の環境基準適合率向上を提案する。
171215001	1	1215	河川整備工法別にみた中小型哺乳類の利用状況の検証	北海道大学大学院文学研究科	博士課程	阿部 豪	北海道	国民の生命財産を守る護岸は不可欠であるが、昨今は生物護岸が採用され始めた。都市域における河川敷は、中小型動物をはじめとする生物のオアシスであるとともに希有な移動路として機能している。護岸工法別に動物の利用態様を比較し、生物多様性の保全と護岸機能を兼ね備えた工法を提言することを目的とする。
171215002	1	1215	河川生態環境回復と総合的な流域管理を目指した大畑川氾濫原の復元に関する研究	NPOサスティナブルコミュニティ総合研究所	理事長	角本 孝夫	青森県	大畑川の中流域・旧蛇行部の自然・生態の調査し、そこに広がる氾濫原が河口部の市街地形成や流域全体の生態・環境保全に果たした機能を明らかにする。旧蛇行部を氾濫原として回復・保全させ、流域全体の治水機能と河川・沿岸生態系を高め、総合的な流域管理及び土地利用計画、さらにはコミュニティ活性化につなげる。
171215003	1	1215	鳥類を指標とした河川下流草地の生態環境と管理手法	NPO法人岩木山自然学校	調査研究	竹内 健悟	青森県	岩木川下流域に発達する葦原における鳥類(オオセッカなど)の繁殖場所の順応的管理手法を、植生の空間構造等の環境要素、ヨシ産業による人為的要素、野外実験、仏沼干拓地の繁殖生態との比較によって検討する。
171215004	1	1215	希少生物の保護と河川環境の保全	筑波大学	講師	宮崎 淳一	茨城県	希少生物の代表として絶滅危惧種であるホトケドジョウ類に焦点を当て、保護すべき地域集団を明らかにするため遺伝的解析を行い、生息環境を維持し、より良い環境に改善するため生態学的調査を行う。このような基礎研究に基づき、公共事業によって開発が予定されている地域のホトケドジョウ類の保護と環境保全を実践する。
171215005	1	1215	透明メダカを用いた河川水の汚染評価手法の開発	独立行政法人国立環境研究所	研究員	柏田 祥策	茨城県	体表面に色素を持たない透明メダカは、外部より生きたまま臓器観察が可能であり、化学物質による臓器影響研究に非常に有効である。本研究では、透明メダカを用いた生きたまま測定できる新規EROD活性測定法を用いて、排水に汚染された河川水の生態毒性の通年評価を行い、簡便かつ高感度な生態毒性評価手法の開発を行う。
171215006	1	1215	洪水攪乱影響下における湿地植物動態評価手法の開発	埼玉大学工学部	助手	湯谷 賢太郎	埼玉県	本研究では、自然再生を目的に湿地に洪水を導入する場合の、植物に着目した環境・生態系評価手法の確立を目指す。洪水による流体力が植物に与えるモーメントから植物への影響を評価し、河床高と植生の長期動態解析を行い、洪水導入による影響、導入時に要求される条件についての知見を抽出し、適正な洪水管理法を提案する。
171215007	1	1215	ショウドウツバメが営巣する河川流域の生態系解明にむけた環境地質学的アプローチ	千葉県立中央博物館	研究員	大木 淳一	千葉県	ショウドウツバメは夏鳥として北海道に渡来し、河川や海岸の崖地に穴を空けて繁殖する。申請者は日本で唯一の繁殖地である北海道で、その繁殖場所となる河川沿いの崖の地質学的制約条件および生態学的手法を用いた河川生態系におけるショウドウツバメの位置付けを明らかにし、河川流域生態工学や景観保全の一助とする。
171215008	1	1215	平滑岩盤河床河川の底生動物の多様性維持機構と新しい河床構造の見方	千葉県立中央博物館	上席研究	倉西 良一	千葉県	平滑岩盤河床河川は、三面コンクリート張りで見間違えような単純な河川地形で、生息する底生動物は頻りに増水の攪乱を受ける。そのような河川で底生動物は、どのようにして多様性を維持しているのか？ 本研究では、この問題を解明することにより、これからの川づくりに役立つ新しい河床構造の見方を提案したい。

平成17年度 新規採択一覧(6/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171215009	1	1215	河川中流域におけるコチドリとイカルチドリの生息環境選択—砂礫地における指標種として	東京大学大学院農学科学生命科学研究科	助教授	加藤 和弘	千葉県	河川特有の環境である砂礫地に生息する指標性の高い生物種として、イカルチドリとコチドリに着目し、両種の繁殖期における生息環境選択を明らかにすることで、礫河川管理における健全な生態系の維持、また豊かな自然の再生を提言するための有効な基礎資料とする。
171215010	1	1215	汽水域の水生物群の保全と再生のための基礎研究	千葉大学園芸学部	助手	上原 浩一	千葉県	汽水域に生育する絶滅危惧水生植物カワツルモ類の分布と集団の遺伝的構造、保全生態学的調査を行い、汽水域の水辺植生の現況を明らかにし、保護の必要性とその方法を検討する。日本の汽水域における生物多様性の保全の大切さを社会に向けて提言するとともに汽水域の自然環境の保全と維持管理の一助とする。
171215011	1	1215	河川流出ゴミの海岸への漂着実態の解明	東京大学大学院工学系研究科	教授	佐藤 慎司	東京都	河川や海岸における漂着ゴミは近年急増する傾向にあり、水辺の利用と環境に深刻な影響を与えている。本研究では、海岸漂着ゴミの量と質に関する現地調査を実施し、その分布実態を把握したうえで、ゴミの漂流・漂着モデルを構築し、主として洪水後の漂着ゴミ対策に資することを目的とする。
171215012	1	1215	亀岡のアユモドキの産卵場所とそれを創出するラバーダム稼働状況の関係に関する研究	有限責任中間法人水生生物保全研究会	代表理事	小林 光	東京都	アユモドキは日本特産の淡水魚類で絶滅危惧種である。現在、岡山県旭川のほか琵琶湖水系では亀岡市のみ分布。亀岡市では昨年その生態の一部が解明され、生息地のラバーダム稼働が本種の産卵に必須であることが分かった。しかし、その稼働程度と産卵場所創出の可能性は未知のままである。このためダムの稼働時期・水位調整と産卵との関係を明らかにし、本種の保全に資する。
171215013	1	1215	河口・海岸域における生物生息場の機能と環境影響に関する調査・研究	社団法人国際海洋科学技術協会	会長	寺本 俊彦	東京都	河川と海洋の合流域である河口・海岸域の生物生息場の機能及びその地域が環境と生物へ及ぼす影響と改善手法について検討する
171215014	1	1215	河川における若い女性用アクティブ・プログラムの開発	大妻女子大学	教授	岡島 成行	東京都	カヌー、シャワークライミング、釣りなどこれまで若い女性が参加してこなかった河川レクリエーション分野に挑戦してもらい、その意識改革を探る。その結果をもとに、若い女性向けのアクティブ・プログラムを作成し、河川環境教育に新たな分野を切り拓く。
171215015	1	1215	洪水攪乱後の河床生物群集の回復過程におよぼす下水処理水の影響評価	東京大学先端科学技術研究センター	講師	中島 典之	東京都	これまでの河川環境評価では、河川固有の流量変動による攪乱が引き起こす生態系の経時変化があまり考慮されていない。そこで、下水処理水の影響を受ける都市河川において流量変動に伴う河床の生物群集(微生物・底生動物)の動態を調査して、処理水由来の有機物と栄養塩による群集回復過程への影響を評価する。
171215016	1	1215	礫河原再生のための精密三次元空間データ計測手法の開発	東京大学大学院	教授	柴崎 亮介	東京都	近年各地で実施され始めた礫河原の維持再生事業に有効な環境モニタリング法の確立を目的として、CCDカメラとレーザー測距センサを搭載した大型無人ヘリコプターで低高度から礫河原を観測し、微地形や粒度分布の精密な三次元空間データを取得する手法を開発する。
171215017	1	1215	河川中流域において流下する水生昆虫類の日変化と季節変化	信州大学	助教授	平林 公男	長野県	河川本来の生物群集のもつ回復メカニズム(流下)の実態を知ることは、生態系に配慮した河川整備を行う上できわめて重要であり、この点を念頭においた河川整備が今後必要となってくる。生態系に配慮した河川整備に関する具体的な工法、ならびに時期などについて水生昆虫類の側面から提言でき、河川の効率的整備・推進の一助となる。

平成17年度 新規採択一覧(7/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171215018	1	1215	水質・生物的側面からみた諏訪湖における底層水塊の挙動について	長野県水産試験場	主任研究	武居 薫	長野県	浄化施策の効果により湖水環境が変化しつつある諏訪湖において、低酸素水塊に代表される底層水塊の挙動に変化が生じているかを水質面から検討する。あわせて、インガイ科二枚貝類の生息状況と底層の水質との関連性を検証し、大型ベントスを含む生態系の復活・創出に向けた今後の水質浄化施策の方向性をさぐる。
171215019	1	1215	河川源流棲の希少水生生物における遺伝的多様性の比較研究	信州大学	助手	東城 幸治	長野県	河川源流域に局地的分布する源流固有の水生生物には希少種としてリストアップされる種も多い。河川に沿った線形移動・分散の制約に伴い、特に源流棲生物集団は孤立しやすく、各地域集団の遺伝的孤立化も高まりやすいと予想される。希少水生昆虫類を対象に、遺伝的多様性の比較検討を行い、保全へ向けた考察を展開する。
171215020	1	1215	石積み水制の伝統技術継承のための水理模型実験	河川生態環境工学研究所	代表	中村 俊六	愛知県	剛構造および柔構造の石積み水制について、文献調査、損傷事例の現地調査、および水理模型実験によって、製作過程(積み石方法)の詳細、損傷プロセス、および、それぞれの得失を明らかにして、「単に多自然であるだけではなく、洪水にも強い護岸」のニーズに応える。
171215021	1	1215	山地渓流域における間伐材を利用した河川環境の復元と在来魚類個体群の反応に関する研究	三重大学生物資源学部	博士後期	佐藤 拓哉	三重県	世界最南限のイワナ個体群「キリクチ」の生息河川において、河川環境の復元作業を行い、在来魚類個体群の反応をモニタリングする。復元作業においては、河道周辺の間伐材を用いて淵の造成を行なう。得られた結果をもとに、「身近な河川環境の現状を再生について」をテーマに地元小学校での環境教育を展開する。
171215022	1	1215	雑食性底生動物を指標とした河川生態系の物質循環構造予測モデルの構築	北海道大学創成研究機構	特別研究	加藤 元海	北海道	河川生態系は、その規模によって水温や流量などの物理条件が大きく異なるため、生態系の物質循環も一様ではない。本研究では、河川規模ごとの一次生産に依存した物質動態を予測するモデルを構築し、流域ごとの物質循環評価地図を作成する。これにより、河川の整備目標を設定するにあたっての一助となる。
171215023	1	1215	残留性有機フッ素化合物の河川への流入と水生生物への蓄積過程に関する研究	京都大学大学院医学研究科	教授	小泉 昭夫	京都府	近年新たに注目されている残留性有機汚染物質として有機フッ素化合物があり、全国の水系で検出されているが、流入する化合物の同族体パターンと水生生物での生物濃縮、食物連鎖を評価し、水生生物の汚染の潜在的脅威、対策すべき同族体の優先順位を明らかにすることで、健全な河川生態系の維持に資する。
171215024	1	1215	河口干潟に生息する底生生物による水質浄化に関する研究	京都大学大学院農学研究科	助教授	笠井 亮秀	京都府	河口干潟に生息する底生生物の食性を安定同位体比分析によって調べ、それらがどの程度陸上起源有機物を同化しているかを明らかにする。また、底生生物のセルラーゼ活性を調べる。そしてこれらの結果を総合し、底生生物による陸上起源有機物の除去量を見積もることで、底生生物が水質浄化に果たす役割を明らかにする。
171215025	1	1215	DNA解析による外来種チュウゴクオオサンショウウオの生息確認	京都大学大学院人間・環境学研究科	教授	松井 正文	京都府	近畿地方の河川に外来種チュウゴクオオサンショウウオが定着しているらしいことが話題となって久しい。事実であれば特別天然記念物オオサンショウウオの保護・保全上、大問題であるが、これまで何の調査もされていない。DNA解析を用いて両者の確実な識別を行ってその実態を解明し、河川本来の生態系保全に役立てたい。
171215026	1	1215	河川環境の水生動物による具体的分析・評価手法の開発	畷傍東小学校	教頭	岡崎 博文	奈良県	河川の生物群集構造を解明するため、私はカゲロウ目の生活史・トビケラー種の生活史を明らかにしてきた。蓄積してきた水生動物資料に、今後の調査資料を加え、豊かな生態系を育む河川環境(主として、パイオティック・インテグリティ)を水生昆虫(一部小動物含む)により、具体的に分析・評価する手法の開発。

平成17年度 新規採択一覧(8/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171215027	1	1215	海水流入の変動が下流域の河川生態系に与える影響:外海の海面変動に注目して	島根大学	研究員	宮本 康	島根県	中海を対象に2005年度の水質・底質・藻場の状態を調べ、外海の海面水位が異なる過去のデータと比較する。この比較結果から、中海の生態系が海からの海水流入の年変動に応じてどのように変化するかを明らかにし、観察された生態系の変化を生み出すメカニズムを「水質—底質—藻場間の相互作用」の視点から考察する。
171215028	1	1215	河川感潮域における浮遊土砂動態と河岸干潟の地形と底質の変動に関する研究	広島大学大学院	助教授	川西 澄	広島県	太田川放水路(最大潮差4m、水門によって河川流量が制御されている)において流動、水温塩分、浮遊土砂濃度の長期多点同時観測を実施し、放水路内の浮遊土砂動態と放水路河岸に形成されている干潟の地形と底質の変動機構を明らかにし、市民が親しめる河岸干潟の創出と保全といった自然再生事業の一助とする。
171215029	1	1215	河川の流域をつなぐ環境教育のあり方に関する研究	鳴門教育大学学校教育学部	助教授	近森 憲助	徳島県	河川を上流から下流まで一体のものとして捉え、流域の学校をネットワーク化することにより、地域を異にする学校が相互に学習の成果を共有しながら、河川と生活とのかかわりについて、児童に空間的な広がりをもった気づきを促す小学校における環境教育の実践上の課題及び評価も含めた枠組みについて明らかにする。
171215030	1	1215	全窒素の窒素安定同位体比の分析法とそれを用いた河川生態系の評価法の開発	香川大学	助教授	山田 佳裕	香川県	窒素安定同位体比は河川生態系を評価する有効な指標であるが、多くの形態の同位体比を個別に測定する必要があり、煩雑な作業を要する。本研究では全窒素の窒素安定同位体比を包括的に測定するための簡便な方法を開発する。吉野川において、人間活動が生態系に及ぼす影響を解析し、河川生態系評価法としての有効性を示す。
171215031	1	1215	侵入外来魚種ブラックバス類の防除にむけた遺伝的多様性評価に関する研究	愛媛大学農学部	助教授	高木 基裕	愛媛県	外来侵入種のブラックバス個体群の遺伝的多様性と分化程度をマイクロサテライトDNAマーカーを用いて解析し、わが国の河川生態系におけるブラックバス個体群の現状と今後の趨勢について遺伝的な面から評価し、ブラックバス防除に向けての提言の一助とする。
171215032	1	1215	高濁度エスチャリーにおける表層低次生物群集の出現動態に関する研究	愛媛大学	COE研究	尾崎 浩司	愛媛県	水中の光量不足により植物プランクトン生産が制限されていると考えられる高濁度エスチャリーに生息する懸濁物食性動物プランクトンの出現と周辺環境の季節変動を調べ、高濁度エスチャリーの表層低次生物生産構造を解明する。
171215033	1	1215	濁水にともなう物理的攪乱が河川性底生動物に及ぼす影響の解明	愛媛大学大学院理工学研究科	講師	三宅 洋	愛媛県	濁水は物理的攪乱として河川生態系に強い影響を及ぼすことが指摘されている。濁水による表流水の消失面積の増加が問題視されている重信川で、濁水にともなう攪乱が河川性底生動物の量および群集構造に及ぼす影響を明らかにする。さらに、表流水の消失による生息場所の分断化が底生動物相の連続性に及ぼす影響を解明する。
171215034	1	1215	ツルヨシ群落の除去が河床の堆積環境と陸生及び水生動植物群集に及ぼす影響	高知大学理学部	教授	石川 慎吾	高知県	砂礫質の堆積物が卓越する中・小河川に異常繁殖したツルヨシを除去し、ツルヨシ群落を適正な面積に制御するための方法を検討することと、ツルヨシ群落の除去が河床における堆積環境と陸上及び水生の動植物群集に及ぼす影響を明らかにし、砂礫卓越河川の環境と生物多様性の保全に資することを目的とする。
171215035	1	1215	裂田水路に生息する絶滅危惧種スナヤツメへの護岸改修が与える影響の把握	福岡大学工学部	併任講師	渡辺 亮一	福岡県	日本書紀にその最初の記述の見られる裂田水路は日本最古の農業用水路の一つである。ここには、魚類にとって多様な生息空間が残されており、約20種類の魚が生息している。16年度、裂田水路において護岸改修工事が行なわれた。この研究では、護岸改修によってスナヤツメの生息場がどのような影響を受けるかを明らかにする。

平成17年度 新規採択一覧(9/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171215036	1	1215	八代海の塩性湿地生物群集の評価・再生・創出	熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター	教授	逸見 泰久	熊本県	八代海に流入する大野川・水川・球磨川の河口域には、種多様性の高い塩性湿地生物群集が成立しているが、高潮対策工事により多くが失われようとしている。本事業では、これらの塩性湿地の保全・再生・創出に関する研究を行う。
171216001	1	1216	利根川流域(埼玉平野)の治水と新田開発	利根川歴史研究会	会長	広尾 義彰	東京都	江戸時代、利根川では『東遷』など大治水事業が行われ新田が開発されたという。しかし、埼玉平野の一部では水田が少なかったという記述が見られる。今回、現妻沼町(旧妻沼村及び日向村)の検地帳及び年貢割付状が確認されるところから、これらを解読し、新田開発及び農業生産と治水事業との関連を研究するものである。
171216002	1	1216	河川・海域の総合的活用による河川舟運活性化に関する研究	社団法人海洋産業研究会	会長	武井 俊文	東京都	沿岸域と河川域の総合的活用による河川舟運活性化の可能性について検討する。これまでの成果を踏まえ、静脈物流のみならず、動脈物流、河川・海域でのレクリエーション、流域圏の視点に立った水教育や環境教育など多角的な分野について検討し、河川舟運活性化により、防災利用の最大課題である平時利用のあり方を検討する。
171216003	1	1216	琵琶湖沿岸域における湖岸と人の関わり方の変化についての研究	滋賀県立大学	助教授	村上 修一	滋賀県	琵琶湖沿岸の集落を対象に、昭和期から現在にいたる湖岸の空間変化、および住民の湖岸に対する関わりの変化を把握し、湖岸と人の関わりが変化してきた経緯と要因を明らかにする。得られる知見にもとづき、今後進められる湖岸再整備事業において、地域に根ざした湖岸づくりに向けた提言を行う。
171216004	1	1216	歴史と感性を考慮した河川整備のあり方についての調査研究	大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻	教授	角野 昇八	大阪府	地域の歴史や文化を活かした河川整備を提案することを目的とし、河川が人々にどのように見られ、感じられてきたのかということについて江戸時代と現代について比較し考慮する。江戸時代以降の文献調査と都市河川近傍におけるアンケート調査を行い、その結果から現代人が持つ河川との感覚的な距離を縮めるための河川整備のあり方について提言を行う。
171216005	1	1216	石工の技術による河川整備の事例調査とその力学的検討	西日本工業大学	教授	赤司 信義	福岡県	本研究は、地域の石の文化や技術を継承・普及させることを目的としていて、石工技術者の動向や石組みによる河川整備状況を明らかにし、技術を継承するための取組みを地域と共に考えて提示し、また、普及させていくため、石組みによる床止めの施工方法の整理と共にその力学的設計法を提示しようとするものである。
171217001	1	1217	市民と行政による協働型河川管理に関する比較研究	名古屋大学大学院環境学研究科	大学院博	辻村 大生	愛知県	庄内川水系では市民参加による協働型河川管理が目指されている。尻別川水系ではNPOによる河川管理が試みられている。研究では、両水系を中心に市民参加による河川管理の比較検討を行い、流域市民団体の活動実態と社会的役割を把握する。その上で、庄内川における協働型河川管理を検討し、社会実験の計画策定を目指す。
171217002	1	1217	雁木を活用した河川水上交通のための調査および情報システムの構築	特定非営利活動法人雁木組	理事長	大西 明	広島県	太田川デルタの6本の河川に今なお残る約300カ所の雁木(川へ降りる階段)を活用した水上交通実現の取組みが市民により始まった。潮位変動に伴う雁木の利用可能性調査・システム開発・公開を行うと共に、雁木形状の提案を行い、干満差による様々な制約を克服して、雁木利用による水上交通の普及へとつなげるものである。
171219001	1	1219	霞ヶ浦の水位変動が水草帯の微小動物群集に与えるインパクト―野外調査と実験からの解析―	茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター	准教授	中里 亮治	茨城県	水位操作がなされている霞ヶ浦で、水草帯に生息するユスリカなどの微小な付着・底生生物の分布と密度に関する通常の野外調査と、水位を操作する飼育実験から、水位変動が水草帯の微小動物群集の動態に与えるインパクトを明らかにし、近年霞ヶ浦で問題になっている霞ヶ浦の適切な水位管理を模索するための基礎資料とする。

平成17年度 新規採択一覧(10/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171219002	1	1219	2004年台風21号等による宮川流域の豪雨災害の特性と今後の流域管理	東京農業大学	教授	太田 猛彦	埼玉県	宮川流域に甚大な浸水被害及び土砂災害をもたらした2004年9月豪雨災害について、「宮川環境読本」製作の過程で得た流域の自然、歴史、開発過程、現環境等に関する知見を踏まえ、現地調査及び資料調査により、1938年豪雨災害と比較することにより、流域管理の視点から本豪雨災害の特性を明らかにする。
171219003	1	1219	河川水系汚染クリプトスポリジウムのヒト腸上皮細胞への感染性に関する調査・研究	北里大学	講師	笹原 武志	神奈川県	ヒト腸上皮細胞を用いたクリプトスポリジウム(Cp)の感染評価試験法を確立し、多摩川と相模川水系から通年で共通して検出されるCryptosporidium andersoniのヒト腸管への感染性を解析し、かかる河川水系汚染Cpに対する総合的な感染防止に資する提言の一助とする。
171219004	1	1219	河川を活かしたまちづくりのための都市内河川環境総合評価手法の構築	豊橋技術科学大学	教授	大貝 彰	愛知県	河川を活かしたまちづくり推進に寄与するツールとして、都市計画的視点から河川環境を総合的に評価する方法を、ISMモデルやAHPモデル等の意思決定手法を用いて構築する。構築した手法は豊橋市内を流域とする都市内河川の朝倉川に適用し、提案手法の有効性を検証し、総合環境評価手法としての可能性を考察する。
171219005	1	1219	水利施設構造物と地盤の浸透破壊に対する安定性とその向上に関する研究	神戸大学	教授	田中 勉	兵庫県	ダム、河川堤防、取水堰などの河川構造物や河川工事における仮設構造物、または、その基礎地盤には浸透流が生じ、パイピング現象などの浸透破壊が問題となる。ここでは、これら水利施設構造物や基礎地盤の浸透破壊について安定性の把握手法の確立と安定性向上のための対策工法について研究する。
171221001	1	1221	機能性マグネタイトを用いた河川水・地下水からの砒素除去技術の開発	宮崎大学工学部物質環境化学科	助手	大柴 薫	宮崎県	砒素による水質汚染は世界中の大きな問題である。本研究では、砒素の除去剤として高選択性マグネタイトを新たに合成し、河川水からの砒素の除去を行う。本マグネタイトは安価で、生体適合性を有し、砒素に高い吸着能をもった磁性体であるため、回収も容易であり、エネルギー軽減や環境保全の観点から大いに期待できる。
171241001	2	1241	阿武隈川流域水循環健全化へ向けての基礎研究	福島大学	教授	虫明 功臣	福島県	阿武隈川流域の水環境、水利用ならびに治水に係わる諸課題の実態を科学的に明らかにすることを基礎として、「流域水循環健全化」の視点から流域で行うべき対策技術と施策を整理するとともに、それら施策の実施に向けての流域連携の枠組みを提示する。本事業は、関連行政機関との密接な連携のもとに実施する。
171241002	1	1241	飼料イネによる河川水質浄化とバイオマス生産	東京農工大学	教授	細見 正明	東京都	飼料イネはバイオマス生産量が大きく、地上部の植物体全体を収穫後、飼料として家畜に供することができる。本研究では、飼料イネを休耕田で栽培し、汚濁河川水流入させ、窒素などの物質の挙動を明らかにし、水質浄化機能を評価するとともに、飼料イネのバイオマス生産量を測定し、資源循環型の水環境改善対策を提案する。
171241003	2	1241	自然を基軸とした河川風景論の構築—江戸川を事例として—	風景フォーラム(みず・まちネット)	主任研究	長屋 静子	東京都	首都圏・江戸川を対象に、現地調査や学際的な共同研究により、河川の生態系、歴史文化、河道変遷などから、河川空間の構造を時代別空間別に分類し、これに基づき河川風景を形成している指標を分析する。次に、今後の河川における風景指標や風景要素を明らかにし、自然を基軸とした河川風景論の構築を図る。
171241004	2	1241	河川および河口域の環境再生に関する応用生態工学的共同研究	自然再生研究グループ	代表	廣瀬 利雄	東京都	収集した自然の復元・再生を目的とした事業の中から、順応的管理の重点事例について詳細に調査するとともに日本の地質分類に着目した、ダムへの堆砂と、河口域の干潟・砂州などの水辺環境の材料の地質学・地形的特性を研究し、今後の自然再生等に活用できる情報の整理・提供と提案を検討する。

平成17年度 新規採択一覧(11/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
171241005	2	1241	アンパル干潟への赤土堆積による地形変化が甲殻類の分布に及ぼす影響について	東京工業大学	教授	石川 忠晴	神奈川県	近年、アンパル干潟では赤土堆積による地形変化が著しく、それに伴い流動特性も変化し、甲殻類の幼生や餌となる有機物の輸送特性も変化していると考えられる。本調査では干潟に流入する幼生及び有機物の動態について現地観測とシミュレーションを行い、地形及び底質変化がそれらの移流拡散に与える影響について考察する。
171241006	2	1241	「森—川—海」雨水・栄養塩類流出モデルの構築と流出負荷量の算定に関する調査研究	徳島大学工学部	教授	端野 道夫	徳島県	瀬戸内海に面する山地森林面積が90%を占める小流域を対象に、雨水と栄養塩類の流出観測を行い、申請者が開発してきた森林流域の水・物質流出モデルと海域3次元移流拡散モデルを適用して、「森—川—海」の水・栄養塩類流出モデルを構築し、流出負荷量の算定など陸域水環境が沿岸水環境に与える影響の評価を行う。
171241007	2	1241	維持流量の弾力的運用による河川環境の保全・改善効果	九州大学大学院	助教授	矢野 真一郎	福岡県	筑後川上流に位置する大山川ダムにおいて、発電用水の調整によりダム放流量の増量が行われている。ダム放流量の操作により、維持流量がダム下流の河川環境へ与えるインパクトについて、物理・水質・生態系(魚類・藻類)・景観の観点から現地調査し、「正常流量」の概念を定量的に評価することを試みる。
171251003	1	1251	平成17年9月関東地方大雨による市街地浸水災害調査と防災対策研究	(社)雨水貯留浸透技術協会東京市街地浸水調査団	客員教授	石崎 勝義	東京都	平成17年9月4日から5日にかけて東京都中野区・杉並区等で発生した大雨による浸水被害はこれまでの都市災害とは異なる特徴を有しているため、緊急に調査を行い、今後の河川改修の方向を考える上で役立つ資料を収集・整理したい。
171251001	1	1251	平成17年台風14号の記録的豪雨による災害の調査と減災対策に関する研究	(社)土木学会台風14号災害緊急調査団	教授	杉尾 哲	宮崎県	平成17年の台風14号によって発生した9月4日～6日の記録的豪雨による甚大な水害・土砂水害について、九州東部の三県で水文資料・被害状況・避難状況などの調査を行い、災害の発生原因と発生機構の解明、避難、救助行動のあり方について考察を加え、今後の想定規模を上回る河川災害に向けて対策を提言する。
171251002	1	1251	平成2005年台風14号による豪雨で発生した九州地方の土砂災害に関する調査研究	(社)砂防学会2005年九州地方土砂災害調査団	教授	下川 悦郎	鹿児島県	平成17年9月上旬に九州地方を襲った台風14号に伴う記録的豪雨により宮崎県を知勇心に22名の人的被害を伴う甚大な土砂災害を生じた。(社)砂防学会では、この豪雨で生じた斜面崩壊や土石流等、土砂災害を引き起こした実態と災害規模を把握し、豪雨時に発生する土砂災害の減災対策に向けての基礎的な資料とする。
172001001	1	2001	渚滑川溪谷遊歩道利用者案内看板設置	滝上町	滝上町長	澤田 詮一	北海道	渚滑川の水辺空間を学習資源、観光資源としての付加価値をより高めるため、遊歩道周辺を中心として魚類・動植物の説明看板を設置したい。
172001002	1	2001	境川・鶴間「せせらぎ広場」計画	特定非営利活動法人境川緑のルネッサンス	理事長	石井 芳春	東京都	境川・鶴間流域の旧河川敷を利用して「せせらぎ広場」を作り、水と緑の再生を図ると共に、地域住民の憩いの場とする。具体的には、上総掘り方式による手掘りで井土を掘削し、その水を利用して池や水路で“せせらぎ”を作りビオトープを整備する。今後、周辺学校生徒達への河川総合学習や、地域住民の境川への関心を高めるプログラムを進める。
172001003	1	2001	源流広見川流域の環境を美しくする活動	広見川夢の会	会長	酒井 哲夫	愛媛県	源流「広見川を世界で一番美しい母なる川にしよう」と話し合いや、稚鯉の放流、ホテルの宿づくり、看板の制作、落葉樹(ケヤキ苗)の植林活動。

平成17年度 新規採択一覧(12/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
172001004	1	2001	「子供の水辺」再生に向けた歴史に学ぶ・守りたい水辺の調査研究と環境整備	自然と暮らしを考える研究会	代表	石盛 信行	佐賀県	厳木川の「通称＝わんノ瀬」流域は、40年前まで子供たちで賑った「子供の水辺」空間の再生を掲げている。本事業における対象は、長年にわたってはえ・たまった水際の「竹やぶ・がれき」や危険ヶ所の環境整備とこの流域に残る河川の歴史的(古代・中世・近世)痕跡を学び、調査研究(人材育成)を実施する。
173111001	1	3111	釧路川流域の保全と賢明な利用、自然再生に関する普及啓発事業	釧路国際ウェットランドセンター	理事長	伊東 良孝	北海道	釧路湿原周辺の地域住民を対象に、釧路湿原・釧路川で行われている保全や賢明な利用、自然再生事業に関して、それらの取り組みをより身近に知る機会として、湿原での簡易な調査活動や体験学習などを行い、河川・湿原の価値および保全の重要性についての認識や河川愛護意識を深め、地域住民の保全意識の高揚を図る。
173111002	1	3111	羽幌川跡地でのビオトープづくり	羽幌みんなでつくる自然空間協議会	代表	金田 幸太郎	北海道	旧羽幌川の跡地(約80,000㎡)でのビオトープづくりを進展させ、在来の動植物の保全・育成の場としてさらに活用させて行く。内容としては、防風林の植樹や池の造成・護岸などを実施し、羽幌町本来の森を復元する今後の活動や、子どもの自然体験広場の充実につながる重要な足場づくりを目指す。
173111003	1	3111	巡回児童ステーション「音更川・親水塾」の開催	社会福祉法人中士幌福祉事業会	理事長	松浪 雪江	北海道	北海道・十勝の穀倉地帯を流れる音更川は、流域から流入する農業関連の汚水によって汚れ、30年このかた人も近寄らない忘れられた川になっていました。転期は畜産廃棄物を規制する法律によってもたらされました。清流が戻ってきたのです。いまこそ「親水塾」を開き、忘れられた川に人々を誘い、川と人の文化を取り戻したい。
173111004	1	3111	川の自然・観光マップ制作事業	帯広観光体験ボランティアガイドの会	会長	太田 昇	北海道	十勝川・札内川・帯広川の合流域の市民および観光客や身体の不自由な方々を対象に河川の自然や環境、川の美しさ・楽しさ等を案内し、又観光ボランティアガイドの育成をするためのプログラムなどを実施する。
173111005	1	3111	夕張川セミナーの創造にむけて	栗山町いきものの里づくり推進協議会	会長	谷口 勲	北海道	夕張川を自然・歴史・生活文化など多面的に見つめ直し、川と遊ぶ～体験学習、川を調べる～調査活動、川に学ぶ～シンポジウム開催、川をつくる～流域市民の参画する「夕張川セミナー」を創造する。
173111006	1	3111	Eボートマニュアル作成及び、Eボートによる親水活動促進事業	特定非営利活動法人帯広NPO28サポートセンター	理事長	千葉 養子	北海道	Eボートをより広い分野、方面で活用し、親水事業への参加者を増加させるために、Eボート指導者向けマニュアルを作成する。内容は3部構成で、ボートの組み立て、操船法、危険予知などの「基本編」と乗船者が子ども、高齢者、障害者それぞれの場合の「応用編」、社会実験を実施して作成する「実例集」とする。
173111007	1	3111	外来魚を考える環境フォーラム	御所ダムビジョンネットワークの会	会長	軍司 俊道	岩手県	近年、日本の河川等で固有の生態系を破壊する外来魚として脅威となっているブラックバスなど。岩手県内でも駆除対策の取組が始まったバス対策を官民が共に考えて行動に移すための環境フォーラム。
173111008	1	3111	「第6回全国源流シンポジウム北上川大会」の開催	特定非営利活動法人北上川流域連携交流会	理事長	吉田 幸助	岩手県	日本の国土の脊梁をなす源流域の自然や歴史文化、国土保全、環境改善等の役割を、広く啓発することを目的に「第6回全国源流シンポジウム北上川大会」を開催する。

平成17年度 新規採択一覧(13/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111009	1	3111	自然のすばらしさを地域民と共に体感する河川愛護活動の推進	松山町立下伊場野小学校	校長	小野 賢一	宮城県	「水辺の楽校」(鳴瀬川河川敷公園)を中心とした鳴瀬川での自然のすばらしさを体感する活動や水辺の楽校に飛来する白鳥を保護する活動及び地域民との河川敷清掃などボランティア活動を推進することによって、児童や地域民の河川への愛護意識を高め、豊かな感性を育む。
173111010	1	3111	グリーンアドベンチャークラブふるさと探検隊・自然探検隊合同江合川探検グリーンアドベンチャークラブふるさと探検隊鳴瀬川川下り	小牛田町教育委員会子牛田町公民館	館長	伊藤 誠	宮城県	小牛田町内の小学4年生から6年生までの児童を対象に、ふるさと自然に触れ良さを知ってもらう自然体験事業の一環として手作りのイカダで、川下りを実施している。川の美しさや恐さを感じ、自然や環境について学ぶことで河川環境保全の心を養う。
173111011	1	3111	水ガキの育成と交流を行う「水ガキ交流会in東北」の開催	特定非営利活動法人水環境ネット東北	代表理事	新川 達郎	宮城県	東北の自然豊かなフィールドでの、地域性と季節にポイントを絞った自然体験を通して、水の恩恵を楽しむことができる『水ガキ』の育成と交流を目的とする。また、地域の方々とワークグループを立ち上げ運営することで、新たなネットワークの構築を行うとともに、この水ガキ交流会in東北の運営マニュアルを全国に提案する。
173111014	1	3111	横手市のふるさと川の環境をよくする事業	清水沢川ほたる研究会	会長	多賀糸 敏雄	秋田県	横手市中心街を流れる清水沢川をフィールドにして、砂防事業の護岸工事で失われたほたるの生息する良好な河川環境を復活するため地元市民を中心とする河川再生活動を実施していく。この活動には地元商工会や観光協会などのほか、県の建設交通部と連携して、ほたるのいる川を復活させて市民が癒される川づくりを目指します。
173111012	1	3111	癒しの川「子吉川」に学ぶ	子吉川市民会議	会長	木谷 豊四	秋田県	花いっぱい活動並びにクリーンアップを実践し子吉川の美化活動を推進するとともに、子吉川の上流を探訪して川の歴史を学び自然観察するなど川に親しむ。そして、子供達の環境を守る科学の目を育てる。
173111013	1	3111	ラジオドラマ「雄物川災害物語」	湯沢雄勝水資源開発研究会	代表	鶴沼 順二郎	秋田県	雄物川は流域住民にとって身近な河川ですが一方で意外と知られていない歴史や伝説、言い伝えが存在します。その中で氾濫等の災害に焦点をあて現代風にアレンジした再現ラジオドラマを制作・放送し、秋田県南部地域の災害歴史について理解を深めて頂くと共に、災害の恐ろしさ、避難に対する認識、対策の大切さを切に訴える。
173111015	1	3111	「ローカルエコアクション21」	山形県立米沢工業高等学校	校長	上村 勘二	山形県	都市の自然環境について学習、調査を実施し、都市の環境について考えていく。また、都市における河川の役割と必要性についても考える。3年間継続して学習・調査・実験してきた事について個人及びグループ毎にまとめ、上郷地区の住民の方を招いて発表会を実施。その後、まとめた文集を各家庭に配布する。
173111016	1	3111	川に学ぶ河川愛護活動	石川町立石川小学校	校長	水野 岩雄	福島県	水辺にある学校という立地条件を生かし、川に親しむと同時に、川に住む生き物調べや水質調査等を行うことにより、自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心を培い、環境や自然と人間とのかかわりについて理解を深め、環境を大切にすることを育成する。
173111017	1	3111	新市における三次元プロジェクトの発展的定着	NPO小貝川プロジェクト21	理事長	井草 雄太郎	茨城県	本年3月、藤代町は取手市に編入合併する。年間6千人が参加する小貝川をフィールドとした教育と福祉の実践「ふじしろ・三次元プロジェクト」は、NPOと行政のパートナーシップで成り立ち、市民の理解が不可欠である。本事業は、新市の市民に体験を通して同プロジェクトをアピールし、発展的定着を図るものである。

平成17年度 新規採択一覧(14/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111018	1	3111	渡良瀬遊水地・渡良瀬川での体験学習会(生き物観察・水の調査)の開催	古河市	古河市長	小久保 忠男	茨城県	渡良瀬遊水地と渡良瀬川流域の小学生を対象に、河川の自然や環境、川の働き、川の楽しさなどを学ぶための体験学習会を開催する。内容は、川に住む生物や植物の観察、河川の空間での体験学習及びイベント等に参加しより多くの人に河川についてPRする。また、環境学習に関する各種講習会に参加することで人材育成を図る。
173111019	1	3111	川の指導者養成講座の展開と指導者検索システム・データベースの構築	川に学ぶ体験活動協議会	代表理事	大野 重男	茨城県	川に学ぶ社会の再構築に向け全国各地で子どもを楽しく安全に水辺へ誘える川の指導者育成講座の展開と、ホームページで何処からでも見られる川の指導者検索システムの構築、環境教育推進基本法に応えられる川の指導者DBの構築、および指導者の質的水準を保つため指導テキストの作成を行う。
173111020	1	3111	「那珂川楽校」の実施と川を活用したツアーリズムの推進	那珂川流域連携協議会	会長 大	小谷 隆亮	茨城県	那珂川の源流から河口の自然を活用し、上下流交流を通じた「川の楽しさ」や「生態系を学ぶ」ため流域の地域が連携して『那珂川楽校』を行う。また、川を活用した観光推進に向け拠点づくり・社会実験的なツアーの推進を目指すしくみづくりも同時に進める。
173111021	1	3111	流域まるごと浄化による河川愛護活動の実践	栃木県立宇都宮工業高等学校	校長	岡田 義治	栃木県	宇都宮市内を流れている釜川は市の顔で、近年汚染が指摘されている。これまで、下流域では炭を用いた浄化活動を展開してきたが、その原因は上・中流域からの流入によるものと推測される。この活動では、流域をまるごと浄化の対象とし、流域ネットを立ち上げ、水質形成機構の解明や流域内浄化活動及び地域啓発活動を行う。
173111022	1	3111	秩父の豊かな自然環境の活用と清流を守る活動	NPO法人秩父の環境を考える会	代表	石川 友一	埼玉県	秩父地域は荒川の源流域にあり、県南部の水瓶でもある。しかし、近年水源の地は荒れ、川は汚れるなど水環境の悪化が深刻な問題となっているそこで水源地域の自然環境と清流をテーマにした活動を設定して、多くの子ども達と地域住民に自然に親しみ、その大切さに気付くとともに豊かな自然を守り続け保全する心を養うよう諸活動を実施する。
173111023	1	3111	不老川のホームページ作成と出前講座活動	不老川流域川づくり市民の会	代表	相馬 和彦	埼玉県	当会発足から8年間にわたり蓄積してきた不老川のかめ細かな情報を編集、更に収集してデータベースを作成、ホームページを立ち上げて公開する。流域住民、河川管理者、小学校の環境教育等での活用を進めると共に、公共施設や地域の集会所で出前講座を開いて不老川をビジュアルに紹介し、多様な人々に川づくりへの関心をよびおこす。
173111024	1	3111	元荒川お宝プロジェクト	よみがえれ元荒川の会	事務局長	津浦 悦男	埼玉県	元荒川に負のイメージをもつ人々、川に無関心な子供達が再び川に目を向け親しむ様にするため、元荒川お宝マップ(人と川との関わりの歴史、見どころ等、子供にも分かり易いマップ)を作成、配布、普及すること。併せて「生き物調査・フナ放流」「ふるさとウォーク」「菜つみウォーク」等を実施、河川愛護の心を養う。
173111025	1	3111	「川の日」記念事業と「八つ場ダムのできるまで」見学ツアー	千葉県立関宿城博物館	館長	阪田 正一	千葉県	7月の「川の日」を中心に年間を通じ、川の愛護・親水精神を養うため、数々の関連事業を行う。また、利根川の源流の一つである「八つ場ダム」の工事現場の見学を行い、「水」確保の重要性を認識してもらう。そのほか江戸時代の水利土木家「船橋随庵」の一生を再現した学校向けの劇を近隣の学校で上演する。
173111026	1	3111	荒川遊学ガイド養成講座の開催	特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム	代表理事	野村 圭佑	東京都	荒川下流部でゴミの調査・回収と水質などの自然調査を行っているが、川を利用した環境学習や総合的学習の講師の要請が多くなり、3年間行った川に学ぶ体験活動講師養成講座の発展として「荒川遊学ガイド養成講座」を開講し、指導者の養成と併せて、地域で活用できる荒川環境学習テキスト(資料本)を作成する。

平成17年度 新規採択一覧(15/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111027	1	3111	霞ヶ浦湖岸における水生植物の植生および変遷過程の画像電子データ化と読本の制作	NPO法人自然環境復元協会	理事長	杉山 恵一	東京都	1970～80年代、水生植物が繁茂する自然豊かな霞ヶ浦は、1993年頃から様々な原因で全くその姿を消してしまった。湖岸自然環境の中で最も重要な役割を担う沿岸植生について、その場所で最も良好な生育が見られた当時の映像を示すことで、合理的かつ具体的な自然再生の目標が明確になり、他の同様な湖沼の自然再生にも供する。
173111028	1	3111	海岸愛護推進事業(写真コンクール・グラフィア・ポスター作成)	社団法人全国海岸協会	事務局長	滝口 孝輔	東京都	海とのかかわりが深いわが国においてその海岸線は、多様に活用されており、うるおいとやすらぎのある海岸への期待は益々高まっている。この貴重な自然空間を大切に守り育てる心の広がりを願って、海岸愛護の写真コンクールを実施し、その作品を活用してグラフィアを作成するとともに海岸愛護ポスターを作成する。
173111029	1	3111	河川生態系に関する連続講演会の開催	特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合	会長	辻井 達一	東京都	高校生以上の一般市民を対象に、河川の生態系や生物多様性について専門家による連続講演を開催する。講演の内容は、河川に棲む生物相互の関係や生物と環境との関係、陸と川・川と海の関連性等について知識を深められるようなものとし、河川生態系のかげがえのなさについての普及啓発を目的とする。
173111030	1	3111	海辺ゴミサミット・隠岐会議の開催と河川流出ゴミの抑制	クリーンアップ全国事務局	代表	小島 あずさ	東京都	16年度のつしま会議での議論をふまえ、海岸ゴミ問題の解決のためのワーキンググループを設置させ、改善プログラムを提示する。
173111031	1	3111	相模川の河成段丘から見た地球環境の変遷	東京都立成瀬高等学校	教諭	内記 昭彦	東京都	地学Ⅰ、理科総合B(地学分野)の授業において、相模原台地を流下する相模川流域に発達する河成段丘を、地形地質学の観点から調査研究し、その成因や形成年代について探究する。河成段丘が地球全体規模の水期間氷期サイクルによって形成されたものであることを理解し、温暖化が懸念されている地球環境について考える契機とする。
173111032	1	3111	「水と緑のまち」江戸川新発見事業	NPO法人えどがわエコセンター	理事長	岡島 成行	東京都	三方を海と川に囲まれた江戸川区において、区民が自分たちの住むまちを流れる河川に関心をもてるように、一般区民が参加できる体験型のイベントや調査を行います。親中川の河川敷に生息する植物や生物の調査や荒川や左近川などで行う自然体験教室などを通して、子どもから大人まで楽しみながら学べるプログラムを実施します。
173111033	1	3111	河川水質維持に係る工場排水の水質試験セミナー	社団法人日本工業用水協会	会長	神田 真秋	東京都	環境行政の法律(水質汚濁防止法)で引用されている日本工業規格JIS K 0093(工業用水・工場排水中のポリクロロビフェニル(PCB)試験方法)等の見直し(改訂)に伴い、全国地方公共団体の水質環境行政職員及び工場における公害防止監視者等を対象として、試験方法の解説を含めたセミナーを全国規模で開催する。
173111034	1	3111	発表会「関東の川自慢集合!!」ブックレット「シリーズ・荒川沿川の町歩き」1千住界隈	特定非営利活動法人あらかわ学会	理事長	鈴木 誠	東京都	荒川をはじめ関東の各河川で活動している個人・団体に呼びかけ川・活動自慢をして、よりよい川づくりに対する情報や思いを共有する。またブックレットのシリーズ1として「千住界隈」を出版・頒布し、歴史民俗・自然環境・美術・写真・IT広報委員会を擁するあらかわ学会ならではの荒川紹介・荒川の楽しみ方を紹介する。
173111035	1	3111	教員を目指す学生を対象とした川の原体験促進事業	社団法人日本ネイチャーゲーム協会	理事長	降旗 信一	東京都	川での体験学習を子どもたちに継続的に実施するためには、教員との連携が不可欠であるが、川の原体験を持たない新任教員では、こうした連携や理解を得るのが困難となる。そこで、全国の教員を目指す学生を対象に、川のネイチャーゲーム・自然体験活動を提供し、川での原体験を促進し、河川環境教育に貢献する。

平成17年度 新規採択一覧(16/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111036	1	3111	臨川小学校と地域住民協働による「春の小川」復元と環境学習事業	渋谷区立臨川小学校PTA	PTA会長	飯田 義道	東京都	渋谷区立臨川小学校の児童・保護者、及び教職員が三位一体となって協働し、渋谷川が「春の小川」であった当時の様子を調査・研究する。それをモデル化し、自然エネルギーを使ったピオトープを校庭に復元し、河川環境、河川生態系等に関する教育・文化事業を行う。
173111037	1	3111	“多摩川大好き！みんなおいでよせせらぎ館”多摩川体験活動プログラムの実施	特定非営利活動法人多摩川エコミュージアム	代表理事	長島 保	神奈川県	せせらぎ館に施設見学及び環境学習活動の指導の要請のある流域の小・中・高等学校の児童・生徒達を対象に多摩川の持つ豊かな自然・環境・歴史・文化等を実際の体験活動を通して五感をフルに活かした学習に?げるプログラムを作成し、実施する。
173111038	1	3111	故郷の川に親しもう	北社市オオムラサキセンター	館長	跡部 治賢	山梨県	平成16年11月に誕生した北社市管内の小中学生が、学校付近の河川の指標昆虫とCOD調査をおこない、川の汚れと指標昆虫の関係を学ぶ。並行して蜚の分布調査も行い調査の成果を蜚マップに表し、公表して故郷の川を市民が愛する意識の高揚を図る。
173111040	1	3111	天竜川川路、龍江、竜丘地区川辺の原風景回復地域住民活動	財団法人飯田市天竜川環境整備公社	理事長	牧野 光朗	長野県	天竜川の水害に苦しみ、河川環境に関心が高い川路、龍江、竜丘地区の各自治会、育成会、関係団体が、連携して護岸に繁茂する帰化植物と減る在来種を知り、帰化植物の除去、草刈り、ゴミ拾い作業を通し、親しむ川として川辺の原風景を取り戻す活動を行い、天竜川関わる広域地域住民に根ざした住民活動を行う。
173111041	1	3111	2005河川環境メッセin岐阜の開催	岐阜県自然共生工法研究会	会長、岐	河村 三郎	岐阜県	失われつつある水辺環境を保全、創出し、次世代に豊かな自然環境を引き継ぐことをテーマにメッセを前年度に引き続き開催。産学民官の自然共生の取り組みを広く紹介し、県民へ自然共生の考え方を普及啓蒙する。
173111042	1	3111	愛知万博モリゾウキッコロメッセ会場にて堀川歴史マンガ劇と堀川クイズの開催	名古屋堀川ライオンズクラブ	会長	鈴木 序幸	愛知県	夏休み期間中に万博会場を訪れる小中学生とその家族を対象に名古屋の堀川の歴史と環境の両面から堀川マンガ劇とクイズを企画、河川愛護と環境教育活動、更に堀川再生啓発活動を行う。尚、万博終了後は制作した機材を活用して市内小中学校で引き続きの同様な活動を継続したい
173111043	1	3111	環境教育を含めた堀川の再生に向けて研究・実践活動	堀川とまちづくりを考える会	会長	浦野 三男	愛知県	名古屋の「母なる川」堀川の再生を願い、小学校の総合学習に協力し、同時に一昨年から実施している、「堀川大学」では今年度より「なごや環境大学」において講座を開催する。また、全3回を数える堀川大学の集大成として、堀川の昔から今にいたるまでをCD-Rや報告書にまとめ、広報活動および花壇整備、一斉大そうじも行う。
173111044	1	3111	藤前干潟クリーン大作戦	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	実行委員	浅沼 秀夫	愛知県	国土交通省中部地方整備局が提起した「川と海のクリーン大作戦」の提起を受けて、四市民団体による「藤前干潟クリーン大作戦実行委員会」を結成し、国、県、市と地元自治会との協働によるラムサール条約登録地の藤前干潟周辺一帯のゴミ拾い活動による、河川愛護・環境教育・自然再生等の実践活動を進める。
173111045	1	3111	「川の声、川と暮らす—長良川／揖斐川と私たちの暮らし」の総合学習用ビデオとDVD作成	木曾川文化研究会	代表	久保田 稔	三重県	木曾三川は五県にまたがっており、総合学習で教員が源流部から河口部まで一貫して、川からの恩恵や先人の努力を取り上げるのは困難である。そこで、揖斐・長良川とその流域を対象に、川と人々との関わりに関するビデオとDVDを作成し、小・中学生に先人の努力と川からの恩恵を伝え、今後の川を考える端緒とする。

平成17年度 新規採択一覧(17/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111046	1	3111	安倍川環境学習リーダーの養成講座、全国流木アート大賞展の開催	NPO法人水の国しずおかフォーラム	理事長	番場 公雄	静岡県	安倍川など全国の河川で深刻化している大量の流木発生について森、川、海の流域全体の問題ととらえ、多くの市民に河川への関心を持ってもらうため「環境学習リーダー養成講座」を開催、その成果を踏まえて、11月の流木クリーンまつりでの、新企画「全国流木アート大賞展」開催につなげる。また、副読本等を制作して啓発・教育活動を実施する。
173111047	1	3111	安倍川の清流・維持保全事業	安倍川フォーラム	代表	築地 勝美	静岡県	安倍川の清流を維持保全するために、河川清掃を主体とした愛護活動、学校教育の支援を主体とした環境教育活動、イベントを主体とした啓発事業を行うもの。
173111048	1	3111	「水の都・三島リバーインストラクター養成塾」の開校	NPO法人グラウンドワーク三島	理事長	緒明 實	静岡県	今、子供たちの川に対する関心は薄く、川遊びの姿はほとんどみかけられない。そこで、三島市及び狩野川流域を対象として、川の水辺自然環境、川での遊び方、川の治水・環境への役割、川の歴史風土、川的生活文化などを学び、あわせ川の指導者を育成する「水の都・三島リバーインストラクター養成塾」を開校する。
173111049	1	3111	おおのこどもフェスタ「水辺探索隊」	大野市	大野市長	天谷 光治	福井県	真名川下流域において、小学生高学年を対象に、河川の自然環境を学び川遊びの楽しさ、川の恐さを体験し、身近な水辺環境についての意識を醸成するために、「水辺探索隊」を開催する。水辺環境についての講話、水辺の生き物調べ、水辺の遊びなどを実施するとともに、指導者を育成する場としても活用したい。
173111050	1	3111	ホテルが再び飛び交う川環境の再生に向けた実践と環境教育活動～福井豪雨災害を乗り越えて	NPO法人自然体験共学センター	理事長	辻 一憲	福井県	2004年7月に発生した福井豪雨によって多大な被害を受けた足羽川本支流の流域の小中高等学生・大学生・地域住民・市民等を対象に、ホテルが再び飛び交う川環境の再生に向けた実践と環境教育を行うことを通じて、河川河川及び河川を取り囲む環境への関心を高める。
173111051	1	3111	高時川速水地区区子どもの水辺	高時川速水地区区子どもの水辺協議会	会長	杉田 信男	滋賀県	高時川沿川に居住しているものの、日頃、川や水に親しむことの少なくなった子ども達に川に親しむ場や機会を提供し、遊びの中で水の楽しさや恐ろしさ、自然の大切さを体感してもらうため、実際に川の中に入り水生生物の観察を行うイベントや、過去の水害体験者からの聞き取り、ピワマスの遡上調査や鳥類の調査を実施する。
173111052	1	3111	八幡川、琵琶湖を題材にしたフィールドワーク実習の実施	滋賀県立八幡工業高等学校	校長	山野 信厚	滋賀県	私たちの身近な環境を保全するため、環境化学科の2・3年生の生徒を対象に、八幡川と琵琶湖を題材に、フィールドワーク実習を実施し、水質測定や観測など体験的学習を行い水環境への知識や理解、水質改善の方策を深めます。さらに、人と自然への優しさを持つ人間形成を行うとともに環境を大切にすることを養います。
173111053	1	3111	日野川エコスクール事業	特定非営利活動法人蒲生野考現倶楽部	理事長	森田 英二	滋賀県	琵琶湖に流入する1級河川「日野川」の水質・景観・生き物等の総合調査と体験活動を三世代で行い、廃校舎を活用した「しゅくなげ学校」内に魚類等を種類別に展示して一般に公開し、日野川環境学習を行うエコスクールを開校する。日野川の水環境を明らかにするとともに豊かな水辺体験と水環境保全の啓発を行う。
173111054	1	3111	松尾・嵐山ディスカバー・リバー講座	京都市立松尾小学校	校長	大橋 繁太郎	京都府	古都京都の西に位置する松尾・嵐山は、日本を代表する観光地でもある。そこを流れる桂川、西芳寺川を素材として、学校の児童をはじめとして地域住民を対象にして、地域の自然を知るための活動を行う。クリーンキャンペーンを行い自然保護を訴えたり、川の自然を知るための自然観察会を行ったりして、自然保護の指導者育成を目指す。

平成17年度 新規採択一覧(18/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111055	1	3111	狭山池ダムにおける河川愛護啓発活動	狭山池さくら満開委員会	会長	武田 博允	大阪府	狭山池ダムにおいて、河川愛護、環境教育を目的に、建築家安藤忠雄氏による啓発講演会をはじめ、水質調査、野鳥観察、河川及び堤の清掃、桜の植樹祭などを住民参加で行なうことを通じて、次世代の子どもたちの心を育む。
173111056	1	3111	環境学習と地域活動・近木川流域自然大学	近木川流域自然大学	代表	橋本 夏次	大阪府	総合学習から始まった、近木川での子どもたちの活動を持続させるための活動と、自然大学の取り組みで地域とつなぐ活動。
173111058	1	3111	第14回全国川サミットin猪名川	全国川サミット連絡協議会	猪名川町	真田 保男	兵庫県	一級河川の河川名を自治体名にしている全国の市区町村が、全国へ河川愛護の啓発を図るイベント。平成17年度は猪名川町で開催し、先人から受け継いだ豊かな河川を身近で親しめる河川として次世代に引き継ぐために、「清流を取り戻す取り組み」をテーマに全国の自治体と流域の人々が一体となって考える機会とするものです。
173111059	1	3111	大山椒魚棲息地における生物多様性保全活動の普及	晴れの国野生生物研究会	会長	谷 幸三	鳥取県	オオサンショウウオの生息する河川水辺について、植生、野生生物の生息状況から生物多様性を把握し、里地における人と川との望ましい関係を考慮するとともに、人とオオサンショウウオとの川を通じての係わりを紹介した冊子を作成し、地域住民が主体となって行うことができるオオサンショウウオ生息環境保全の具体的な方策を広く普及させる。
173111060	1	3111	神戸川流域環境マップづくりⅢ	神戸川流域環境学習推進協議会(しまね体験活動支援センター)	会長	加藤 武行	島根県	環境学習の一環として子ども達が河川の上流から河口までの流域全体で一斉に川の水質やゴミなどの環境調査を実施し、流域全体の河川環境マップを作成することにより河川環境保全活動のきっかけを作る。流域全体で川を捉えるように源流見学や河口の見学なども実施し、成果発表会で活動の質を高め流域全体に情報発信する。
173111061	1	3111	地域を複層的に捉えた総合的な体験活動を支援するためのデータベースおよび教材の作成	特定非営利活動法人ひろしまね	理事長	安藤 周治	島根県	(開発の趣旨・目的)江の川流域を対象として、地域資源を住民自らにより自然・歴史・文化・生活史などに渡って複層的に調査し、それらを総合的に組み立てたデータベース(人材も含む)を構築し教材化する。また、それらを活用し、学校や地域と連携しながら多面的な啓発と能力開発を図るための体験プログラムを開発し、指導者を養成しながら継続的に展開する。
173111062	1	3111	広島市環境サポーターによる太田川流域環境教育市民活動	広島環境サポーターネットワーク河川部会	会長	保光 義文	広島県	水の都広島を形成する太田川水系6つの川は、世界遺産原爆ドームや平和記念公園等に面し、その水辺空間は平和都市ヒロシマの象徴です。今年被爆60周年を迎え、川と人間の暮らしの希薄化に警鐘を鳴らし、水を求め息絶えた被爆体験を継承するとともに、水環境の重要性と生態系の保全を図る実践的な「太田川流域環境教育市民活動」を展開します。
173111064	1	3111	ふれあいの水辺(子どもの水辺環境学習)	エコロジー研究会ひろしま	事務局長	瀬川 千代子	広島県	平成16年3月4日に己斐地区子どもの水辺推進協議会を発足し、16年8月にふれあいの水辺が完成した。それに伴い小中学生を対象に動植物干潟の観察塩分調査の学習会を行い自然と人間との共生を学ぶ。
173111063	1	3111	「小中学生による江の川環境シンポジウム」と「子ども川塾」の開催	江の川流域環境会議	会長	辻駒 健二	広島県	源流から河口までの漁業協同組合が中心になって、流域の企業・学校・PTAに呼びかけ、江の川再生をめざして環境シンポジウム・河川愛護・環境教育を行う。

平成17年度 新規採択一覧(19/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111065	1	3111	吉野川グランドワーク推進モデル事業	特定非営利活動法人新町川を守る会	理事長	中村 英雄	徳島県	四国三郎吉野川と徳島市中心市街地部の新町川において、アドプトプログラム等の事業と河川愛護に関するイベントを実施し、住民と企業と行政との三位一体となった全国のグランドワークのモデルケースとなるような事業展開を図ろうとするものです。
173111066	1	3111	「弘田川・水辺の教室」の開催	善通寺こどもエコクラブ	代表	井上 修	香川県	弘田川の3地点の指標生物による水質調査をはじめ、植物分布、川の構造、地域環境を調査して、改善の方法を検当する。こどもエコクラブ、会員と地域の子ども、大人にも案内して、川のあり方と川の啓発をする。
173111067	1	3111	重信川自然再生事業連携プロジェクト	重信川の自然をはぐくむ会	会長	矢田部 龍一	愛媛県	国土交通省松山河川国道事務所が行っている自然再生事業を一体となってサポートする。具体的には、マスコミ・教育界・地元町内会・関係NPOを連携した各種イベントの実施や市民向けフォーラムの実施、更には流域関係市町との連携強化を図るための各種施策を実施する。
173111068	1	3111	第6回川と福祉の全国大会in四万十川	四万十川自然再生協議会	会長	西尾 正	高知県	第6回川と福祉の全国大会を四万十川で実施する。内容としては、四万十川で実施されている河川をフィールドとしての教育・福祉での取り組みについて全国へ情報発信を行うとともに、全国で河川環境・教育・福祉について、実践しているメンバーを集め情報交換・意見交換を行う。
173111069	1	3111	「四万十川環境学習」の開催(水辺の楽校・環境学習データ作成・四万十川写真展)	四万十市	市長	澤田 五十六	高知県	子ども達を対象に水辺を学習の場として、その流域の特徴について学び、石や水生生物など自然資源を活用した学習を通じ、四万十川や身近な自然環境へ目を向けるきっかけとすることを目的として水辺の楽校を実施する。また、四万十川の環境学習資料を作成し、活用していくとともに四万十川の現状についての写真展を開催する。
173111070	1	3111	物部川流域環境学習「鮎の一生」の開発実施	物部川21世紀の森と水の会	代表	岩神 篤彦	高知県	物部川流域の子どもたちを対象に、川の本物の姿(川の意義、楽しさ、危険性など)を知るとともに、川の生き物を通して環境を考える物部川のフィールドに即した環境学習プログラムを作成し、実施していく。1年を通じたアユの生活史を軸に、川の中から自然を見ることを重視していく。
173111071	1	3111	人と生きものとの橋渡し～水生生物の現状調査とその成果を生かした啓発活動	福岡県立北九州高校	校長	城戸 晴紀	福岡県	福岡県内の水生生物を、17年度はハゼ・外来種・水生昆虫の3つにテーマを決めて現状調査をする。その成果を、展示の企画運営を続ける市立水環境館での企画展や講座、観察会の開催などを通じて市民啓発へとつなげる。また、学校ビオトープで継続中の水生生物2種の保護増殖の活性化やビオトープ体験イベントを実施する。
173111072	1	3111	「嘉瀬川杯・遣唐使船レース」の開催	遣唐使船レース推進協議	会長	陣内 孝雄	佐賀県	中国の高僧「鑑真」の佐賀県嘉瀬津上陸にちなみ、その歴史文化を後世に伝えていくために、一級河川嘉瀬川で遣唐使船型競漕用和船(12隻)によるレースを開催し、これにより地域間の交流や河川愛護・思想普及を語る。
173111073	1	3111	緑の復元を図る緑の里親	ふるさとの木による森づくりネットワーク島原	代表	杉本 伸一	長崎県	火砕流や土石流で被災した中尾川とその周辺において、被災して倒った樹木の種を拾い苗を育て植樹するとともに、親子による河川の環境調査や観察会を行う。

平成17年度 新規採択一覧(20/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173111074	1	3111	水無川環境梅っ子調査活動隊	島原市立第五小学校	校長	大村 好喜	長崎県	雲仙普賢岳災害で、水無川流域は火砕流や土石流により大きな被害を受けた。災害から14年が過ぎ復興の歩みを確かなものになっている。その水無川及び周辺において、児童が砂防・河川の環境調査や親子キャンプ等の体験活動を実施する。
173111075	1	3111	砂防防災学習・噴火災害調査語り部隊	深江町立大野木場小学校	校長	吉田 恭子	長崎県	雲仙・普賢岳直下の水無川では、火砕流や土石流で被災した爪痕が、今でも見受けられる。そこで現地にて、これらの災害の調査を行い、併せて砂防施設の役割や構造を学習する。また水無川周辺の復興状況調査を行い、その成果をまとめて、情報を発信し語り継いでいく。
173111076	1	3111	番匠川川あそびフェスタの開催	番匠川流域ネットワーク	会長	真柴 茂彦	大分県	清流番匠川は、川あそびのメッカとしてたくさんの家族や子供たちが遊んでいる。夏の一日、この恵まれた川をもっと楽しんでもらえるように、水辺の楽校を中心に、フェスタを開催したい。新たな活動プログラムも開発し、それぞれの加入団体の力で実施したい。また、活動するための指導研修も同時に行う。
173111077	1	3111	「川内川リバーズスクール」の開催	えびの市商工会	会長	迫田 黙太郎	宮崎県	えびの市商工会青年部は、平成16年度より「川内川流域連携ネットワーク」に所属し、市内外の児童に川内川上流の水資源環境の確保と、河川上流が中流・下流に与える影響等を学習させる活動として、リバーズスクールを開催している。本年度も継続開催し、中長期的に川内川水系の環境維持に貢献する事を目的とし、本助成金を申請する。
173111078	1	3111	リュウキュウアユを育む奄美多自然型川づくりフォーラム	奄美多自然型川づくり実行委員会	代表委員	四宮 明彦	鹿児島県	奄美大島に生息し、2004年に捕獲禁止になったリュウキュウアユの個体数を復活できる川づくりをめざす。その目的達成のために、流域全体の保全計画を住民・行政・研究者・技術者が連携して策定し、それを実行する。
173111039	1	3111	源流らしい河川環境・源流景観形成と自然学習・人材育成等	小菅村	村長	廣瀬 文夫	山梨県	(1)源流らしい河川環境・源流景観形成に関する研究(2)源流体験教室・人材育成事業等に関する研究
173111057	1	3111	地元生息菌によるいたすけ古墳壕の水質底質向上の基礎的研究	NPO法人 ONEWORLDforchildren	代表理事	松本 一美	大阪府	河川・湖沼などの閉鎖域の富栄養化による水質・底質汚濁の改善に、教育委員会の管轄する古墳壕をモデルに、そこに生息するまた市内で土壌改良実証中の微生物を用い、そのフィールドにおいて様々な手法の中でどれが効果的に水質・底質を改善するか実験室レベルで実証して、その機構を解明し、実用化のための一助とする。
173121001	1	3121	後志利別川・馬場川と日本海を取り巻く水環境から学ぶ学習	瀬棚町立瀬棚小学校	校長	長江 朋子	北海道	清流日本一と言われる後志利別川と子どもたちの身近にある馬場川の水質調査、水生昆虫や魚類の生態調査を通して、自分たちを取り巻く水環境の大切さや川と海との関係に気づく総合的な学習を実施する。
173121002	1	3121	志幌加別川における、川に親しみ、河川浄化を目指す活動	夕張市立若菜中央小学校	校長	大西 聡	北海道	校区を流れる志幌加別川を利用し、総合的な学習の時間において、水棲生物の観察や川での遊び等を通し、川に親しみ河川浄化を目指す活動を行う。

平成17年度 新規採択一覧(21/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121003	1	3121	パンケチュベシナイ川を探ろう	当別町立当別小学校	校長	宮村 昭	北海道	身近な川(パンケチュベシナイ川)の環境や歴史を題材に、人と川とのかかわりについて考えさせる活動を行うことにより、自然に対する畏敬の念や環境保全の意識を育む(総合的な学習の期間5年)。
173121004	1	3121	後志利別川における川と地域の人々の生活とのかかわりを探求する活動	今金町立花石小学校	校長	多胡 豊	北海道	清流日本一の後志利別川中流の花石地域は砂金採取から歴史が始まり、古くから川と地域住民の生活の結びつきが強い。本校の「総合的な学習の時間」では『川』という一つの大きなテーマのもと『川に親しむ活動から『川と生活のかかわり』などを地域の人々及び関係機関の協力を得ながら学習活動を展開している。
173121005	1	3121	地域に流れる河川(野川等)と私たちの暮らし(総合的な学習の時間)	小金井市立前原小学校	校長	露木 昌仙	北海道	前原小学校の近くを流れる野川について調べる。水が人々の暮らしと深く関わってきた事に気づき、環境についての理解を深め、身近な環境を守るためにできることを考え、実行しようとする意欲を育てる。いろいろな地域の水と人々の暮らしや、それを支えているボランティアの活動について知る。
173121006	1	3121	オサラッペ川水質調査及び水生生物の観察	鷹栖町立北野小学校	校長	山田 史彦	北海道	オサラッペ川の水質調査と水生生物の生態調査を通して、各教科等で学んだ都市・生活型公害が身近な地域の問題であることを実感させる。また、河川の汚れを科学的に調べることにより、汚濁の状況をとらえ、その原因や河川保護の必要性について考える。
173121007	1	3121	札内川の自然に親しみ、自然で遊び学ぶ活動	帯広市立大正小学校	校長	岩倉 雄一	北海道	札内川および札内川流域の自然環境に触れ、動植物などの観察を行い自然を利用したアート制作やカヌー・釣りなどの自然の中で遊ぶ体験を実施する。
173121008	1	3121	ふるさと美深～水・川から広げよう	美深町立美深小学校	校長	北畑 憲夫	北海道	自分たちの町を流れる天塩川及びその流域について多面的な調査追求活動を通して、発見や理解したことをまとめ、表現していくと共に自分たちの生活との関わりや川を通して自分たちのふるさとを知る。また、自然や環境問題等にも目を向けていく意識を持たせる。
173121009	1	3121	後志利別川にて、川を知り、川から学ぶ総合学習活動	今金町立今金小学校	校長	五十嵐 淳一	北海道	美利河ダムを有する後志利別川の河川学習を通して、川で遊ぶことの楽しさや豊かさを知る。また、川に生息する水生生物等を知ることや川と生活環境等の関わりについて学習する。
173121010	1	3121	沙流川における体験活動を通して、自然環境の大切さを理解する活動	恵庭市立松恵小学校	校長	竹田 タケ子	北海道	沙流川にて定点観測的に毎年実施する“川の学習”にて水生生物や魚類の採取観察や流域観察、またライフジャケット遊泳や徒歩体験等を通してセルフレスキューの危機管理意識を高め、川に対する意識や愛着、そして自然環境を大切にする心を育てる。
173121011	1	3121	総合的な学習「千歳川博士になろう」	千歳市立千歳第二小学校	校長	川本 清司	北海道	第二小学校や千歳市をとりまく環境の中から、千歳川の環境に着目させ、見つめ直し、様々な要因(水質、動植物、水辺の植物)の中から自分が追求し、解明したいテーマを決め、それに合った学習活動を行い、問題点を明らかにしてどのように改善していけるかを考える。

平成17年度 新規採択一覧(22/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121012	1	3121	水辺環境を体験学習(ピオトープとカヌー体験を通して)	岩見沢市立メープル小学校	校長	中島 利明	北海道	自然に恵まれた環境を生かして、ピオトープを作成した。ピオトープを利用した水辺環境学習の推進とカヌー体験学習の充実を図る。
173121013	1	3121	「ウツベツ川のプロになろう」	帯広市立緑丘小学校	校長	田邊 隆史	北海道	ウツベツ川流域の緑丘小学校の児童を対象に、河川の自然や環境などを学ぶため「ウツベツ川のプロになろう」を実施する。内容としては、総合的な学習における河川を題材として活動を展開する。
173121014	1	3121	水はどこからどこへ	帯広市立啓西小学校	学校長	九嶋 哲雄	北海道	私たちが飲んでいる水道水は、清流日本一にもなった札内川からの水である。実際にどんな施設で水道水しているのか確かめたい。また、自分たちの使った水はどのようにきれいにして川に戻しているかをさぐる。これらの活動を通して、河川の環境保全の大切さや水の恵みのありがたさを体得させる。
173121015	1	3121	帯広川たんけん隊(3年生)	帯広市立啓西小学校	学校長	九嶋 哲雄	北海道	児童と地域ボランティア、保護者で学校近くの帯広川へ行き、川で遊びながら川にすむ虫や魚などの観察を行うと同時に、川の流れの違いなどに気付かせる。また、地域ボランティアの方や各団体の専門家に外部講師をお願いすることにより、児童の学習をより充実させ、幅広い知識を身に付けさせたい。
173121016	1	3121	チューブス川探検～チューブス川をフィールドとした調査活動～	士別市立士別西小学校	校長	加藤 雅之	北海道	本校では、平成9年度から「ふるさと士別から学ぼう」というテーマで、校区内を流れるチューブス川をフィールドとして、春と秋の2回、清掃活動と水質検査などの活動を進めてきた。今年度は、更に充実を図るため総合的な学習の時間を中心とした活動を展開したい。
173121017	1	3121	望月寒川における調査活動を通して、川と親しみ河川のあるべき姿を問い直す活動	札幌市立西白石小学校	校長	布見 忠	北海道	自分の家の近くを流れる川と親しみ、その川を愛することで川を汚すことをしない子供たちを育て、地域と一体となって河川のあるべき姿を考える活動に取り組む。
173121018	1	3121	“石狩川”探検隊	石狩市立花川南小学校		山下 敬一	北海道	<石狩川>をメインテーマにして、源流を訪ねて河口のようす・流域の街・治水問題等を調べる学習、体験学習を予定している。情報発信活動等も行い、総合的な学習の時間として扱う。
173121019	1	3121	天塩川における川に親しみ河川浄化を目指す活動	幌延町立幌延小学校	校長	尾崎 信幸	北海道	行政機関や地域との連携を図りながら、川での体験活動を行うことによって、河川浄化を目指す環境教育に取り組む。内容としては、天塩川の水質検査や、天塩川流域に棲息する動植物の調査などを実施する。
173121020	1	3121	サケの飼育・放流による体験学習	岩見沢市立美園小学校	校長	橋田 信行	北海道	ふるさとの川、幾春別川にサケを遡上させようと市民団体が中心となり行なわれている「サケの稚魚放流事業」に伴い、本校児童に発眼卵を飼育させ稚魚放流を体験させることで、環境教育の一層の充実を図る。

平成17年度 新規採択一覧(23/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121021	1	3121	わたしたちのふるさと『赤石川』	青森県鮭ヶ沢町立赤石小学校	校長	野崎 正人	青森県	赤石川流域の生き物や水質調査、水の循環などの探検活動を通して、水源地白神山地の恩恵について学ぶ。ザケやアユの稚魚放流や授精体験、食する体験、清掃活動などを通して、川に親しみ、ふるさとのよさを発見し、また、生命の大切さについて考える。また、わたしたちのふるさとのよさを再発見し、周囲の人に発信するための表現活動を行う。
173121022	1	3121	岩木川支流十川流域における絶滅危惧種スナヤツメの分布調査	青森県立五所川原農林高等学校	校長	川浪 佑攻	青森県	環境省絶滅危惧種Ⅱ類に指定されているスナヤツメが十川流域の一部河地域に生息していることがわかっている。全国的に生息地が激減しているといわれており、現在知られている生息地以外の生息地がないかを調査し、同時に調査に参加する生徒の自然、河川環境に対する意識の高揚を図る。
173121023	1	3121	チャレンジタイム「汐立川ってどんな川？」	平内町立浅所小学校	校長	熊谷 佐利	青森県	子どもたちにとって身近な浅所湾に注ぐ汐立川での調査活動等を通して、人々が汐立川と関わって生きてきていることを理解し、汐立川の恵に対して関心を持ち、自然を大切にしようとする態度を養う。内容としては、汐立川の生物調査、汐立川上流の探検と川の様子を観察を行う。また、ゲストティチャーから汐立川の今昔についても聞く。
173121024	1	3121	～水をつめよう～4学年総合的な学習平川・岩木川に親しみ、いろいろな角度から水をつめる	藤崎中央小学校	校長	比内 道治	青森県	藤崎町は平川・浅瀬石川・岩木川という3本の河川の合流地点である。この3本の川の上流にあるダムを見学したり、地域にある水辺の広場で遊んだりすることをきっかけに、「岩木川の生き物」「水とくらし」など、水に関するテーマをグループで設定し追究する。追究したことをまとめ、発表会という形で地域に発信する。
173121025	1	3121	探検！わたしたちの川	青森市立小柳小学校	校長	濱田 恭平	青森県	社会科の「水はどこから」の単元で学習した身の回りの水を見つめる体験を発展させ課題をつかませる。学区内の赤川や隣接する駒込川を対象に、上流や下流の様子を調べたり、川の汚れや生物を調べたりする活動を通して、身近な環境に関心を持たせるとともに、環境保全のために自分たちができることを考えさせる。
173121026	1	3121	島守地区の環境調査	南郷村立島守中学校	学校長	漆館 秀武	青森県	学区を流れる川の環境調査、生活排水の浄化、ホテルの調査などの環境教育に取り組む。活動を通して、自然と人間のかかわりに気づき、自然を大切にしようとする心情を育て、これからの生き方につながる提言や行動ができるようにする。
173121027	1	3121	守ろう、わたしたち田瀬ダムの水を	東和町立田瀬小学校	校長	松村 秀二	岩手県	田瀬ダムに流れ込む水の水質調査を行い、自分たちの生活に欠かすことのできない水の大切さを理解するとともに、自然を守ろうとする意欲を高めていく。さらに地域に発信することにより、地域と一帯となって、よりよい環境をめざした実践活動に広げていく。
173121219	1	3121	北上川の自然環境を大切にしていこうとする活動	花巻市立矢沢小学校	学校長	上野 文男	岩手県	地域の協力を得ながら絶滅危惧動物の生息環境の整備体験活動を通して環境教育に取り組む。内容としては「川の日」に河川の美しさ恐ろしさを学んだり、川の生物の採集などをするリバーズスクールを開催する。
173121028	1	3121	旧北上川における、川に親しみ、川を大切に、共生していくことを目指す活動	石巻市立開北小学校	校長	宇佐美 研	宮城県	旧北上川について様々な角度から調べ、種々の体験活動(カヌー・釣り・上流の学校との交流会等)を通して、いつまでもきれいで豊かな川とともに生きていくために自分たちができることは何かを考え、実践活動に取り組む。また、同時に、川での事故防止についての知識を学び、川との共生をめざす。

平成17年度 新規採択一覧(24/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121029	1	3121	ふるさとの川・北上川の研究(体験的な活動を重視して)	石巻市立鹿又小学校	校長	菅原 敏郎	宮城県	4年生の総合的な学習で「ふるさとの川・北上川」をテーマに活動を展開する。北上川の下流の岸辺まで徒歩10分という本校の地の利を生かし、川との触れ合い(カヌー、つり、川遊び)、川に棲む生物、川辺の動植物の観察などの体験活動を通して、ふるさとの川の豊かさ・素晴らしさに迫り、ふるさとの川への関心を高める。
173121030	1	3121	「見つめよう田川の水」	加美町立賀美石小学校	校長	南部 正一郎	宮城県	平成12年度より第4学年の総合的な学習の時間で「見つめよう田川の水」のテーマで身近な自然「第1級河川鳴瀬川水系田川」の学習に取り組んでいる。源流探検、浄水場の見学、水質検査(源流中流)、先人の作った堰の見学等の活動を行っているが、安全面や器具、資料収集等で更に充実した活動にするため、助成を申請したい。
173121031	1	3121	水上探検隊	河北町立大川小学校	校長	米谷 和子	宮城県	学区内を流れる北上川の恵みについて体験学習を通して学ぶ。長面浦の牡蠣が1年で出荷できるまでに成長することをキーワードに学習を展開する。牡蠣の栽培体験、北上川と森林の関係、シジミ・ハゼを使った郷土料理などについて学ぶ。そして、豊かな恵をもたらしてくれる北上川、郷土大川を愛する心を育てる。
173121032	1	3121	北上川と私たち	河北町立飯野川第一小学校	校長	増子 裕子	宮城県	母なる川・北上川に親しむ体験活動をしたり、北上川と私たちの関わりについて考えるため、自分の課題を設定し調べる活動を行う。
173121033	1	3121	北上川における川に親しみ共に生きることを目指す活動	石巻市立中里小学校	校長	齊藤 雄彌	宮城県	本校の学区内にあり、ふるさとの川である北上川を見つめ直し、カヌー体験等をすることによって、川と人間との共生を見い出す活動に取り組む。
173121034	1	3121	北上川及びその支流における川に親しみ、川をきれいにする活動	北上町立吉浜小学校	校長	菊地 敬治	宮城県	北上川やその支流にすむ水生生物・植物・水質などを調べる活動を通して、ふるさとの自然環境のよさに気づき、守り育てていこうとする環境教育に取り組む。
173121035	1	3121	ふるさと北上町を流れる北上川に親しみ、川を愛する児童を育てる活動	北上町立橋浦小学校	校長	八巻 洋司	宮城県	総合的な学習の時間を利用して、北上川での様々な活動を通して、ふるさとを流れる北上川を愛し、守っていこうとする児童を育てる。内容としては、3年生はシジミの観察、4年生はヨシ原の観察、6年生は北上川とその支流の水質検査などを実施することとしている。
173121036	1	3121	鳴瀬川に親しみ、郷土愛をはぐくみ、自然保全に取り組む活動	南郷町立練牛小学校	校長	山田 和郎	宮城県	水の流れ、砂、石、水草、土手の植物、そこに集まる鳥や昆虫等に触れて遊び、学ぶ。そして、自分達の住む地域を愛し、自然を保全する活動に取り組む。
173121037	1	3121	旧北上川及びその支流における川の調査を通して川に親しむ活動	豊里町立豊里小学校	校長	石川 孝*	宮城県	旧北上川及びその支流にすむ水生生物や植物、水質などを調べる活動を通して、水辺の豊里、ふるさとの川を大切にしていこうとする環境教育に取り組む。

平成17年度 新規採択一覧(25/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121038	1	3121	きじお川の環境を豊かにする活動	丸森町立金山小学校	校長	大野 博	宮城県	PTAや地域との連携による河川敷に花を咲かせる運動を続けるとともに、川遊びや生態観察を通して、身近な川での活動を行うことによって、総合的な学習の時間の充実を図る。また、川のもたらす様々な恵みを調べ、主体的に河川の環境を生かし、さらに、保全する子どもへの育成に努める。
173121039	1	3121	総合すみよし「北上川ウォッチング」	石巻市立住吉小学校	校長	佐藤 英昭	宮城県	地域を流れる北上川を取り上げて、川と地域の人々の生活とのかかわりや自然環境を見つめ直し、北上川が地域の宝であることが実感できるようにする。
173121040	1	3121	総合的な学習の時間「マイタウン石巻」	石巻市立石巻小学校	校長	加藤 精一	宮城県	石巻市の南北を流れる「北上川」を題材とした総合的な学習の時間「マイタウン石巻」を展開する。内容としては北上川に関連するテーマを学年(3～6年)ごとに設定して、それに基づく活動に取り組む。具体的には「北上川の生き物」「北上川と川開き祭り」「北上川の水環境」「石巻の未来と北上川」というテーマを設定し、それぞれ様々な体験的な活動や調査活動を展開していくものである。
173121041	1	3121	「皿貝川たんけん」(総合的学習)「北上川のうつりかわり」(総合的学習、社会科)	河北町立飯野川第二小学校	校長	高橋 信夫	宮城県	総合的学習で皿貝川(学校の横を流れる川)にすむ生き物や地下水、水源としての周辺の林の状況を調べるとともに、社会科との関連で北上川の水利用や改修の歴史について調べる。北上川の改修の歴史では、現地に出かけるとともに、校庭の一角で北上川のモデルを再現し、実際に水を流して改修の歴史を学ぶようにする。
173121042	1	3121	新・旧北上川の調査を通し、未来を考える活動	桃生町立中津山第一小学校	校長	佐藤 彰子	宮城県	第4学年の児童を対象に、北上川流域に棲息する生物などの調査や、北上川の歴史を調べる活動を通して、ふるさとの川の自然環境を保護することの必要性を理解し、よみがえさせるための方法を考え、実践する活動が展開できるカリキュラムを開発し、実践検証したい。
173121043	1	3121	ふるさとの江合川と水辺学習の楽しみ	小牛田町立小牛田小学校	校長	佐藤 俊晴	宮城県	総合的な学習および生活科を中心に、北上川水系江合川牛飼水辺公園を主学習場所として水辺に親しませ、生き物の生態や植生などに関心を持たせる。また、助成金を活用して、飼育や観察・記録、美化活動や楽しい遊びなど多様な体験を与え、河川を通して人間の生活にもたらされる自然の豊かな恵みについて学習させていく。
173121044	1	3121	江合川流域調査活動	宮城県古川市立古川第四小学校	校長	大平 雅弘	宮城県	江合川流域の小学校間をITを活用して交流を図り、ネットワークを構築する。具体的には、それぞれの学校の近くを流れる江合川の水質調査や動植物の生態を調べ、お互いの情報を交換することを通して、江合川についての理解を深めていく。
173121045	1	3121	ぼくらモツゴ探検隊	鹿島台町立鹿島台小学校	校長	藤原 俊彦	宮城県	町の天然記念物であり、絶滅危惧種である「シナイモツゴ」の学習を通して、地域を知り、自分たちを取り巻く自然環境の変化とその保全に関心をもつ。
173121046	1	3121	雄物川の総合体験学習	秋田県立秋田工業高等学校	校長	山方 攻	秋田県	ふるさとを代表する雄物川の環境に配慮した構造物や水質調査などを行いながら河川状況について学び、また、自然観察や河川クリーンアップなどの活動を実施し、河川について総合的な思考ができるようにするとともに河川管理ができる人材の育成を目指す。

平成17年度 新規採択一覧(26/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121047	1	3121	ぼくたち・わたしたちの阿仁川を 知ろう	合川町立合川北小 学校	校長	佐藤 道代	秋 田 県	合川北小学校の近くを流れる阿仁川と、周辺に暮らす人々との歴史的関係や自分たちの生活と水とのかかわりに関する学習、水質検査や水生生物検査などを実施し、さらには全校児童で魚のつかみ取りを実施することにより、河川についての理解を深めるとともに、自然環境を守ろうとする意識を高める。
173121048	1	3121	犀川、米代川の探検をしよう	比内町立東館小学 校	学校長	辻 博幸	秋 田 県	学校の近くを流れる犀川や米代川の調査を通して、川に生息する生き物や流域の自然環境を知るとともに、建設中のダムを見学することによって、自然とのかかわりが大きいことに気づき、地域の人々と川の環境を守っていこうとする態度を育てる。
173121049	1	3121	「雄物川全校筏下り」	秋田市立雄和中 学校	校長	佐藤 和夫	秋 田 県	全校生徒および教職員が7台の筏に乗り、学区内を流れる雄物川を約20km下る活動。ふるさとを見つめ直し、環境保護・河川愛護の心情を養うことを目的とする。
173121050	1	3121	犀川は続くよどこまでもPART2	比内町立三岳小学 校	学校長	高杉 志津子	秋 田 県	昨年度、地域の川での水生生物調査、川遊びの体験を通して、子供たちはきれいな川を守りたいという思いをもった。そこで今年度は、川の下流を訪ね調査活動することによってさらに環境保護の意欲を高め、川をきれいにするために、クリーンアップなど環境保護の活動を積極的に展開する。
173121051	1	3121	ふるさとの川との出会い	鷹巣町立東小学 校	校長	河田 罔彦	秋 田 県	米代川沿いにある鷹巣東小学校の子ども達を対象に、河川の自然や環境、川的美しさ、川の恐さ等を学ぶために「ふるさとの川との出会い」のテーマを設定し、手作りいかだで川下りをしたり、魚のつかみ取りをしたり、水質調査を行ったりすることで豊かな感性を養い環境の保全に努める態度を養う。
173121052	1	3121	わかあゆタイム(総合の学習の 時間)	戸沢村立古口小学 校	校長	加藤 高志	山 形 県	本校のすぐそばを流れている最上川の役割、美しさ、そして自然環境を大切にしたい心、川は身近なものであることを体験を通して学ばせる。内容は、戸沢村で実施される河川清掃に参加したり、最上川のイカダ下りをしたりする。あわせて、古口小学校区内に生息するメダカやホタルを飼育する。
173121053	1	3121	馬見ヶ崎川及び「キラキラ水路」 を使った環境教育(総合的な学 習を中心として)	山形市立第八小学 校	校長	附田 治雄	山 形 県	環境教育の一つとして、総合的な学習の時間を使って、川的美しさ、河川の自然や環境などを学ぶために、水質検査や水生生物を探す活動を通して学習するとともに、校地内に引き入れた水路を使った観察学習を行う。
173121054	1	3121	リバーズスクール「丹生川調査隊」 ～川に親しみ、学び、守ろう～	大石田町立亀井田 小学校	校長	矢作 長雄	山 形 県	川に親しむ活動やウグイや鮭の卵の観察及び稚魚の放流を通して、美しい郷土の川である丹生川や最上川を大切にしたい心や育む。また、身近な環境を守るために、自分たちの力のできることを考え実践する。
173121055	1	3121	第2学年「ローカルエコアクシ ョン」	山形県立米沢工業 高等学校	校長	上村 勘二	山 形 県	1年次の「地域の環境学習」を基に、二つの河川に囲まれて恵まれた環境学習の場所である上郷地区の特徴を理解し、1年次には調査を実施しなかったもう一つの河川について観察・調査を実施。また、水辺の生物についての調査を両河川で実施し、生態系を考える。他に、河川の移り変わりを学習し、上郷の歴史をも学習する。

平成17年度 新規採択一覧(27/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121056	1	3121	第1学年「ローカルエコアクション」	山形県立米沢工業高等学校	校長	上村 勘二	山形県	環境を考えるには「持続性」が必要である。その為には「個人の意識」が重要と考え、米沢市立上郷小学校の四年生と連携して体験を通じた体系的環境学習による環境への意識付けを目的とした学習・活動を行う。内容は、河川を中心に上郷地区の自然環境の観察・調査を実施し、学習、活動の発表会を上郷地区住民を招いて行う。
173121057	1	3121	第6学年総合学習「命あふれる西通川にしたい」	遊佐町立西遊佐小学校	校長	佐藤 光子	山形県	学校の近くを流れる西通川で川遊びをしたり、生き物調査をしたり、地域の人たちと一緒に泥上げ作業をしたりする中で自ら課題を見つけ、その解決に向けて取り組み、その成果や課題を地域に発信していく活動に取り組む。
173121058	1	3121	「平野の水」について身近な河川の自然や環境に触れる体験を通して学ぶ	福島市立平野小学校	校長	鵜沼 秀雅	福島県	4年生の総合的な学習の時間に、「平野の水」というテーマで近くの「八反田川」や「小川」に出かけ、川の様子を調べたり水質調査を行ったりする。また、「摺上川ダム」や浄水場の見学、地域の「井の目堰」等の調査による体験的活動を通し、平野の地域の人々と川及び水との関わりを学ばせる。
173121059	1	3121	青木の環境探検隊	福島県伊達郡飯野町立青木小学校	校長	遠藤 二郎	福島県	自分が住んでいる地区を流れる山田川の生き物や水質、昔からの環境の変化、汚れの原因などを調べる活動を通して、山田川と自分とのかかわりについて考え、自分たちにできることを実践するため。
173121060	1	3121	総合的な学習の時間6学年「命を支える水」の体験活動	郡山市立東芳小学校	校長	相楽 敬二	福島県	飲料水や農業用水として利用している大滝根川と使用し終わった水を流している阿武隈川についての水質調査を行うとともに、それらの施設を見学し、自分たちの生活と水とが深い関わりのあることを体験を通して学ばせる。
173121061	1	3121	久慈川源流から河口までの探索	矢祭町立内川小学校	校長	吉田 政弘	福島県	本校は八溝山系に位置し、近くには久慈川の支流矢祭川が流れている。八溝山登山にて動植物の生態系や久慈川の源流を観察している。その久慈川の河口までの形態、付随する環境、生物の変化を調べ、人間生活との関わりを理解させ、環境保全の資質を育みたい。
173121062	1	3121	摺上川の水生生物の採集・標本作り及び水質環境の啓発活動	福島市立茂庭小学校	校長	高橋 寛信	福島県	摺上川及びその支流で、河川の水質環境について考えさせていく活動を行う。内容としては、水生生物の採集や標本作り、調査結果の地域への発信を予定している。また、毎年、継続的に、採集した水生生物を標本にし、データを累積していく。
173121063	1	3121	霞ヶ浦の水質調査	美浦村立美浦中学校	校長	大塚 浩	茨城県	生徒が行う水質調査活動の支援を通して、科学的な態度・技能・思考を育成することをねらいとする。また、成果を広く発表することを通して周りの人々への環境学習を広めることもねらいとした。今年の活動内容は、霞ヶ浦の濁りの原因などを中心に調べ、水質浄化の一つの方策を探ろうと計画した。
173121064	1	3121	SEITOKUCleanProject21	聖徳大学附属聖徳中学校	校長	岡本 裕之	茨城県	総合的な学習の時間の一環として、水質汚染の現状と対策を学び、河川敷の美化やフラワーカナルの整備に協力することにより、地域に貢献する。あわせて、国土交通省の実施する「全日本中学生水質の作文コンクール」に向け、全員が出品することを通して、生徒個々の自然保護に対する意識を高め、水辺の環境や文化への興味を喚起する。

平成17年度 新規採択一覧(28/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121065	1	3121	SEITOKUCleanProject21	聖徳大学附属聖徳高等学校	校長	岡本 裕之	茨城県	総合的な学習の時間の一環として、治水事業史や水質汚染の現状と対策を学び、河川敷の美化やフラワーカナルの整備に協力することにより、地域社会に貢献する。併せて、生徒個々の河川愛護・自然保護精神の啓蒙を図り、各人の居住する地域の自然保護や防災に対する意識を高め、美しく豊かな河川維持に寄与する人材を育成する。
173121066	1	3121	山田川の自然に親しみ、郷土の川を大切にすることを育む活動	常陸太田市立金郷小学校	校長	森 一史	茨城県	身近に流れる山田川に親しみ、体験活動を通して、山田川の環境に目を向け、山田川を取り巻く環境について調べたり、川の環境をよくする方法を考えたりして、川を大切にすることを育てる。山田川の環境について調べる活動を通して、課題研究や発表会を行い、山田川の環境について自分なりの考えを持つ。
173121067	1	3121	それゆけ！沼崎環境調査隊	つくば市立沼崎小学校	校長	中島 健二	茨城県	沼崎小学校の総合的な学習の時間を利用して、学区内にある東谷田川の水質・魚の生育状況、植生等を調べる。そしてその結果をもとに、環境をきれいにするために、自分たちができる取り組みを考え実践する。
173121068	1	3121	霞ヶ浦の環境を調べよう～ピオトープづくりを通して～	潮来市立牛堀中学校	校長	渡邊 康夫	茨城県	昨年度より、総合的な学習の時間に、学区にある霞ヶ浦、大膳池を模したピオトープをつくり、霞ヶ浦の植物を調べ移植したり、水質などの調査を行ったりした。来年度は、その活動をさらに活性化し、探求活動を深める学習を推し進めたい。
173121069	1	3121	ぼくらは未来の環境博士～浅川編～	常陸太田市立金沙小学校	校長	吉村 陽子	茨城県	身近に流れる浅川に親しみ、体験活動を通して、課題追求や発表会を行い、浅川の環境や未来などについて考える。主に、河川流域の環境や水質を調査したり、水生生物等の調査活動をしたりして、児童一人一人の川に対する思いや課題追求学習を大切にしながら、地域の自然環境の保全について考えを深める。
173121070	1	3121	学校周辺の河川の調査	つくば市立吾妻中学校	校長	坏 文雄	茨城県	総合的な学習の時間において河川を題材とした活動を行う。具体的には学校周辺の河川(花室川)について詳しく調査し、その特色や問題点を探る。そうして分かった事柄については、ネットワークを活用して情報発信し、河川の現状理解と環境美化を呼びかけていく。
173121071	1	3121	郷土の自然・五行川の自然を調べる	茨城県下館市立北小学校	校長	早瀬 長利	茨城県	総合的な学習の時間・選択理科の時間を使って、五行川に生息する動物・植物及び水質等を調べ、五行川の自然についての理解を深め、調査結果を蓄積して、五行川・自然ガイドブックを作成して、川を愛し、守ろうとする自然保護活動の手引き書として活用する。
173121072	1	3121	危機に瀕する海浜植物の保護活動	ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校	学校長	川又 淨範	茨城県	阿字ヶ浦海岸に生える海浜植物の生息状況を調査し、危機に瀕している海浜植物の保護・育成について研究する。特に、昔、海岸に数多く生えていたスカシユリを増やすために、学校に圃場をつくりそこで増殖を試みる。育ったスカシユリの球根は阿字ヶ浦海岸の砂丘地帯に植栽する。
173121073	1	3121	沢田湧水地、沢田川の保護活動	ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校	学校長	川又 淨範	茨城県	沢田湧水地の植生調査や湧水量調査、沢田川の水質調査等を行い、沢田湧水地の現状を知ってもらい希少な動植物の保護を広く訴えていく。また、「学校ピオトープ」を作る前段階として、理科室にアクアリウム等の新たな施設を作り、そこで希少動物である「ホトケドジョウ」の生態観察及び繁殖の調査・研究を行う。

平成17年度 新規採択一覧(29/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121074	1	3121	新川を題材とした環境教育の実践活動	宇都宮市立西原小学校	校長	今野 綾子	栃木県	学校西側を流れる新川は古くから地域の象徴となってきた。近年、水質汚濁、ゴミのポイ捨てによって河川環境が悪化している。この活動では、総合的な学習の時間に位置づけ、新川について理解を深めると共に、清掃活動などを行い、河川への関心を高める。また、紙芝居やポスター製作掲示を通して地域への啓発も行う。
173121075	1	3121	那珂川における、川に親しみ河川浄化を目指す活動	茂木町立中川中学校	校長	涌井 臣示	栃木県	本校第2学年が、学区内を流れる那珂川および支流の動植物等の観察や継続的な水質調査を行うとともに、全校生徒による河川敷清掃を年間2回実施することで、河川浄化を目指す環境教育に取り組む。また、これらの活動を地域に広報することで、地域住民にも那珂川の浄化の意識を高めてもらう。
173121076	1	3121	渡良瀬川体験学習	邑楽町立高島小学校	校長	松沢 義文	群馬県	4～6年は、総合的な学習で渡良瀬川を中心に活動する。中流域太田市只上では、動植物観察、川渡り、川流れ、魚捕り、水生生物探し、バードウォッチング、石や砂で造形活動、河川林で木登りやジャングル活動を行う他、源流の備前橋山登山、ヤマメ等の放流、サケの遡上観察、利根川との合流地点での諸活動も行い川の恩恵を体験的に感じさせたい。
173121077	1	3121	渡良瀬川の環境と、その関わりを見つめ環境保全に取り組む児童の育成	太田市立菰川小学校	校長	高崎 喜美子	群馬県	渡良瀬川流域の本校の児童を対象に、河川の環境についてのフィールドワーク等の体験活動を通して、川に対する理解を深めるための総合的な学習を行う。内容としては、川の上流、中流、下流での観察学習会と、バックテストによる水質検査を実施することとしている。川の管理者・利用者等を講師とするプログラムも実施する。
173121078	1	3121	総合的な学習の時間における河川を題材とした活動	桐生市立境野小学校	学校長	大澤 美智子	群馬県	5年生総合的な学習を通じて、渡良瀬川の自然環境や洪水を知り、地域の川とわたしたちの生活との関係を学ぶ。
173121079	1	3121	荒川自然体験学習	さいたま市立馬宮東小学校	校長	鈴木 薫	埼玉県	学校に隣接する荒川の豊かな自然を活用し、さまざまな体験をさせることで、自然の事物、現象についての理解を深めるとともに、自然を愛する、豊かな心を育てる。①荒川堤外における稲作体験・野菜作り体験②堤防などを利用しての植物・昆虫の観察学習③荒川上流・中流・下流域の学校との交流
173121080	1	3121	小学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動	稲城市立稲城第六小学校	校長	齋藤 節子	東京都	本校は身近に多摩川が流れ、総合的な学習の時間(第4学年)に地域教材として「多摩川」を取り入れ学習を進めている。多摩川の自然の観察や多摩川を利用してきた人々の姿を通して、人間と自然のあり方や歴史的な変化を知ること大きなねらいとして、教育課程を実施している。
173121081	1	3121	「がけ川浄化活動」を通じた実践的な環境学習	足立区立第十三中学校	校長	犬塚 喜久男	東京都	環境やエネルギーについての理解を深め、環境を大切にすることを育成するとともに、環境の保全やよりよい環境の創造のために、主体的に行動する実践的な態度や資質、能力を育成することは今後重要となる。NPOや地域の協力を得て、がけ川の浄化活動に取り組み、環境浄化を通して郷土に誇りを持たせる。
173121082	1	3121	多摩川に親しみ環境について考えさせる活動	府中市立南白糸台小学校	校長	上床 美嗣	東京都	総合的な学習の時間や体験学習、せせらぎ活動(ピオトープ・わさび作り・古代米作り・しいたけ栽培)・多摩川投網クラブ・多摩川水族館等を通して、多摩川に親しみ、学ぶ。それを基盤に保護者や地域住民と一体となり、地域を愛し、誇れる地域をつくっていくという態度を養うと共に、環境について考えさせる。

平成17年度 新規採択一覧(30/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121083	1	3121	荒川の“トリビア”をさがそう	足立区立宮城小学校	校長	斉藤 登	東京都	荒川と隅田川に挟まれた地域にある学校として、常に川を意識し、学習活動の場として全学年が活用している。さらに小さな発見“トリビア”を子どもたちの手で行い、様々な手段で検証することで、環境や自然などに関心を持つようにする。今年度は4年生の総合的な学習を通して、荒川の魅力や不思議を発見し、次への活動につなげていく。
173121084	1	3121	多摩川探検を通して、川に親しみ自然理解を目指す活動	府中市立本宿小学校	学校長	酒井 孝裕	東京都	川について調査したい課題(例 川・石・植物・鳥・魚・虫等)を決め、実際に川に行きゲストティーチャーとともに川から学ぶ。身近な地域の自然を知り、分かったことや自分で調べたことをまとめ、下の学年・保護者・地域の方に伝えていく。
173121085	1	3121	総合的な学習の時間「川から学ぼう」	東京都国立市立国立第五小学校	校長	渡部 公威	東京都	本校近くに多摩川と矢川が流れている。4年生は河川と生活等について学習する。6年生は多摩川で現地学習を行い、海産の貝やメタセコイヤの化石を採取し、シャコや鹿の生痕化石、軽石等を観察し、河川と生き物の関わりや環境との関連について総合的に学習する。また、教員の現地研修を行い、河川と環境について指導できる教員を育成する。
173121086	1	3121	水辺の体験学習	東京都清瀬市立清瀬第四小学校	校長	平井 浩明	東京都	学区域を流れる空堀川を題材にした水辺の体験学習を総合の時間を中心に行い、川への理解を深め、川と関わる地域をよりよくしていこうとする心情を育てる。児童の学習成果は、地域社会へ発信する。
173121087	1	3121	中学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動	日本橋中学校	校長	塩入 睦夫	東京都	校庭が狭いため、隅田川沿いの通路は走路として使用され親しまれている。以前から走路周辺の環境整美活動に取り組んできた。昨年から花壇の1つをまかさされ、花壇づくりに励んでいる。これらの活動を発展させ、健康で豊かな生活環境と美しい自然環境の調和した社会の実現に向けて、生きる力を育むことをめざす総合的な学習の中で取り組みたい。
173121088	1	3121	総合的な学習の時間	江東区立臨海小学校	校長	関口 直樹	東京都	総合的な学習の時間 東京海洋大学との交流 大学の校内で、教授と大学生と手旗信号・水圧・熱伝導等の実験、隅田川・東京湾で弥生丸乗船体験『隅田川鮭の会』との交流 鮭の卵の孵化・稚魚の飼育隅田川への放流を通して自然へのあこがれや興味感心と川や海に対する環境保護の心等を育てる活動を行う。
173121089	1	3121	新中川河川敷活用生き生き活動プラン	江戸川区立上一色小学校	校長	鈴木 禮子	東京都	学校と地域の方々が協力して、河川敷に「生活科・理科・総合の学習園」を作り、授業に活用し、豊かな心や望ましい勤労観の育成を図る。新中川の豊かな自然を活用し、自然に親しむとともに、環境保全の大切さを学ぶ。
173121090	1	3121	自分で思いや願いが生きる多摩川での総合的な学習	府中市立四谷小学校	校長	宮入 秀夫	東京都	多摩川での自然観察、ネイチャーゲーム、環境調査など、体験活動を通して、多摩川の豊かな自然と触れ合い、豊かな情操と自然を愛護する態度を育む。
173121091	1	3121	城山川調べ(城山川流域の動植物の生態観察や調査、ポイントの水質検査)	八王子市立城山小学校	校長	山本 誠一	東京都	地域教材を生かした環境学習の一環として平成11年度より毎年4年生の総合的な学習の中に「城山川調べ」を位置づけている。学区域内の上流から下流にポイントをおき、水質検査をしたり、流域の動植物の生態の観察や調査をしたりすることにより、地域の自然への理解を深めるとともに自然を大切にすることを養う。

平成17年度 新規採択一覧(31/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121092	1	3121	水辺に来る野鳥観察活動を生かした総合的な学習の時間の活動	九段小学校	校長	波岡 輝男	東京都	都心の真ん中にある皇居のお堀には、冬ともなると多くの水鳥が渡ってきて、生息している。これらの水鳥を中心に、継続的に観察する活動を通して、水鳥に関する問題を解決すると共に、皇居のお濠を中心とした水辺環境を考える機会とする。
173121093	1	3121	多摩川における川で遊び、学び、働く活動	大田区立嶺町小学校	校長	竹村 伸二	東京都	多摩川に学校と隣接する多摩川での活動をはじめて4年目になる。子どもたちは対する想いが変わりつつある。多摩川の活動を通し自然との関わりをさらに推進していく。
173121094	1	3121	クリーングリーン活動	大清水小・中・高三校交流委員会	大清水高	折目 征己	神奈川県	本校は隣接する大清水小学校・中学校と連携して「クリーングリーン活動」を実施しており三校の全生徒、職員PTAが協力して境川の河川敷にひまわりや菜の花を植え育て河川の緑化につとめると共に、周辺のゴミひろいを行うことにより地域の環境美化を行っている。
173121095	1	3121	総合的な学習の時間における、河川や生活排水の水質検査	神奈川県立海老名高等学校	校長	藤巻 重久	神奈川県	相模川の河岸、水田に囲まれた本校は、神奈川県環境教育推進拠点校に指定されている。身近な環境について、科学的に探求するための1つの取り組みとして、CODを測定し水質検査を行う。生活排水や河川の汚れを数値として測定することで、環境負荷を考察し、郷土の河川環境を守る心を育成する。
173121096	1	3121	「ふるさとの川河内川」～蛍をよびもどそう～	平塚市立旭小学校	校長	八谷 和民	神奈川県	学区内を流れる河内川を昔のように蛍が住める川にするため、月1回学年全員による清掃活動。草刈り、環境調査、花の栽培、ポスター・看板・ベンチなどの制作等の活動。
173121097	1	3121	大武川の自然を中心とした総合的な学習の推進	武川村立武川小学校	校長	岡部 和子	山梨県	大武川及びその周辺の自然(地形地質、植生、水生生物他)を観察し、自ら学び自ら考える力を養い、主体的に課題に取り組む学習活動と共に、河川を中心とした自然保護活動の推進をはかる総合的な学習の展開。
173121098	1	3121	環境むかし・いま・そして…	日下部小学校	校長	細井 眞	山梨県	総合的学習の中で、環境教育の一環として地域を流れる河川の自然や環境などについて調べ、きれいな川や美しい環境に興味関心を持たせる。ふるさと山梨をよりよくするための自主的活動に気づかせ、美しい環境をいつまでも守っていこうとする態度を育てる。具体的内容として、河川の観察、調査、自主的活動計画、及び実施。
173121099	1	3121	水質汚染の原因を知り、環境のために自分ができることを考えよう	堀之内小学校	校長	伊藤 邦昭	山梨県	総合的な学習の中で、環境教育の一環として身近な兄川の水質検査や生活雑排水に目を向け、きれいな川、美しい環境を守っていくために自分たちができることは何かを考え、環境に対して責任ある行動をとると共に、地域に対しての働きかけができるような活動を展開する。
173121100	1	3121	重川の生態系を守ろう。	山梨市立山梨南中学校	校長	雨宮 亘	山梨県	環境教育の一環として、クラブ活動において、校地南側を流れる重川の自然環境や水生生物調査等を実地に行うとともに、ピオトープを新設するなどして充実した調査活動を行う。また、これらの活動によって得た調査結果を発表・公表し、身近な自然環境の保護に関する啓発活動を実施する。

平成17年度 新規採択一覧(32/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121101	1	3121	わたしたちのくらしと笛吹川	山梨市立加納岩小学校	校長	小笠原 浩	山梨県	わたしたちの故郷の河川、笛吹川を素材として、水の汚染、ゴミ調べなどを通して環境問題をとらえる。また、ダム の動きや利用等幅広く取り組み、課題を明らかにして、解決への道すじを立てたい。
173121102	1	3121	地域の河川に親しみ、環境問題や水防を考える活動	山梨市立日川小学校	校長	名取 源文	山梨県	総合的な学習の時間の中で、環境教育の一環として地域を流れる日川と重川の自然や環境などについて調べ、きれいな川や美しい環境を守っていかうとする態度を育てる。地域の水害などの歴史についても調べ、水防についての興味・関心を高める活動をする。
173121103	1	3121	発見！たんけん！ふえふき川	山梨市立山梨小学校	校長	佐々木 與比古	山梨県	総合的な学習の中で、環境教育の一環として、自分たちの身近を流れる笛吹川を題材として、川遊び体験、観察、調査活動を通して関心を持たせると共に、いつまでも美しい環境を守っていききたいという態度を育てる。さらに、この意識をもとに川に対する愛着を深めたり、保護していくために自分たちにできることを考え実行していく。
173121104	1	3121	市川地区と水―西部せぎの調査―	山梨市立八幡小学校	校長	永田 清一	山梨県	4年生の総合的な学習の時間に、社会科との関連学習として、地域の開発である「西保せぎ」を取り上げ、調査活動などを通して、地域の先人達が地域の生活と文化の向上のために様々な工夫や苦心をしてきたことを理解し、大切に保存していかうとする態度を育てる。
173121105	1	3121	地域の川に学ぼう	新津市立満日小学校	校長	遠藤 友春	新潟県	河原の散策、生き物調べ、川に関係した仕事に携わっている人への聞き取り調査などによって、地域が川とともに暮らしを築きあげてきたことに気づき、自分たちにできること、しなければならぬことを考える。そして、それらの活動から学んだことを地域住民や行政に発信し、環境保全への取組をする。
173121106	1	3121	総合的な学習の時間「レッツゴー片貝川探検隊」	上越市立中郷小学校	校長	萬羽 嗣彦	新潟県	地域を流れる片貝川を通して、人々が水を巧みに利用したり、克服したりしながら今日の発展を築いたことを学ばせる。一方、人間中心の考えが、人間と川の調和を崩している事実も観察や実験を通してとらえさせる。そこで、地域に生きるために、川と人間との在り方について自分なりの主張を形成し地域社会に発信していく活動を展開していく。
173121107	1	3121	矢代川に親しみ河川浄化を目指す活動	上越市立和田小学校	校長	草野 正信	新潟県	校区を流れる矢代川に親しみ、水質、水生生物調査などを通して、地域住民に河川浄化を促す活動を展開する
173121108	1	3121	加茂川で川に親しみ、生態系を理解しながら河川の浄化を目指す活動	加茂市立石川小学校	学校長	清野 博	新潟県	川に関する様々なことを地域の方々の協力を得ながら調べ、それをベースに河川浄化を目指す環境教育に取り組む。
173121109	1	3121	ふるさと荒川青空教室	荒川町立金屋小学校	校長	西片 哲也	新潟県	当校児童を対象に、ふるさとの川や自然のよさを体感し、自然への関心を深めるために、「ふるさと荒川青空教室」を開催する。内容としては、水辺の生き物の観察、クリーン作戦等を実施することとしている。

平成17年度 新規採択一覧(33/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121110	1	3121	ほたるの里と自然観察園づくり	丸子北中学校	校長	小林 良二	長野県	中城沢川に生息する魚や植物の調査研究と水質検査及び河川浄化の清掃活動を行うことを通して、河川愛護と環境教育の実践を地域住民と共に推進し、ほたるの里と自然観察園づくりをする。また、地域住民と共に学習活動をし、時には小・高・大学との連携を図り、自然と河川の環境教育の実践から、人と川とのかかわりを深め、豊かな人間性を養う。
173121111	1	3121	中丸子河川敷に公園づくり	丸子北中学校	校長	小林 良二	長野県	依田川橋周辺の中丸子河川敷に、中学生と地元地域住民のやまびこ会が中心となって河川の水生生物や自然環境を学ぶために、公園と森林公園をつくる。内容として、水質や水生生物の調査と河川の清掃活動をして、ひまわりや花づくり及び森林や遊歩道づくりを実施することを通して、世代を越えた交流の場をつくる。
173121112	1	3121	依田川コスモス街道づくりと環境学習	丸子北中学校	校長	小林 良二	長野県	学区内を流れる依田川の水質や水生生物調査及び、全校生徒による清掃活動とコスモス50000本の栽培活動による河川環境教育を実施する。また、河川の歴史や自然についての学習と、小中高が連携して、地域住民と共にクリーン作戦を行い、豊かな人間性を養う。
173121113	1	3121	地域の中心を流れる天竜川を題材とし、上伊那の文化・伝統・産業・歴史を支えてきた河川の役割や、これからの川について学びを発展させていく総合的な	箕輪町立箕輪小学校	学校長	春日 民毅	長野県	天竜川を中核に据え、自然環境・産業・歴史などの分野で、地域とのかかわりやそこに携わる人に触れ、視野を広げるとともに、河川の役割を実感させていく。
173121114	1	3121	“旭ヶ丘地溝帯”の湧水～河川に見られる素材の教材化	旭ヶ丘中学校	校長	手塚 恒人	長野県	学区は“旭ヶ丘地溝帯”の中にある。周囲には湧水が多数見られ、そこに多数の貴重な動植物が生息している。また、活断層や火山灰や動植物化石が見られる露頭が河川に沿って出ている。それらを生徒や保護者・地域に紹介し、ともども郷土愛を育てる。
173121115	1	3121	千曲川支流片貝川流域の環境調査学習	長野県臼田高等学校	学校長	平林 昌廣	長野県	片貝川は臼田町上小田切地区から発し、佐久市岸野地区で千曲川に合流する河川である。この河川の調査学習を環境緑地科の生徒が3年前より環境科学基礎学習で取り組んできた。17年度はその学習を深化充実させたいと申請しました。
173121116	1	3121	根尾川の特徴	本巣市立根尾中学校	校長	森 久夫	岐阜県	全校40名強の根尾中学校の生徒に、故郷を流れる根尾川のすばらしさを学ばせる。具体的には、本来根尾川には生息しないはずの「オヤナラミ」という魚の生態を通し、根尾川のよさを学ばせたい。
173121117	1	3121	きれいな揖斐川・桂川をいつまでも守っていこう。	揖斐川町立大和小学校	校長	大淵 通男	岐阜県	総合的な学習の中で、環境教育の一環としてふるさとを流れる河川の自然や環境などについて調べ、きれいな川、美しい環境をいつまでも守っていこうとする態度を育てる。内容としては、カワゲラウォッチングやカワニナの放流、河川の清掃等を実施することとしている。また、地域の方々から河川環境保護を呼びかける活動をする。
173121118	1	3121	長良川調査隊「長良川の水をさぐれ」	海津町立東江小学校	校長	河合 鋭夫	岐阜県	学校付近の長良川の水質を源流付近と比較する中で、河川が汚れる原因を探求する。その結果を学校のホームページで紹介したり、長良川水域の小学校と学校間総合ネット等を活用して交流を図ったりしながら、河川浄化や環境へ関心を高める。

平成17年度 新規採択一覧(34/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121119	1	3121	「それゆけ！共栄調査隊」・高田川の汚れを調べてみよう	多治見市立共栄小学校	校長	片田 充	岐阜県	4年生は総合的な学習で「地域の一員として環境問題を見つめよう」をテーマに取り組んでいる。環境についての問題を出し合い、自分の課題を追求していく。地域の高田川についても住んでいる魚や家庭排水などでどれだけ汚れているか、上流と下流でちがいがいるのかなどに関心を持つ子が多い。パックテストで調べる実験をさせてやりたく申請した。
173121120	1	3121	長良川のすばらしさを伝えよう	岐阜市立長良西小学校	校長	林 五十男	岐阜県	長良川の鶺鴒や自然環境について調査したり、清掃活動などの環境保全活動に参加したりすることを通して、長良川のすばらしさを感じたり、愛着を高めたりする。さらに、長良川のすばらしさを守り受け継いでいくために、パンフレットを作成するなどして、地域や地域外の人々に思いを伝える活動を行う。
173121121	1	3121	矢戸川の環境調査	可児市立春里小学校	校長	渡邊 芳延	岐阜県	春里小学校の西隣を流れる矢戸川は全長5kmの川である。毎年6年生は矢戸川の源流から可児川に注ぐ所まで探検し、各自個人テーマを作成する。そのテーマに基づいて、水質調査、水生生物調査、植物調査、岩石調査などを行う。調べたことは本にまとめ、ウェブサイトに掲載している。
173121122	1	3121	総合的な学習の時間における河川を題材とした活動	岐阜市立加納中学校	校長	古澤 哲男	岐阜県	第1学年の総合的な学習の時間の中で、身近に流れる荒田川の汚染度を水質検査や棲息する生物の調査等を通して把握し、浄化の方法を考察し、実践したり、地域に提言したりする。
173121123	1	3121	アマゴのはねる川づくり	作手村立協和小学校	校長	安形 茂樹	愛知県	学校の前を流れる巴川にかかわる学習活動を全学年で展開し、河川環境への関心を高め、きれいな川を守り育てようとする意欲を高める。総合的な学習の時間等を活用するが、アマゴの養殖と放流、水生生物調査等を中心的な活動とする。
173121124	1	3121	四反田川の水辺環境と水質の関わり調査	新城市立東郷小学校4年雪組	校長	石内 文夫	愛知県	校区を流れる四反田川の水辺の様子や水質について定期的継続的に調査活動を行い、河川環境に関心をもたせたり自然に対する畏敬の念を育てるようにする。四反田川の源流を包む雁峰山の存在と山林が果たす役割についても感心が及ぶようにしたい。
173121125	1	3121	四反田川の水生生物調査活動	新城市立東郷小学校4年月組	校長	石内 文夫	愛知県	校区を流れる四反田川の水生生物の種類や密度を調べ河川環境に関心をもたせたり自然に対する慈しみの心を育てる。また調査結果を地域に公開したり誌上に発表したりして地域への啓発活動の一助とする。4年雪組で行う水辺環境と水質調査との関連も学ばせる。
173121126	1	3121	矢作川における、川に親しみ、生態系を守り美化や歴史を考える活動	岡崎市立大門小学校	校長	野本 欽也	愛知県	川と親しみ、自然の営みや歴史的な価値にふれ、美しい川を思いやる豊かな心を育て、地域と一体となった人文的な環境教育に取り組む。(継続)
173121127	1	3121	循環型サイクルによる美しい環境保持の学習活動	名古屋市立引山小学校	校長	山田 宏	愛知県	香流川及び校内ビオトープを活用した、循環型サイクルによる美しい環境保持の学習を展開する。内容としては、水質悪化が心配させる香流川と浄化施設を伴った校内ビオトープの汚染度調査や水生生物の観察を継続して行いながら、河川とビオトープの水を比較していくことで、水の汚染防止や水質の向上のために何が必要かを明らかにしていく。

平成17年度 新規採択一覧(35/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121128	1	3121	見つめよう・守ろう、ぼくたちわたしたちの逢妻川	刈谷市立かりがね小学校	校長	角岡 佳允	愛知県	子どもたちに学区を流れる逢妻川の良さを気づかせるために、調べ学習を行わせる。子どもたちが興味・関心を示すものから始め、地域の専門家の協力を得ながら推進する。そして、子どもたちにできる保全・啓発活動を推進する。良さを守り、生活に生かす活動に取り組みさせることを通して、逢妻川に積極的にかかわる態度を身につけさせる。
173121129	1	3121	豊橋市立大村小学校えっへん・大村水の音・風のにおい・土のぬくもり	小中高等学校	校長	尾崎 安貞	愛知県	本校は、地域豊川を核として、総合的な学習を推進している。身近な川の流れば、四季の姿を映し句会へと発展する。子供たちに、この環境を生かし自然のすばらしさと「水」の恵みに感謝する心を、さらに育てる体験活動を実践する。勤労生産やビオトープ造りを通し環境保全を地域と共にさらに強力に推進する。
173121130	1	3121	愛知県岡崎市立常磐南小学校	岡崎市立常磐南小学校	校長	本多 久勝	愛知県	学区を流れる板田川・大井野川を昔のように黒メダカがいっぱい生息する川にする活動をする。生物調査・CODバックテストなどを行い、河川の状況を知る。また校内の調整池を活用して黒メダカの増殖をし、元いた川へ放流する活動をする。そして多くの生き物が住みやすい川になるように、生活廃水を流さないなど地域住民の意識を高める活動をする。
173121131	1	3121	アースワーク(砂の芸術)	岡崎市立矢作中学校	校長	鈴木 忍	愛知県	矢作川河川敷の砂原で、砂の芸術(アースワーク展)と河川美化活動を昭和45年よりはじめ、本年で35週を迎える全校生徒733名が10名程グループに別れ、学年毎の制作テーマに添い、8m×8m×1m程度の砂の像を4時間程で作りあげ、鑑賞する。あわせて河川美化として空き缶ゴミ拾いを行う。
173121132	1	3121	ぼくらの宝「寒狭川」	鳳来町立鳳来西小学校	校長	大橋 敏幸	愛知県	学校の東側を流れる寒狭川を題材にして総合的な学習をすすめる。7月下旬には寒狭川で遊ぶ会を実施し、川と親しむ機会を設ける。また平成14年度より実施している水生生物調査を行い、川の環境についてのデータをまとめ、結果を地域に発信していく。
173121133	1	3121	佐鳴湖の環境について考えよう	浜松市立入野小学校	校長	畑 すみ子	静岡県	学区にある佐鳴湖を素材として総合的な学習を行う。日本一汚れているという佐鳴湖の水質・ゴミ・生物などをテーマに、現状や浄化対策・浄化設備・昔の様子・人々の願いを調べる。また、地域の環境を守る団体や漁業協同組合の人たちの話を聞いたり、一緒に活動したりすることで佐鳴湖の環境について考える。
173121134	1	3121	花川水質浄化実験活動	学校法人中野学園オイスカ高等学校	校長	藤崎 正和	静岡県	花川流域の地域住民・小学校・中学校と共に、植物(空芯菜)の育成管理と植物による水質浄化実験を主体として、収穫した空芯菜(野菜)の調理研究・試食会、広報誌の発行を通して、環境保護活動と環境意識の啓発を行う。
173121135	1	3121	藁科川の自然に親しみ、そのよさに気づき、環境を守る活動	静岡市立中藁科小学校	校長	酒井 義幸	静岡県	地域を流れる藁科川に関わる様々な活動を通して、藁科川の自然に親しみ、そのよさに気づくと共に、それを守るための方策を地域と考え、環境を守って後輩にも伝えていけるような取り組みをする。
173121136	1	3121	安倍川とその流域を対象とした横断的・総合的な学習	静岡市立駒形小学校	学校長	丸山 修平	静岡県	安倍川とその流域の動植物の生態、水質等の環境、流域の歴史や産業等を対象にした、個人や小集団の課題に添った調査・研究活動などの横断的・総合的な学習の時間

平成17年度 新規採択一覧(36/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121137	1	3121	静岡平野の過去の水害と治水防災—安倍川・巴川の治水と防災を中心に—	静岡県立静岡中央高等学校定時制課程	校長	村上 明夫	静岡県	本校の生徒を対象に、本校の所在する静岡平野を流れる安倍川・巴川がもたらした過去の水害の事例(七夕豪雨)や、治水等の歴史、河川整備の状況と効果を学習し、洪水ハザードマップを作成する。防災情報SIPOSの内容と利用方法についても調べさせ、水害についての正しい知識と防災の心構えを育ませる。
173121138	1	3121	大見川の自然のすばらしさを体験し河川を愛護する気持ちを育む活動	伊豆市立大見小学校	校長	梅原 よし江	静岡県	大見川の自然に親しむ体験活動を通して、大見川の自然のすばらしさを体で感じ取り、河川を愛護する気持ちを育てる。内容としては、釣り体験・水生生物観察会・柿田川見学・狩野川資料館見学等を実施する。合わせて、河川に関係したテーマを調べ追求する活動をしていく。
173121139	1	3121	ふるさと「しずなか」学習～安倍川を素材として～	静岡市立賤機中小学校	校長	鈴木 真澄	静岡県	過去2年間助成を受けて、子どもたちが安倍川に親しみ、地域の方の協力を得て、アマゴの放流や飼育に取り組んできた。次年度は、これまでの活動を引き継ぎ、さらに環境保全や成果を発表する学習に広げふるさと学習を深めていく。
173121140	1	3121	安倍川の砂防を考える	静岡県立静岡農業高等学校	校長	増田 嘉徳	静岡県	生徒の生活に密着した安倍川の砂防について学ぶ。安倍川上流に行き、再生紙鉢を活用した砂防事業(植栽工・山腹工)を実施する。さらに、大学や関係機関から専門家を本校に招き、講義・実習を行ってもらう。学校祭では生徒が講師になり、来場者へ砂防事業の意義を伝える(その際来場者に再生紙鉢を用いた砂防体験を実践)。
173121141	1	3121	熊切川において、川に親しみ森林保護及び河川浄化を目指す活動	春野町立熊切小学校	教諭	橋本 登	静岡県	熊切川での遊びや活動を通して、川や周囲の自然環境を学びながら、地域の自然保護団体と共に、河川浄化及び森林保護を目指す環境教育に取り組む。
173121142	1	3121	琵琶湖周辺の沼や川を調べよう	マキノ東小学校4年生	校長	前川 則彦	滋賀県	学校の近くのピオトープ西内沼や奥田沼、そこから琵琶湖につながる川を対象に、総合的な学習の時間に、生き物調査をしたり、身近な所でそれらの生き物を飼育したりすることを通して、ふるさとの自然にじかにふれ、自分たちのふるさとを守り愛する心情や態度を育てる。
173121143	1	3121	瀬田川における環境学習	滋賀県立瀬田工業高等学校	学校長	平野 勝美	滋賀県	瀬田川近くにある瀬田工業高校化学工業科で、河川環境の保全、琵琶湖固有種生物の生育環境の確保を学ぶために、「瀬田川における環境学習」を実施する。内容としては、琵琶湖や瀬田川の固有種である、イケチョウガイやセタジミの学習、瀬田川周辺のゴミ拾い等を通して環境教育に取り組む。
173121144	1	3121	田から琵琶湖につながる川を探ろう	マキノ東小学校5年生	校長	前川 則彦	滋賀県	総合的な学習の時間に実施する学校田での米作りの学習を通して、田から琵琶湖につながる川の生き物調査をしたり、琵琶湖からさかのぼる魚の生態を調べたりすることを通して、田や田の周辺の小川が琵琶湖にすむ生物に果たす役割を考え、自分たちのふるさとを守り愛する心情や態度を育てる。
173121145	1	3121	びわ湖の再発見—びわ湖周辺の川を探る—	滋賀県高島市立マキノ東小学校6年生	校長	前川 則彦	滋賀県	総合的な学習の時間に、学校所有のカヌーを利用して、琵琶湖や琵琶湖周辺の川を調査し、水質や生物の共通点や相違点を見つけたり、自分たちの生活と琵琶湖や川との関わりについて考えたりすることを通して、ふるさとの自然を守り愛する心情や態度を育てる。

平成17年度 新規採択一覧(37/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121146	1	3121	リバーフレンド(4年生総合的な学習の時間)	大津市立藤尾小学校	校長	八木 平蔵	滋賀県	地域を流れる「藤尾川」の生物や環境を、専門家の指導もうけながら一年を通して調査し、発表をする活動をする。その中で河川に対する見方を養い、自らの生活を見直して、川や自然を愛し守ろうとする心を育てる。
173121147	1	3121	川で遊び、川で学ぶ総合的な学習	宇治市立平盛小学校5年	学校長	森川 滋夫	京都府	本校の周囲には、宇治川、淀川、木津川という大きな川が流れている。なかでも木津川は徒歩で行ける距離にある。今までも生活科や理科の学習において、断片的に、川を扱った授業を実施してきたが、今回、総合的な学習に位置づけることによって、存分に川で遊び、そこから生じた疑問を大事にししながら、私たちの暮らしと川について考えさせる活動を展開したい。
173121148	1	3121	総合的な学習「水」	京都市立修学院小学校	校長	伊藤 喜昌	京都府	4年生の総合的な学習の時間に校区を流れる河川を調べ、自然の水のすばらしさや環境問題について自らの考えを持ち、学校の内外に訴えたり実践活動を行ったりする。
173121149	1	3121	河童(かわっば)GO!GO!2みんなが進める近木川遊縁地計画!	貝塚市立南小学校	学校長	藤並 正己	大阪府	近木川に入り、水辺の動植物や粘土、石等の様々な自然とふれ合いその豊かさや楽しさを発見する中で、近木川を身近に感じ、守っていこうとする心情を育てる活動
173121150	1	3121	鶺鴒のヨシで卒業証書を作ろう!	高槻市立五領小学校	校長	佐世 かず子	大阪府	淀川右岸にある鶺鴒(75ha)には、筆葉の吹き口になる良質のヨシが生えています。その鶺鴒で全学年の子どもたちが、総合学習に取り組んでいます。6年生は、刈り取ったヨシを使って世界に一つだけの卒業証書を作成したいと考えています。
173121151	1	3121	石川の自然環境の保全をめざした体験型の環境教育の実践	太子町立磯長小学校	校長	越智 則順	大阪府	石川と河川敷きの自然環境について体験・実践を重視した学習活動を行う。河川敷きの自然観察とそこにある草花の栽培、石川に住む魚や水生生物の飼育、バックテストを用いた水質調査など体系的な実践を通して、子どもたちが河川の自然環境の美しさや大切さを体感し、河川環境の保全の意識と実践態度を育むことをねらいとする。
173121152	1	3121	大阪の自然淀川を知ろう	大阪市立野里小学校	校長	西垣 美智子	大阪府	本校は淀川が校区にある。この地理的条件をいかして、この3年間、大阪市の助成を受け、淀川や琵琶湖を中心とした環境学習に取り組んできた。干潟やワンドでの生き物とのふれあいやバードウォッチングなどの体験学習を通して自然を大切にしている児童が育っているので今後も継続していく。
173121153	1	3121	総合的な学習の時間『淀川と遊ぶ』	大阪府立淀川工業高等学校	校長	長谷川 耕三	大阪府	総合的な学習の時間を利用して淀川を中心に自然環境に親しみながら様々な活動をおこなう。生徒自らが自然環境や保護に対する認識を深め、治水技術や交通の歴史などを、工業高校の施設・機材なども利用しながら学習する。また地域の人々と交流を深めながら学習内容の発信をする予定。
173121154	1	3121	淡河川の学習	神戸市立淡河小学校	校長	岩島 靖	兵庫県	淡河川は、淡河町の住民の「心のふる里」的な川である。最近水質は改善されつつあるが、ホテルの数もずいぶん減ってきた。学校の近くを流れるこの川を、学習で活用し、あわせて川の環境を守りたいと考える。

平成17年度 新規採択一覧(38/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121155	1	3121	進め「鴨川」探検隊	社町立鴨川小学校	校長	廣畑 貞一	兵庫県	校区を流れる鴨川で、全校生が遊び、学んでいく。その過程で、サワガニや魚、水生生物が、たくさんくらしていることに気づかせたい。水生生物や電気伝導度、バックテストで、川の汚れをはかり、川の汚れに関心を持ち、「きれいな鴨川を保ちたい」という気持ちを高め、環境浄化の行動につなげたい。
173121156	1	3121	「知ろう、触れよう、守ろう！杉原川」	加美町立杉原谷小学校	校長	森位 道	兵庫県	本校は清流杉原川の源流にある。杉原川には絶滅寸前のオヤニラミやヨシノボリ、ドンコなど貴重な生物が多く生息している。にもかかわらず、子ども達はそのすばらしさを体感する機会が乏しい。学習内容としては水生生物の調査や水質検査、水槽での飼育観察、クリーンキャンペーンなどを主として取り入れ、ふるさとの自然の役割をを理解し、豊かな自然を愛する子ども達を育てる。
173121157	1	3121	山田川に親しみホタルの育成・放流を中心に据えた命を育む教育活動	神戸市立山田小学校	校長	山口 英一郎	兵庫県	全学年が山田川で遊び、山田川について調べることで関心を持ち、山田川を大切にしようとする気持ちや実践力を高める。特に4年生は山田川に育つホタル・そのホタルを育む環境について調べ、ホタルを育成し放流する。これらの活動を通して、人と川が共存する優しい社会を築いていこうとする公民的資質を養う。
173121158	1	3121	稗田から都賀川通信	神戸市立稗田小学校	校長	三木 正子	兵庫県	校区を流れる都賀川は、地域に恵みと災害をもたらしてきた、人々と密接な関わりのある川である。子どもたちにとっては、自然・環境・くらし・治水等、様々な観点からアプローチのできる教材である。この都賀川の秘密や魅力を自分の力で見つけ、自分なりに発信する活動に取り組み、近隣校との「都賀川フォーラム」につなげる。
173121159	1	3121	「それゆけ黒井川調査隊」	丹波市立黒井小学校	校長	矢持 章一	兵庫県	水不足と氾濫という水との戦いが校区にはある。この「水」を題材に、4年生の子が総合的な学習の時間を通して、「黒井川」の環境問題や絶滅希種「オグラコオホネ」の調査観察することにより、地域により目を向けることや自然を大切に行動していける子どもへの育成に努める。
173121160	1	3121	生命かがやけ東条川2005	東条町立東条東小学校	学校長	大島 浩子	兵庫県	全校生が川で活動する。その過程で学んだことを、ポスターなどで地域に知らせる。率先してクリーン活動に取り組み、町の「川をきれいにしよう」との気運を高める。
173121161	1	3121	つくろう守ろうみんなの環境	神戸市立灘小学校	学校長	中前 寛文	兵庫県	我が町の都賀川の、水質や水生生物、特徴などの調査や清掃活動を通して、川の問題に関心を持たせる。またその活動から「自分達の川」という意識を持ち、今後都賀川を守ろうという気持ちを育ませる。
173121162	1	3121	伊川の調査活動を通して、河川に愛着をもつ活動	神戸市立太山寺小学校	校長	井上 通幸	兵庫県	校区の中心を流れる伊川の歴史や水質・生き物など身近な環境を調べるとともに、伊川をよくしていこうとする環境教育に取り組む。
173121163	1	3121	吉野川探検を通して、学習課題を見付川の大切さに気づき、啓発する活動	五條市立阿太小学校	校長	北野 華城	奈良県	地域の吉野川の探検やカヌー体験、上下流の施設・設備や川の観察を通して、自ら課題を見つけ、解決するための方途を探り、他の人にも知ってもらおうとする意欲をもつとともに、主体的に環境保全等の啓発活動や上下流の学校との交流に取り組む。

平成17年度 新規採択一覧(39/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121164	1	3121	ふれよう、調べようリバーウォッチング	天理市立山の辺小学校	校長	杉本 祐一	奈良県	4年生における総合学習の時間での環境学習として、河川の調査活動を実施する。水生生物の観察、水質、水流検査、比較調査など、体験学習を計画的に行うことにより、川の自然を守ろうとする態度を育成する。また学年、学校、地域に伝える活動を通して、地域全体で河川の理解を高め広げる取組を推進する。
173121165	1	3121	広川の生態系研究と環境保全	広川町立津木中学校	学校長	岡崎 正俊	和歌山県	ゲンジボタルの飛翔調査や飼育観察と広川の水生物調査や水質調査を中心に広川の生態系を研究する。現在、ホタルの餌となるカワニナの行動調査を進めており、カワニナの分布や増減と環境の関係等について解明していきたい。そして、広川の環境保全活動を進め、関連する情報を発信していく。
173121166	1	3121	川ウォッチ・不思議発見私たちのくらしを支える川に学び環境を守ろう	鳥取市立大正小学校	校長	森本 愛彦	鳥取県	本校区は千代川下流西岸に位置し、昔から洪水や水不足に悩まされ、川の様子一つで生活が左右されてきた。人々の暮らしと川の関係学ぶことは、本校児童にとって意義深い。ポンプ場、大井手用水、千代川を調べていくことで、治水の重要性に触れていきたい。
173121167	1	3121	馬木っ子ふるさと環境探偵団	横田町立馬木小学校	学校長	福田 充雄	島根県	エコクラブ「馬木っ子ふるさと環境探偵団」は、昨年度結成し、地域の河川・森林を活動拠点とし、ホタル観察活動・樹木観察会・水質調査等の活動を実施してきている。学校教育と課外での学習との連携を図ることで、児童の環境学習機会の充実に寄与できるよう活動を展開している。
173121168	1	3121	わたしたちの砂田川ランドで楽しもう	横田町立馬木小学校	学校長	福田 充雄	島根県	校地内を流れる砂田川は、「水辺の楽校」として平成8年度に竣工以来、児童にとって格好の学習・遊び場となっている。本校では、下学年児童の野外学習の拠点として砂田川を位置づけ、各季節ごとに河川へ入り、流れの感触や生息する動植物との触れ合い活動を重視し、保護者・地域住民へ活動紹介を行っている。
173121169	1	3121	カジカちゃんの家・猪目川を守ろう	平田市立鱈淵小学校猪目分校	校長	富田 真樹	島根県	分校前の猪目川に生息するカジカガエルの継続観察や、オタマジャクシの飼育、子ガエルの放流、また総合的な学習の時間を使ったテーマ研究等、長年全校児童で行っている。平成17年度もこれらの実践を継続し、河川環境保全の意識を高めるとともに、ふるさと猪目の豊かな自然を守ろうとする態度や実践力を育みたい。
173121170	1	3121	江の川探検活動	江津市立桜江小学校	校長	服部 哲郎	島根県	総合的な学習の時間に身近な江の川を題材とした活動をする。内容としては下流から上流までの川の生き物を知る、きれいな川にする取り組みを考える、川漁師さんなど川とともに生きておられる人々の生活を知る、などが考えられる。調べたことをまとめ 校内や地域に発表し江の川のことを知らせる。
173121171	1	3121	玉湯川に親しみ、ふるさとを大切に思う心を育てる活動	玉湯町立大谷小学校	校長	竹下 優治	島根県	クラブや総合的な学習の時間、生活科、課外や休日等で地域の方々や幼稚園児と一緒に環境保全活動や水生生物調査、水質調査等を行うことで、自然に親しみながら環境保全の大切さを学ぶとともに、愛郷心を培う。
173121172	1	3121	久白川の河川環境と生き物への係りを調べ河川浄化を目指す活動	荒島小学校	校長	小藤 貢	島根県	学校(4年生)と地域(荒島地区活性化協議会有志)とが一体になって、荒島地区の中心部を流れる久白川の状況や水質等の河川環境を調べる。併せて川の生き物調査を行い、河川とのふれあい活動を進める。こうした活動を通して環境教育を進める一方で、河川をきれいにする取り組みを校区全体に児童と共に働きかける。

平成17年度 新規採択一覧(40/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121173	1	3121	サケの帰る川、唐川川水辺環境保全活動	平田市立鰐淵小学校	校長	富田 真樹	島根県	サケが帰る川の環境を考え、清掃活動や水質検査をしたり、サケの遡上の観察やサケの人工授精・飼育・観察・放流活動をしている。平成17年度もこれらの活動を一層充実させ、活動で得たことを地域に発信したり、地域と一緒に活動したりすることにより、地域を巻き込んだ唐川川水辺環境保全活動に取り組んでいきたい。
173121174	2	3121	河川流域の複数中学校とインターネット連携した河川をテーマとした総合学習の取り組み―第4年次―	倉敷市立南中学校	学校長	石井 浩三	岡山県	全流域をインターネットで連携し複数校共同の総合学習の実践(休日活用によるフィールドワーク確保、携帯電話利用の資料収集、共同HP運営によるデータ交流)
173121175	2	3121	ホテルの里づくり	御調中央小学校	校長	米持 清	広島県	御調中央小学校の子どもを対象に河川の自然環境を守ることの大切さを学ぶための「ホテルの里」づくりを行う。内容としては、河川改修工事で自然環境が壊されつつある校区内の江国川のホテルを飼育し、ホテルが棲めるような流れを造る活動を通して河川の環境に対する関心を高めようとするものである。
173121176	1	3121	オオサンショウウオの生息する志路原川を中心とした河川環境保全活動	北広島町立豊平東小学校	校長	中土居 博臣	広島県	国の特別天然記念物「オオサンショウウオ」の生息する志路原川やその支流河川における環境を守るための環境教育に取り組む。(水質・水生生物調査、環境保全のための啓発、取り組み発表など)
173121177	1	3121	4年生総合的な学習ふるさと学習「川の歴史と環境」	広島県福山市立久松台小学校	校長	斉藤 幹夫	広島県	小学校の児童が、私たちのふるさとを川の歴史や環境の視点から、調べたり考えたりすることで、美しい水を守るために自分たちができることを考え行動する。内容としては、八田原ダムの見学、水質を調べるバックテスト・ダムの模型や標本の制作などの活動をする。そして、発表交流を通して河川についての理解を深める。
173121178	1	3121	ワクワクチャレンジ小似川の自然を守る	広島県三次市立青河小学校	校長	池尻 まゆみ	広島県	総合的な学習の時間において、学校近くを流れる小似川の水生昆虫や魚類、植生及び水質などを調べたり、ごみ拾いなど環境美化に取り組んだりすることにより、自然環境の豊かさや多様性に気づかせ、地域を愛し、その自然を大切にしていこうとする心情を育てる。また、環境保全に取り組むことの大切さを学ばせる。
173121179	1	3121	寺領の農産物と「寺領川」との関わりについて調べよう!	広島県山県郡安芸太田町立寺領小学校	校長	梶川 史子	広島県	本校5、6学年の総合的な学習の「環境教育」で、校区内を流れる寺領川の水を利用してできる農産物を調べる活動実践する。内容としては、祇園坊柿・水田・わさび等を作っている地域の方々に川の水との関わりを聞き取り調査をし、水の大切さを知る。
173121180	1	3121	ホテルが光り輝く「寺領川」にしよう!	広島県山県郡安芸太田町立寺領小学校	校長	梶川 史子	広島県	本校3、4学年の総合的な学習の「環境教育」で、校区内を流れる寺領川を調べ、ホテルなどいろいろな水生生物が生育するきれいな川にすることを願い、活動実践する。内容としては、河川ポスターの応募・水生生物調査・ホテルの幼虫の放流などを実施することとする。
173121181	1	3121	学校に隣接する市街地近郊の糸米川を中心とする生態系の学習。	山口県立山口高等学校	校長	沖浦 初孝	山口県	学校の北側に位置する糸米川において、総合的な学習の時間を中心に生物の調査や観察を行っている。市街地近郊でありながら多様な生物が生息し、安定した生態系を作り出しており、定点観察を中心に水中生物の発生消長、水辺を利用する哺乳類・鳥類、環境を作り出す植物相の変化を明らかにし、身近な水辺環境の生態系を学習する。

平成17年度 新規採択一覧(41/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121182	1	3121	「ホタルだんご」によるホタルの住める川づくり	吉野川市立西麻植小学校	校長	徳山 豊	徳島県	西麻植校区を流れる江川は、かつてゲンジボタルの名所として知られ、校章にはホタルがデザインされている。そのホタルをよびもどそうと、地域の人々と子どもたちが苦心を重ねている。ホタルの住める川をとりもどすため、地域の人たちと協力し、EM菌を混入した「ホタルだんご」を川に投入し、水質の改善に取り組んでいる。
173121183	1	3121	総合的な学習の時間において取り組んでいる、穴吹川の環境保全活動	穴吹町立初草小学校	校長	松田 富美子	徳島県	本校のすぐ脇を流れる清流穴吹川は、水質四国一を誇り、地域の自然環境を学ぶには、素晴らしい学習材となっている。そこで、総合的な学習の時間のテーマを穴吹川の環境保全とし、各学年に応じた水生生物調査や水質検査等の体験活動をとおして、系統的に取り組み、地域の環境教育の一翼を担っている。
173121184	1	3121	金倉川・西汐入川・土器川における川に親しみ、環境問題を考える活動	丸亀市立城坤小学校	校長	金山 達夫	香川県	川で遊び、生き物や水の汚れ調べなどの体験活動を行う。そして、昔の川の様子と比較した今の川の現状を知り、地域の環境を守るために自分たちができることを考え、実践していくとする態度を養う。
173121185	1	3121	わたしたちの美しい土器川を守り隊！（総合的な学習「垂水学習4年生」）	丸亀市立垂水小学校	校長	赤松 よし子	香川県	香川県唯一の一級河川「土器川」での体験活動を通して学ぶ。そして、学習内容を地域に発信することにより、地域と一体となった河川浄化を目指した環境教育を行う。
173121186	1	3121	水辺の教室及び清掃美化活動の開催	多度津町立四箇小学校	校長	梶野 雅義	香川県	総合的な学習の時間に、3年生が環境に関する学習をしている。その過程で、学校の近くを流れる「弘田川」において、水辺の教室(水生生物の調査活動及び町の環境課職員による講話)を行う。また、夏季休業中には清掃美化活動を行う。調査活動や清掃美化活動は保護者と一緒に行っている。
173121187	1	3121	土器川における、川に親しみ、環境問題を考える活動Ⅲ	丸亀市立城辰小学校	校長	横井 寛	香川県	4年生の子エコクラブ74名が、土器川探検隊を結成し、土器川の下流中流・上流、源流の自然や治水、環境について、調査や見学等の体験活動を行う。分かったことをまとめて、全校や地域に発信したり、環境を守るために自分たちができることを考え、クリーン活動を呼びかけ実践する。
173121188	1	3121	重信川健康チェックをしよう	松山市立さくら小学校	校長	竹内 成美	愛媛県	環境に視点を当てた学習を進める中で重信川をとりあげ、調査したことをまとめる活動を行う。その際、内容を深めるために、上・中・下流各々に出向き、ゲストティーチャーから助言してもらいながらの体験学習を実施する。
173121189	1	3121	地域の川「中筋川」から学ぶ	中村市立中筋小学校	校長	竹村 暢夫	高知県	本校は「中筋川」「横瀬川」という2つの河川に隣接している。過去には、河川が氾濫し、水との戦いを繰り返したという歴史がある。この河川について、環境教育や地域の人々の願い、河川改良等について、総合学習で学習し、児童の河川に対する意識を高めたい。また、学習内容については学校ホームページを通して公開啓発したい。
173121190	1	3121	わたしたちの川ものべ川	土佐山田町立楠目小学校	校長	原 豊之	高知県	物部川や物部川流域また、他の河川での学習や体験活動を通して、川や地域の自然に親しむとともに、環境を守るために自分たちにできることを考え実践する。

平成17年度 新規採択一覧(42/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121191	1	3121	新莊川清流を守る事業	須崎市立上分小中学校	校長	野瀬 通男	高知県	校区の清流新莊川の清掃活動を小中学校の児童生徒が縦割り班を作り、異年齢集団で地域・保護者と一緒を実施するとともに、水生昆虫の観察や水遊び・水泳などの水に親しむ活動を実施。また、清流を守るためのスローガンやシュプレヒコールを実施し、環境保全の大切さを子どもたちから地域に向けて発信する。
173121192	1	3121	みつめなおそうわたしたちの奈路川	南国市立奈路小学校	学校長	北村 初江	高知県	奈路川についての水質調査を通して、現在の奈路川がどういう状態なのかを知り、自然の持つ力のすばらしさを認識すると共に自分たちに何ができると、自分たちの生活を見つめなおし、環境を守るためにできることを考え実践する。
173121193	1	3121	総合的な学習の時間における水を中心とした環境教育の展開	小竹町立小竹中学校	校長	金子 敬人	福岡県	遠賀川中流域に位置する小竹中学校の生徒達を対象に、自然環境と人間の生活との関わりを、主に川の水を切り口として考察させる環境教育を行う。内容としては、生物学的・化学的指標の水質調査実習並びに結果の分析・考察を中心に活動する。併せて、プロジェクトWETのアクティビティを利用し、水に関する総合的な学習プログラムとする。
173121194	1	3121	守りたい美しいふるさとの川遠賀川	嘉穂町立宮野小学校	校長	花田 真也	福岡県	校区内を流れる遠賀川の水質調査や生き物調べを通して、ふるさとを流れる川のみしさや素晴らしさを知ると共に、川や自然を大切にしようとする心を育む。また、ヤマメの孵化等を通して自然の厳しさや命の尊さを学ぶ。
173121195	1	3121	水辺探検隊	嘉穂町立宮野小学校	校長	花田 真也	福岡県	一級河川遠賀川の源流を有する本校にとって遠賀川は身近な存在であるが、遠賀川は九州において水質ワースト2位という環境問題もかかっている。そこで、遠賀川の源流から河口(海岸)まで五感を通して探検することによって、川と親しみながら様相が異なる遠賀川の全体像をつかみ、そこから見えてくる環境の悪化や自然の様子をつかませたい。
173121196	1	3121	「クロメダカをふやし隊」	嘉穂町立宮野小学校	校長	花田 真也	福岡県	絶滅危惧Ⅱ種であるクロメダカの生息調査活動や飼育・放流活動を通して、川や周りの自然に親しみ、生き物の生命を大切にしたり、ふるさとの自然を大切にしたりする心情を養うとともに環境問題への関心を高める体験活動を実施する。
173121197	1	3121	白川に親しみ、白川をみつめ、私たちの白川をよりよくしていく活動	久木野村立久木野小学校	学校長	中野 晃	熊本県	4年生が総合的な学習の時間で白川の水質調査や水生生物観察を地域のひと協力して行うことにより、身近だけどよく知らない川について地域の環境に目を向け、地域をより良くしていくこととする心情や態度を育てると共に、白川をはじめ地域の水環境をよりよくしていく活動を行う。
173121198	1	3121	玉来川における、川に親しみ、上流に住むものとしての河川浄化をめざす活動	産山村立山鹿小学校	校長	佐藤 増夫	熊本県	総合的な学習の時間に、地元を流れる川を利用し「川上に住むものとして」という題材で河川の調査を行い、環境について学習をする。上流中流、下流の河川の様子を調査し、その結果をまとめ発表していくなかで、川上に住むものとして何が大切かを考え、プレゼンテーションや劇化を通して、保護者や地域の人に伝えていく。
173121199	1	3121	芳野をホテルのとびかうりに	熊本市立芳野小学校	校長	池邊 利昭	熊本県	河内川に子どもたちが育てたホテルを放流するために、河内川をはじめ地域の環境を保全する活動を行う。水生生物調査を行うことにより、家庭や地域と連携しながら、竹炭づくり、EM団子づくり、ゴミ拾い、看板づくりなどの環境保全に取り組む。

平成17年度 新規採択一覧(43/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121200	1	3121	「二の井手を清らかな流れにしよう」	熊本市立田迎小学校	校長	古賀 洋一	熊本県	加藤清正が作った3つの井手の中の一つ「二の井手」が、田迎小校区を南北に南北に流れている。以前は泳げるほどきれいだった水が、排水やゴミのポイ捨てなどにより、汚れが目立つようになってきた。そこで、田迎校区まちづくり委員会をはじめとする地域の方々と一緒に「二の井手を清らかな流れにしよう」という活動に取り組んでいる。
173121201	1	3121	迫川を炭で浄化する活動	菊池市立菊池北小学校	菊池市立	倉原 久義	熊本県	第4学年で河川の水質調査、ダム役を学習し、第5学年で炭焼き体験活動をしている。そこで、2年間のまとめとして、迫川(菊池川支流)の浄化を炭を使って行いたい。学習や調査、浄化活動、聞き取り活動の費用として、助成金の給付を受けたいと存じます。
173121202	1	3121	総合的な学習の時間における河川を題材とした活動	菊水東小学校	校長	澤田 久夫	熊本県	校区を流れる河川の自然や環境について学び、それらの大切さ、それらを守っていくことの大切さについて学ぶための総合的な学習を展開する。内容としては、地域の方々を招き河川の歴史、河川に対する思いなどを話していただいたり、菊水町ホテルを育てる会の方々を招き、ホテルに対する思いを話していただいたりする。また、児童の課題に応じ、パケット、水生生物調査、水の透明度調査などを行い、河川の様子を調べ、河川を大切にしようとする態度を育て、保護者、地域住民へ河川の大切さを啓発する活動を行う。
173121203	1	3121	地域のよさを見直そう！ーもっと知りたい江津湖の神秘ー	熊本市立出水南中学校3年生	教諭	有田 勝秋	熊本県	本校は湧水湖である江津湖を望む地域にある。『地域のよさを見直す』を大テーマにした生徒の総合的な学習の一貫として「もっと知りたい江津湖の神秘」と題して、これまで見過ごしてきた江津湖に関わる文化を掘り起こし、「水と生命」「水と文化」など生徒の主体的な発想で水に関わる意識の向上に努めたい。
173121204	1	3121	大谷川における川に親しみ河川浄化を目指す活動	宮崎市立小松台小学校	校長	宗安 正文	宮崎県	大谷川(1級河川全長12km)の調査活動をするに生活に深い関わりを持つ河川について、思考を深め、環境を大切にしたい気持ちや態度を育てる。また、地域の人々と共に調べ学習をすることで、地域を流れる大谷川への関心を一層高め、地域との絆を深めていく活動とする。
173121205	1	3121	宮田川(小丸川支流)をきれいにしよう。(事業名変更有[変更前]:小丸川博物館をつくって小丸川のよさを紹介しよう。)	高鍋町立高鍋東小学校	校長	大川 周士	宮崎県	小丸川流域の自然・産業・文化・民俗などを知り、小丸川に親しみを感じるとともに、地域を見直し故郷を愛する心情を高めることをねらいとしている。
173121206	1	3121	大淀川の環境調査と美化活動	都城市立明道小学校	校長	畦浦 敏彦	宮崎県	大淀川に生息する水棲生物や水質を調査することで、環境を守る大切さを知るとともに、ボランティア活動で大淀川をきれいにする活動を行う。その後、調査結果や清掃活動の様子を保護者や地域に紹介することで、地域で川を守る意識を育てる。
173121207	1	3121	本庄川に親しみ、河川浄化を目指す活動	国富町立本庄小学校	校長	古賀 正樹	宮崎県	本庄川の水生生物調査や水質調査、クリーン作戦等の活動を通して、身近な自然環境を守るためにできることを考えさせるなど、環境学習を行う。
173121208	1	3121	みんな大好き岩戸川	高千穂町立上岩戸小学校	校長	児玉 和子	宮崎県	本校近くを流れる岩戸川について探検活動や水質調査を通して、岩戸川のすばらしさを再発見し、クリーン活動やポスター作りを通して河川愛護の意識を育てる。また、浄水器作りやEM菌培養を通して、水の効果的な利用法について知り、生活に役立てる。

平成17年度 新規採択一覧(44/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121209	1	3121	川内川における川に親しみ、河川浄化を目指す活動	えびの市立飯野小学校	校長	荻原 和範	宮崎県	えびの市の川内川の汚染状況を調べたり、水生生物について調べたりする活動を通して自然を大切に、ふるさとを愛する心を育成したいと考えている。また川内川フェスタという名称で、発表の場を設定し、保護者や地域の方々に啓発していきたいと考えている。そういった活動のために助成金を活用したい。
173121210	1	3121	大淀川及び小松川における川に親しみ河川浄化を目指す活動	宮崎市立西池小学校	学校長	黒木 康雄	宮崎県	身近な水や川に目を向けさせ、川で遊び、川で学ぶ体験的な学習を展開する。これらを基盤とし、地域と一体となり河川浄化を目指す環境教育へと発展させる。
173121211	1	3121	本庄川において川と親しみ「水」に対する関心を高める活動	国富町立森永小学校	校長	日高 基孝	宮崎県	身近な水や川に目を向けさせ、つりや河原で遊ぶ活動や、浄水場などの施設を見学したり自分たちで調べたりする活動を通して、生物にとっての「水」について知り、環境への興味・関心を高める。
173121212	1	3121	大谷川ウォッチング	高千穂町立五ヶ所小学校	校長	?所 信博	高知県	五ヶ所小学校の児童を対象に、河川の自然や環境、川的美しさ、川の恐さなどを学び、地域の自然を愛する心を育む学習を展開する。内容としては、水生生物を調べたり、ヤマメを育て放流したりする計画である。また、大谷川と地域の人々との関わりを調べ清掃活動などのプログラムも実施する。
173121213	1	3121	「川内川は生きている」(総合的な学習の時間)	栗野町立轟小学校	校長	橋口 昌文	鹿児島県	平成14年度から3年間継続してきた、川遊びや生き物調べや水質検査等を引き続き行い、川内川を取り巻く環境調査をいっそう深め、河川浄化学習を進めるとともに、川内川子ども環境ネットワーク等に参加し活動を広めていく。
173121214	1	3121	発見！私たちの羽地大川	名護市立羽地小学校	校長	照屋 厚	沖縄県	本校の校区内を流れる羽地大川は、人々の生活に深く関わっており、今も昔も大川の水が、私たちの暮らしを支えている。そのことを、大川を中心とした環境学習、それに伴うクリーン活動、地域の方への取材活動、度重なる氾濫と改修工事の歴史の学習、羽地ダムにおける水の学習、等を通して総合的な学習を実施する。
173121215	1	3121	天願川を学び、河川浄化を目指す活動	具志川市立天願小学校	校長	与古田 徳造	沖縄県	天願川の環境調査をし、地域のお年寄りから昔の天願川の聞き取り調査をして現在と比較し、川と地域とのつながりや環境問題等を地域の人達と共に考える。
173121216	1	3121	ぼくらは慢湖たんけん隊	那覇市立小禄小学校	校長	山盛 淳子	沖縄県	学校の近くにある慢湖。その慢湖にくる渡り鳥の観察を通して、渡り鳥がいつまでも寄り着く那覇市にするには、自分たちはこれからどんなことに気をつけたらいいか、また、自分達がすぐできることは何かを考え実践する。チャレンジ心旺盛の4年生に学校の環境を生かした総合活動を展開し、心豊かな子、たくましい子、よく考える子の実現に迫る。
173121217	1	3121	「源河川」と「リュウキュウアユ」に働きかける活動	名護市立源河小学校	学校長	多和田 稔	沖縄県	「源河川」と「リュウキュウアユ」に働きかける自然体験活動と問題解決的な学習を、学校、家庭、地域連携で進める中で、川の仕組みや豊かさを知り、身近な川を大切にすることを育てる。

平成17年度 新規採択一覧(45/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173121218	1	3121	赤土のサンゴに与える影響	恩納村立喜瀬武原中学校	校長	羽地 節子	沖縄県	沖縄本島周辺のサンゴは壊滅的な打撃を受けており、その原因の1つが、河川からの赤土の流入である。本校校区からも、赤土の川への流入がある。そこで校区内の赤土と河口・サンゴ周辺の赤土の成分分析等を行い、自分たちの生活が川を通して海にまで影響していることを捉えさせたいので活動費として申請する。
173141001	1	3141	子ども水防団の結成	河川愛護団体リバーネット21ながぬま	会長	杉本 利夫	北海道	水害常習地帯の長沼町では、地域住民をはじめ、行政との自助、共助、公助の連携・協働が重要であり、このため、次世代のリーダーとなる子供達に水防、避難活動を身近なものに感じてもらえるよう、子供水防団を結成し、過去の水害の検証や模擬的な水防訓練などを行う。
173141002	1	3141	水工学講演会50周年記念事業「日本の水害とその対策に関するオープン・フォーラム(仮題)」の開催	土木学会水工学講演会50周年記念事業企画委員会	委員長	辻本 哲郎	東京都	水工学講演会50周年記念事業として「日本の水害とその対策に関するオープン・フォーラム(仮題)」を開催し、我が国の水害の特徴、水害対策の現状、今後の方針および水害対策に向けた水工学からの貢献のあり方について議論を行う。
173141003	1	3141	子ども水環境カルテ調査～生活現場から問う地域の防災力～	水と文化研究会	代表	嘉田 由紀子	滋賀県	蛇口をひねると水が出る暮らしは便利である。しかし「もしも蛇口から水が出なかったらどうなるだろう」という不安があります。過去10年間、当会が行ってきた「水環境カルテ調査」を追跡し日本の水文化にヒントを得て、防災を視野に入れた水源の多様化を小さなコミュニティごと子どもたちと調査を行い、具体的に防災力の強化を提案する。
173151001	1	3151	子ども百科霞ヶ浦もの知り事典(仮称)発行事業	社団法人霞ヶ浦市民協会	理事長	堀越 昭	茨城県	霞ヶ浦の環境への地域社会の関心が高く、小中学校での環境学習におけるテーマになっていることから、子ども(4年生以上)向けの副読本として「子ども百科霞ヶ浦もの知り事典(仮称)」を、市民、教師、生徒の協働作業で編集、発行し、学校や家庭での活用に供する。これまで類書の出版が無いことから需要に応えられる。
173151002	1	3151	水力発電用ダム堆砂に係る調査と啓発	社団法人電力土木技術協会	会長	高木 宏明	東京都	水力発電用ダム貯水池の堆砂について、実態及びこれまでの事例、調査研究成果等を踏まえ、下流域への影響をできる限り軽減する排除方策についての検討を行う。また、その成果を中心とする堆砂問題に関するセミナーを開催し、下流域の理解と協力を得るための啓蒙を行い、河川水の有効利用、河川環境の保全に寄与しようとするものである。
173151003	1	3151	水とのふれあいフォトコンテスト	水の週間実行委員会	会長	青山 俊樹	東京都	「水とのふれあい」を基本としたテーマの写真作品を対象とし、水の週間行事の一環として実施するフォトコンテストである。また、入賞作品は「水の展示会」会場で展示し、併せて入賞作品を集めて作成した写真集を配布する。
173151004	1	3151	雨水東京国際会議の開催	雨水東京国際会議実行委員会	会長	辰濃 和男	東京都	安全な飲み水の不足、濁水と洪水などの世界の水危機打開のために、雨水東京国際会議を開催する。会議では、今後、世界で最も水危機が深刻化するアジアに焦点を当て、その総合的な解決策としての雨水の有効活用及び地域水循環の保全・再生に関する技術、政策、啓蒙などの戦略と国際協力・支援の機構整備の道筋を議論する。
173151005	1	3151	産業界における河川等公共用水域保全に関するシンポジウム	社団法人産業と環境の会	会長	濃野 滋	東京都	河川等の公共用水域は人々にとって身近なものであり、人の健康保全や環境保全を図るうえで極めて重要であります。従って、水質浄化等の機能が健全に保持されることが強く求められています。そのため、産学官及びNPO等の関係者を招聘し、健全な水循環機能保持のための現状と課題をテーマにシンポジウムを開催します。

平成17年度 新規採択一覧(46/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173151006	1	3151	造水技術の普及促進啓発活動	財団法人造水促進センター	理事長	藤村 宏幸	東京都	河川の汚染を防止・環境維持に効果がある水処理・再生利用、水循環利用など造水による水資源有効利用の必要性を多くの一般市民に理解してもらうために、造水・技術セミナーを開催する。造水の仕組みと技術について、一般市民に分かりやすい技術資料(電子ブック)を作成して広報活動を行う。
173151007	1	3151	打ち水大作戦2005	打ち水大作戦本部	作戦本部	尾田 榮章	東京都	ヒートアイランド現象及び地球温暖化対策として、雨水や風呂の残り湯などの二次利用水を使った「打ち水」習慣のよりいっそうの広がりや定着に向けた広報活動を国内外で展開する。打ち水月間創設や実験的なメディア戦略により、各地の独自の取り組みをさらに誘発し、生活の中での水の再利用を促しながら、その他様々な効果を生み出す。
173151008	1	3151	水に関する展示・実験教室の実施実施会場「科学技術館(北の丸公園)」	学術団体日本河川開発調査会	会長	宮村 忠	東京都	本事業は、「水」に関するインフラ整備について、今一度見直す必要があると考えている。このため公共博物館スペースを使用し、「水」に関する体験型実験、構造物ジオラマによる解説、現地見学会等を実施し、「水」との関わりを伝え、その重要性を広く啓蒙する。
173161001	1	3161	北海道「子どもの水辺」交流会	川に学ぶ体験活動東北道協議会	代表理事	太田 昇	北海道	北海道内の各地区の「子どもの水辺」に登録・利用している各協議会や、北海道内で水辺の活動をしている団体から、子どもとリーダー・サポーターに参加して頂き、水辺での体験活動や安全講習を行う。また、情報交換や意見交換を行い、「子どもの水辺」での活動における問題点やその対処について共有化を図る。
173161002	1	3161	北上川流域「北上川自然環境圏」形成事業	北上川流域市町村連携協議会	会長(水)	高橋 光夫	岩手県	水環境の取り組みは、分水嶺を起点とし河口域或いは海洋を終点としてとらえなければその効果は図れないことから、県及び市町村の行政境等の人為的障害を取り払い、確固たる理念として北上川流域を「北上川自然環境圏」として流域全体で活動を行います。
173161003	1	3161	小繰舟建造及び運航	川を知る会	会長	中野 英明	岩手県	紫波町に水辺プラザが完成しました。舟付場も出来ましたので、江戸時代に北上川上流で活躍をしていた小繰舟を復元し木造船の建造技術の伝承や町の観光開発、小中学校の総合学習(川の役割、川の自然、歴史、文化)などの支援を目的とする。
173161004	1	3161	水辺の散乱ゴミ等の指標評価手法による全国試行調査	特定非営利活動法人パートナーシップオフィス	理事長	金子 博	山形県	国土交通省山形河川国道事務所及び山形県河川砂防課等と協働して手法開発した「水辺の散乱ゴミ等の指標評価」について、全国の水辺において試行的に調査を行う。調査をとおして、河川・海岸環境への理解を深めると共に、地域を越えての相互交流を図る。
173161005	1	3161	「水」を通しての上流水源地域と下流受益地との交流事業の実施	千葉県上下流交流事業実行委員会	会長 千	石渡 哲彦	千葉県	千葉県の水源として将来重要な施設となるハッ場ダム及び湯西川ダムの水源地域である群馬県長野原町及び栃木県栗山村と「水」を通じた各種交流を行う。
173161006	1	3161	みんなで考える「いい川」「いい川づくり」「川の日」ワークショップ・矢作川の開催	「川の日」ワークショップ実行委員会	実行委員	宮口 ? 迪	東京都	「いい川」とは何かをテーマに、国内外の水辺の保全、改善等の事業、活動について市民、行政等より募集し、一堂に会しての公開選考会方式のワークショップを開催する。発表や討論、地域、立場等を超えた交流を通じて、望ましい川の姿や地域づくりのイメージや方向性、その実現に向けた合意形成、協働のあり方等を共有する。

平成17年度 新規採択一覧(47/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173161007	1	3161	多摩川流域「水辺の楽校」ネットワークづくりと「子どもシンポジウム」の開催	「狛江水辺の楽校」運営協議会	代表	横山 十四男	東京都	多摩川及び支流の水辺の楽校7校(内登録申請中1校)のネットワーク化を図り、環境学習及び河川愛護・保全活動の情報交換と協力体制を構築する。また狛江水辺の楽校が開催(3年連続)してきた「子どもシンポジウム」に他校を招き、流域初の合同シンポジウムを開催する。
173161008	1	3161	河川流域における水辺の居場所づくり	NPO法人自然体験活動推進協議会	代表理事	岡島 成行	東京都	本事業では、4つの河川において、各河川の上流から下流の各地域で活躍する複数の自然体験活動団体が連携し、日常的に地域の人たちが水辺に関わる機会を提供することで、人と川とのつながりを強めることがねらいです。また、地域間での相互交流プログラムを実施することで、上流から下流の地域のつながりを知る機会を提供します。
173161009	1	3161	よこはま川のフォーラム2005	よこはま川のフォーラム実行委員会	代表世話	清水 靖枝	神奈川県	横浜市域を流れる8水系の河川の流域で活動する市民団体等がこのイベントをとおしての市民団体間及び市民の交流・連携を図るとともに、水辺の活動を多くの市民に水辺の魅力を広報すること目的に開催するものである。また、このイベントを各流域の小中学校と連携して開催することにより、総合的な学習への支援を行う。
173161010	1	3161	富士川交流「川の駅伝」	田富町自然体験クラブ(エヴォルヴ)	会長	関 敦隆	山梨県	富士川を通して上流・中流・下流に住む子供達が1艇のラストボート(8人乗り)に乗り、タスキをつなぐ、富士川水運時代を再現し、流域の人々と力を合わせ、ゴールを目指す。流域の人々と交流を深め、情報や意見交換し、川への関心や環境保全を深める。
173161011	1	3161	多摩川源流と中下流連携・交流事業と多摩川源流大学モデル事業	多摩川源流研究所	所長	中村 文明	山梨県	多摩川源流域の自然、歴史、文化などの資源に着目して健全な水環境や源流域の多様な生態系などに関する国民の理解を深めることを目的に「源流体験教室事業」や「源流大学推進事業」など源流と流域との体験交流事業や流域ネットワーク形成事業及び情報発信事業を推進する。
173161012	1	3161	天竜川の市民団体連携センター	市民団体天竜川ゆめ会議	会長	福澤 浩	長野県	天竜川流域の市民団体・個人・学校が一堂に会し活動内容を発表し交流する場と、知らない者同士が情報交換し協働・連携に繋がる場を作り、各団体と協働し市民団体の連携センターを構築する事業。
173161013	1	3161	クオーレリバーズスクール「河原の学校」	財団法人美濃白川クオーレの里財団	理事長	細江 照男	岐阜県	地元、清流白川流域の子ども達と、下流域(木曾川など)の子ども達が“川”からの学びを通じてふれあえる「河原の学校」を開催。昔ながらの漁法などを学ぶ「川遊び」や、「河川環境観察会」、「Eポートやカヌー体験」、「河原のクラフト教室」などのプログラムにより次世代へつなぐ“子ども流域間交流”を実施する。
173161014	1	3161	川に学ぶ常設フィールドづくり活動	日野川流域交流会	推進委員	田中 保士	福井県	日野川上流田倉川に、川活動活性化のための川に学ぶ常設フィールドをつくる。そのために、フィールド発見活動を実践する。そこから、いつでも誰でも楽しく安全に活動でき、指導者および施設や機材が整備されたUD形常設フィールドづくりへの課題と方向性を抽出し、計画と利用手引き書作成および一部現地整備をする。
173161015	1	3161	近畿水環境交流会in和歌山	特定非営利活動法人近畿水の塾	理事長	福廣 勝介	大阪府	近畿地方の代表的河川である紀ノ川河口部を舞台として、近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、紀ノ川流域の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、Eポート乗船を初めとする水面利用の実践を交えながら、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する。

平成17年度 新規採択一覧(48/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173161016	1	3161	「私の水辺」大発表会	大阪府河川協会	会長	中司 宏	大阪府	府民、NPO、市民団体、行政、学校、子どもなど多様な人材、セクターがパートナーシップを築き、良好な水辺空間の再生・創造を行う契機として、子どもたちに、水辺での調査研究や学習活動などを発表してもらおう機会を提供し、府民の水辺への関心向上を図り、水辺での様々な活動の活性化、活動団体の連携・交流を深める。
173161017	1	3161	太田川流域子ども交流事業	太田川流域振興交流会議	会長	北口 喜教	広島県	【新規事業】〇体験を通じて、太田川を知り、親しみ、学ぶ。〇太田川の貴重な自然をつくり、守り、育てる。〇太田川を共有する友だちをつくり対話する。ことを目的として、流域の住民団体が未来を担う子どもたちに太田川の清流と恵みを伝える自然体験の機会を提供し、上下流域の振興交流や自然環境の保全・創造を図る。
173161018	1	3161	郷土芸能を活かした肱川の上流交流事業	肱川流域会議水の中めがね	代表	坂本 芳則	愛媛県	この事業は肱川流域に伝わる郷土芸能を活かして上下流の文化交流を推進することにより、流域全体に上流も下流も同じ「肱川流域人」としての意識を醸成することを目的に実施するものです。この事業は、河川整備計画に基づき進められる山鳥坂ダム建設などの河川事業の推進に寄与するものと考えられます。
173161019	1	3161	矢部川流域連携のための住民・企業・行政のネットワークづくりと実践活動	特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡	理事長	諫山 敏志	福岡県	矢部川流域における地域間連携の一環として、情報誌の発行など住民・企業・行政のネットワークづくりを行うとともに、流域の八女郡星野村「星のふるさと公園」とその周辺において、地域住民を対象とした「地域づくりワークショップ」及び子供たちを対象とした「環境教育実践活動」を実施する。
173171001	1	3171	土砂管理国際シンポジウム	土砂管理国際シンポジウム組織委員会	委員長	豊田 高司	東京都	海外からダム専門家、土砂管理専門家等を招き「貯水池堆砂問題」について、知見や経験を持ち寄り、情報と技術の交換を行い、環境保全を考慮したダム事業の持続可能な維持発展に資する。
173171002	1	3171	日中水フォーラム2005札幌	特定非営利活動法人日中新世紀協会	代表理事	市村 慶太	東京都	産・官・学・民の水及び河川に関する日中の新しいパートナーシップ構築のための国際シンポジウム。学識者・行政官・民間企業人など日中のあらゆる専門家による分科会やパネルディスカッション、また懇談カウンターや水技術紹介ブースの設置による水をキーワードにした国際交流を実施します。さらに多くの国民へ水問題を喚起するよう、大手新聞社等、協力メディアによる特集報道を行います。
173171003	1	3171	(仮)ダム貯水池水質保全国際セミナー(世界のダム貯水池における水質保全対策の課題と新たな試み)	財団法人ダム水源地環境整備センター	理事長	加藤 昭	東京都	ダム貯水池における水質保全対策について、国内外の最新の事例・研究に関するセミナーを開催することにより、水質保全技術の開発・普及及び水質保全意識の国民的啓発を促進し、我が国の水質保全対策の向上・水環境の改善に資する。
173171004	1	3171	第3回ユース世界水フォーラムの開催及び開催に向けた国際会議等の実施	東京みずユース	代表者	中村 沙絵	東京都	水分野において将来を担う「ユース」という新しい概念を活かし、第4回世界水フォーラムにおけるユース世界水フォーラムを実施する。本フォーラム開催過程において、国際会議やイベントを実施。多くの若者に水に関する意識を喚起し、将来、水分野で活躍する若者を育成する。またアジアユース水ネットワークの構築を行なう。
173171005	1	3171	第4回世界水フォーラムに向けたアジア・太平洋地域における準備会合	特定非営利活動法人日本水フォーラム	事務局長	尾田 榮章	東京都	アジア・太平洋地域の関連機関と協働し、第4回世界水フォーラムにおいて水問題解決に向けた具体的な活動を起こすために第4回フォーラムのテーマ(開発のための水、IWRMの実施、すべての人のための水供給と衛生、食料と環境のための水管理、リスクマネージメント)に関するアジア・太平洋地域準備会合を開催する。

平成17年度 新規採択一覧(49/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173171006	1	3171	応用生態工学の現場適用を指向する比較応用生態工学の研究	応用生態工学会	会長	廣瀬 利雄	東京都	河川環境管理・評価の技術を日本の流域の文化・社会の相違に配慮し様々な現場に適用できるものとして発展させるため、特にアジアモンスーン地域で河川の生態系について研究を行っている海外の有識者を招き、国内の研究者と共に、初年度として生態と文化をテーマに公開シンポジウムを開催し、意見交換および相互理解を図る。
173171008	1	3171	気候、社会環境変化に対応する総合流域管理の構築に向けての国際ワークショップ	京都大学防災研究所	センター	池淵 周一	京都府	水資源問題においては、水量、水質、生態、環境、社会活動を考慮することが求められている。そこで、代表的な国際学会(IWA、IWRA、IAHR、IAHS、KWRA)と世界の異なる地域(アジア、アフリカ、欧州、アメリカ、豪州)から先鋭的な研究者を招聘し、変動する気候、社会環境下での総合流域管理について議論する。
173171007	1	3171	世界水フォーラム子ども特派員活動	子どもと川とまちのフォーラム	代表	嘉田 由紀子	京都府	2003年「第三回世界水フォーラム」での取材活動の経験も生かし、それぞれの流域をテーマに川・水系の再生に向けた活動を続けてきた子どもたちを中心に、2004年12月「子ども流域協議会準備会」が立ち上がった。それらの子どもたちを中心に「第四回世界水フォーラムinメキシコ」での特派員活動を実施する。
173181001	1	3181	北海道治水叢書(4)の企画編集	水交会	代表	金子 正之	北海道	開拓初期の治水思想の醸成に至る記録の発掘に続いて、大正、昭和初期の治水事業にその治水思想が如何に具現できたかを、斉藤静脩、小川譲二らの論調を通じて明らかにし治水叢書として編集する。
173181002	1	3181	置賜白川の歴史と文化を身体(からだ)で考えるシンポジウム	財団法人山形県みどり推進機構	理事長	高橋 節	山形県	山形の母なる川最上川の上流に位置する置賜白川に係わる歴史・文化を身体を使って考えるシンポジウムを開催する。内容としては、基調講演の他、中津川の村人達が自前で作った簡易木橋“おさ橋”の復元や江戸時代に用水路として飯豊山中腹を開削した穴堰といった歴史的遺構踏査のワークショップなども実施する。
173181003	1	3181	全国なぎさシンポジウムinやまがた	全国なぎさシンポジウムinやまがた実行委員会	会長(山)	高橋 和雄	山形県	平成17年10月18～19日に、山形県鶴岡市を会場に「全国なぎさシンポジウムinやまがた」を開催します。県内外からの参加者(小中学生含む)が、人と海の接点であるなぎさの役割と大切さを再認識し、その豊かで美しいなぎさ守り再生する方策について意見交換を行うものであります。
173181004	1	3181	渡良瀬遊水地の成立過程を学ぶ講演会	財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団	理事長	和里田 義雄	栃木県	渡良瀬遊水地は足尾鉬毒事件への対応も考慮し明治30年代に計画され、明治末期から遊水地化、調節池化の事業が行われ現在に至っている。その歴史的成立過程を学ぶ講演会(史料展、見学会を含む)を開催し、多くの人達に河川愛護や河川事業への理解を深めてもらうことに寄与する
173181005	1	3181	東京の川を考えるシンポジウム2005	川シンポジウム実行委員会	代表	原田 龍次	東京都	河川に関する有識者や川における各種活動等を行っている市民団体の代表など、幅広い主体の参加を得て、川についてシンポジウムを開催し、河川愛護の意識を深める。
173181006	1	3181	第1回「きれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会」の開催	社団法人日本の水をきれいにする会	会長	櫻井 新	東京都	水と水源地域の大切さや水環境保全に対する意識の高揚を広く国民に啓発することを目的に第1回「きれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会」を開催する。環境保全優秀活動団体の環境大臣等表彰と活動事例発表、著名人によるシンポジウムを実施するとともに、啓発資料などの展示・配布を行う。

平成17年度 新規採択一覧(50/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173181007	1	3181	大型猛禽類保全のための調査・研究技術手法に関する国際シンポジウム	特定非営利活動法人ラプタージャパン(日本猛禽類研究機構)	理事長	阿部 學	東京都	種の保存法対象猛禽類に及ぼす各種事業の影響をめぐっては議論が百出している。しかし、わが国における研究の歴史が浅い上に人材不足が拍車をかけ、科学的な議論に至らないのが実情である。かかる現状に鑑み、この分野の先進国である米国、英国、豪州の研究者を招聘し、環境影響評価や保全対策に貢献する調査・研究技術に関するシンポジウムとワークショップを開催し、アセスメントの資質の向上を図る。
173181008	1	3181	河川地域まちづくりプログラムによる河川文化継承、環境啓発講座の開催	堀川まちネット	理事長	川口 正秀	愛知県	名古屋市堀川を中心に行う祭りイベント、河川調査等を題材とした「祭りとまちづくり体験プログラム」講座を開催し河川地域まちづくり指導者育成と各世代連携で地域の河川関心を高め、堀川まつりを地域から名古屋の川祭りへ統合拡充し、多数の市民に河川文化の継承と都市河川環境保全の重要性を訴え各種広報活動する。
173181009	1	3181	河川文化講演会等の開催および、新聞広告等の掲載による広報活動事業	社団法人中部経済連合会	会長	豊田 芳年	愛知県	21世紀の中部の持続的発展のため、水の総合利用の視点から、講演会の開催、新聞広告等により幅広い啓発活動を行う。また、講演会については抄録を作成し、配布し、啓発活動の一助とする。新聞広告は水の日(8月1日)に、地元主要紙において意見広告を掲載する。
173181010	1	3181	「里山の自然を水辺に」粗朶沈床セミナー開催	特定非営利活動法人エコプランふくい	理事長	土保 裕治	福井県	里山で粗朶を作り、海や川の護岸工事に利用する「粗朶沈床」は、自然素材を使った循環型の技術として見直されるべきものである。しかし、一般の人達はもちろん建設業界や森林業界でもほとんど知られていないことから、「粗朶沈床」のセミナーや見学会を開催し、この工法の社会的認知を広め、粗朶沈床工法の可能性を探る。
173181011	1	3181	第10回水シンポジウムinおおさか	第10回水シンポジウムinおおさか実行委員会	委員長	小松 利光	大阪府	水が自然や都市、人に与えるさまざまな恩恵と諸問題について、住民、学会、行政等が幅広い討議と意見交換を行い、今後の川づくりやまちづくりの方針、また、住民協働のあり方や人と水との好ましい関係などについて、全国に向けて発信していくシンポジウムを開催する。
173181012	1	3181	水の俳句コンテスト	特定非営利活動法人水フォーラム21	理事長	中本 正明	大阪府	「第10回水シンポジウムinおおさか」の関連企画として、第10回水シンポジウムinおおさか実行委員会や大阪府下水道課等と共同して「水の俳句コンテスト」を実施し、水にまつわる豊かな文化の醸成と継承に努める。
173191001	1	3191	雪谷川シンポジウムと関連事業の開催	軽米の川と町づくりを考える会	会長	古館 機智男	岩手県	1999年の水害後の川と町づくりについて、当団体にアドバイスをもらった4人の専門家(吉川勝秀、島谷幸弘、吉村伸一、平山建一の各氏)をふたたび軽米に招き、工事が終わった雪谷川をみてもらうとともに、これからの雪谷川と町民の付き合い方(多自然型、住民参加、川と町づくりなど)についてシンポジウムと関連事業を開催する。
173191002	1	3191	第5回川に学ぶ体験活動全国大会in会津実行委員会	阿賀川・川の達人の会	実行委員	山中 實	福島県	川に学ぶ体験活動全国大会は、「川に学ぶ」社会の形成を目指し、全国各地で日常的に川で遊び学ぶという、古き良き川文化をもう一度復活させることを目的に開催する。内容としては、福島県内の川の体験活動報告と実践として阿賀川をベースに、6分科会の活動状況を視察体験することにより、真に「川に学ぶ社会」の実現を目指し実施するものである。
173191003	1	3191	埼玉県内の碑文に見る川の歴史を探る(利根川流域その2)	彩の川研究会	会長	中村 泰明	埼玉県	県内の川に係わる碑文について平成15年度より調査を開始した。結果128箇の碑文の位置概要を確認した。平成17年度は昨年に引き続き「利根川流域その2」として2~3の碑文を抽出し会員や地域と共に現地に赴き実際に碑文を見て拓本を取り、有識者の話を聞き、刻まれた内容を理解、整理する。最終年には報告書を図書館等へ寄贈し啓発していく。

平成17年度 新規採択一覧(51/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173191004	1	3191	Web-GISを用いた市民環境活動情報の共有システムの構築と運用	特定非営利活動法人荒川流域ネットワーク	代表理事	恵 小百合	埼玉県	日常的な複数の組織の情報の一元管理を行い、流域に係わる国、県、自治体、NPOおよびNGOのニーズを調整する流域協議会の合意形成を行うためのツールを構築することを目的とする。Web-GISシステムにより情報の共有化を図ることで利害が異なる市民の意見調整、イベント紹介、上流一下流との交流の場をつくり、流域を守るための合意形成に寄与できる。
173191006	1	3191	河川環境展2005	河川環境展実行委員会	委員長	玉井 信行	東京都	河川環境における国内最大級の展示会として、関連企業・団体および一般の人々に対して、河川環境のあり方を啓発・普及することを目的とし、実施します。
173191007	1	3191	平成17年度「森と湖に親しむ旬間」全国行事事業	「森と湖に親しむ旬間」全国行事实行委員会	会長	橋本 大二郎	東京都	河川・ダム、水源地等の水資源の重要性に対する国民一般の関心と理解を高め、水資源の円滑な開発に資するため、全国対象公募事業を実施、また全国的な広報活動を展開する。
173191005	1	3191	全国水ガキ交流会の開催と昔の水ガキ写真集づくり	特定非営利活動法人全国水環境交流会	代表理事	山道 省三	東京都	「全国水ガキ交流会」を開催し、全国の元気な水ガキの活動を紹介しあい、水辺での体験交流を促進する。また、次代を担う子どもたちに、水辺の歴史や文化を伝えるために、昭和20から30年代の昔の水辺の写真を収集し、「昔の水ガキ写真集」を発行するとともに、子どもの水遊び文化を調査する。
173191008	1	3191	川や水の活動団体調査	社団法人日本河川協会	会長	椎貝 博美	東京都	全国の川で活動している団体の活動内容を調査し、ホームページにおいて公表して団体相互の情報交換、団体と行政、企業、学校、研究機関の連携に役立てるとともに市民参加の促進を図る。
173191009	1	3191	河川行政に関するオーラルヒストリー	河川行政に関するオーラルヒストリー実行委員会	委員長	藤田 龍之	東京都	戦後河川行政史上の重要課題に対する政策決定の経緯について、それに深く関わった人に語ってもらい、オーラルヒストリーとして整理する。
173191010	1	3191	日本水大賞	日本水大賞委員会	委員長	高橋 裕	東京都	全国における水循環の健全化に寄与する活動を募り、表彰するための「日本水大賞」制度を継続することにより、広く国民に啓発を行い、諸団体に発表の機会をあたえ、活動に対する奮起を促す。
173191011	1	3191	2005年FISA世界ボート選手権大会開催に伴う河川環境のPR	2005年FISA世界ボート選手権大会組織委員会	会長	大久保 尚武	岐阜県	アジアで初めて岐阜県の長良川国際レガッタコースで開催される、FISA(国際ボート連盟)世界ボート選手権大会を機に、環境整備や美化運動、治水教育を通して、河川整備や河川利用の意義を来場者に広く啓発するとともに、水辺空間としての「長良川」を国内外に強くアピールする。
173191012	1	3191	「共生・協働のダムづくり」事業	NPO法人共生のエートス	理事長	秋本 貞光	山口県	本活動は、現在建設中の真綿川ダムの水質を含めた環境整備と地域活性化を、利用者たる住民が使命と責任を持って推進している。現在は、完成後をより充実させるため、ダム下流河川周辺を一昨年4月より会員・ボランティア・企業等により、各種建機等の投入で公園化(高嶺パーク)、植樹、水質浄化活動を実施している。

平成17年度 新規採択一覧(52/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173201001	5	3201	NPO天塩川リバーネット21の活動運営	特定非営利活動法人天塩川リバーネット21	理事長	入江 和也	北海道	天塩川流域住民の公益の増進に寄与するため、流域保全、河川の利用、河川の防災・災害時の情報提供等及び河川環境を活用した子どもの健全育成などの事業活動を行う。
173201002	5	3201	治水対策と地域活性化を視野に入れた谷津田現況調査～人と河童が会おうまちづくり～	学校ビオトープから始まるまちづくり実行委員会	代表者	飯島 博	茨城県	小野川流域における谷津田の荒廃は、洪水流量や氾濫地点の不確実性の一因とも考えられる。無数に存在する谷津田の治水機能を把握することは急務だが、行政のみの負担で広範な調査を行うことは非現実的である。これを地域住民が補完する目的で、地域の谷津田と小野川の現況調査を行う。これを通して地域の連帯感の共有、コミュニティの活性化を図る。
173201003	5	3201	市民による浅羽ビオトープの自然環境の再生と保全	高麗川ふるさとの会	会長	三浦 輝夫	埼玉県	1級河川高麗川河川敷(荒川水系)に生まれた浅羽ビオトープを市民の手でこれを守り豊かな自然を再生しようと「高麗川ふるさとの会」が結成された。およそ150名の市民による環境保全活動は年間延べ50回にも及ぶ。この活動をさらに充実させ、さらに多くの市民の参加を呼びかけていくために活動費用の継続的助成を申請する。
173201004	5	3201	アジア子ども水ネットワーク構築	アジア子ども水会議	代表	小川 信次	東京都	次代を背負う子供達が水不足、水質汚濁、洪水、津波などの様々な水問題を日常的に共有できるネットワークを構築し交流を図りながら子供達にアジア各地で起こる現実の水問題の理解を深め子供達同士の連携協力、友好を図る。
173201005	5	3201	継続的助成	木曽川・水の始発駅フォーラム	会長	栗屋 徳也	長野県	国土交通省の「水源地域ビジョン」として、木曽川の「水の始発駅」である味噌川ダムを生かした水源地域の自立的・持続的な活性化のため「木曽川源流の里ビジョン」が策定され、ビジョンの基本方針である。地域を知り、地域に誇りを持ち、地域資源を活かし、地域経済の活性化を図るために四つのプロジェクトによる取組みを推進する。
173201006	5	3201	継続的助成	真名川水辺の楽校ビオフレンズ	会長	高津 琴博	福井県	一級河川真名川下流の真名川水辺の楽校を利用したイベントを開催し、参加者の川や河川環境に対する関心を高めるほか、生物の視点から川の機能や復元などの状況を調べるモニタリング調査を実施し、そこで得た情報を地域住民に発信することで、環境意識を向上させる。また、会員の知識を高め、環境学習の指導者育成も図る。
173201007	5	3201	水辺再成に向けての環境教育・啓発事業	恩智川水辺再成ワークショップ	代表	松浦 陽子	大阪府	恩智川には10本の支川があり、現在4本の支川にほたるを見る事が出来るようになって来ました。10本の支川に又、恩智川に子供が感動し、楽しく遊べる川となるよう自治会、子供会と共に水質浄化、ごみ0作戦の展開をする
173201008	5	3201	「川のうた」募集と水辺のコンサート開催	水の都ひろしま推進協議会	会長	杉恵 頼寧	広島県	太田川デルタに発達した広島市には6本の派川があり、水の都として、都市と文化の再生に官民一体で取り組んでいる。その一環として市民や国内外の来訪者に、より川の魅力を感じ、関心を持ってもらうため、市民による「川のうた」の創作・発表とともに、水都ひろしまの季節の風物詩としての定着をめざし、水辺のコンサートを開催する。
173201009	5	3201	継続的助成	特定非営利活動法人仁淀川お宝探偵団	理事長	生野 宣宏	高知県	仁淀川流域の地域資源調査、自然および文化を守る啓発活動等を今後も継続していきたい。発足当初は県との協働で事業を進めてきたが、今後は財政的に自立して活動することを目標としている。また、全国水環境マップ実行委員を引き受け、水質をキーワードに流域のネットワークを広げていく。

平成17年度 新規採択一覧(53/53)

助成番号	助成期間	現在のテーマ番号	申請事業名	所属機関名(団体名)	申請者職名	申請者名	府都県道	申請概要
173201010	5	3201	継続的助成	佐々川再生の会	会長	濱野 徳一	長崎県	県下最大の河川延長を誇る佐々川を環境汚染から守ろうと53名の会員で河川美化活動を進めている。現在、佐々町役場の協力の下、水質浄化菌(EM菌)の購入協力を頂き、地域全体の環境保全思想の高まりを見せており、美化活動を継続していくことで、地域全体の環境美化と自然保護への啓発を促し、次世代へ健全な環境づくりを導く。
173201011	5	3201	ふるさとの川を再生するための水辺での諸活動の継続的な実施	特定非営利活動法人大淀川流域ネットワーク	代表	杉尾 哲	宮崎県	大淀川を、昔のような人々が遊ぶ清らかな流れに戻し、だれもが親しむふるさとの川に再生するために、流域住民の自主性の育成と住民への大淀川の素晴らしさ・大切さ・楽しさの実体験の促進を目的として、広報活動・啓発活動・川の指導者育成活動・自然体験の振興活動などを継続的に実施する